
はちおうじし
八王子市

しょうがいしゃ
障害者アンケート調査

けっかほうこくしょ
結果報告書

れいわ ねん (2021年) 3月

はち おう じ し
八 王 子 市

目次

1	調査概要	1
2	調査結果の概要	2
2-1	18歳以上向け調査結果	2
2-2	18歳未満とその保護者向け調査結果	6
3	調査結果（18歳以上）	10
3-1	本人について	10
3-2	医療について	14
3-3	家族・介助について	17
3-4	日常生活について	23
3-5	災害について	30
3-6	住まいについて	33
3-7	外出について	35
3-8	権利擁護について	39
3-9	就労について	50
3-10	切れ目ない支援について	55
3-11	施策について	56
4	調査結果（18歳未満とその保護者）	57
4-1	本人について	57
4-2	医療について	62
4-3	家族・介助について	65
4-4	日常生活について	67
4-5	災害について	73
4-6	住まいについて	76
4-7	外出について	79
4-8	権利擁護について	84
4-9	教育・療育について	94
4-10	切れ目ない支援について	100
4-11	施策について	102

5	自由意見 <small>じゆういけん</small> のまとめ	103
5-1	18歳以上 <small>さいいじょうむ</small> 向けの障害者 <small>しょうがいしゃ</small> アンケート（問46）より	103
5-2	18歳未満 <small>さいみまん</small> とその保護者 <small>ほごしゃむ</small> 向けの障害者 <small>しょうがいしゃ</small> アンケート（問42）より	108
6	アンケート調査票 <small>ちょうさひょう</small>	113
6-1	「18歳以上 <small>さいいじょうむ</small> 向けの障害者 <small>しょうがいしゃ</small> アンケート」調査票 <small>ちょうさひょう</small>	113
6-2	「18歳未満 <small>さいみまん</small> とその保護者 <small>ほごしゃむ</small> 向けの障害者 <small>しょうがいしゃ</small> アンケート」調査票 <small>ちょうさひょう</small>	123

1 ちょうさがいよう 調査概要

■ ちょうさ もくてき 調査の目的

ほんちょうさ れいわ ねんど ねんど はちおうじししょうがいしゃけいかく だい きしょうがいふくしけいかく だい きしょうがいじふくしけいかく さくてい しょうがい かた さいじじょう さいみまん ほごしゃ たい せいかつじつたい
本調査は、令和2年度（2020年度）に八王子市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画を策定するにあたって、障害のある方（18歳以上、18歳未満とその保護者）に対して、生活実態やニーズなどを把握するために実施しました。

■ ちょうさ じっしがいよう 調査の実施概要

ちょうさ しょうがい かた なか むさく い えら かた たいしょう じっし
調査は、障害のある方の中から、無作為で選ばせていただいた方を対象に実施しました。
かくちょうさ たいしょうしゃ ほうほう かいしゅうけっかとう つぎ
各調査の対象者、方法、回収結果等は次のとおりです。

区分	18歳以上	18歳未満とその保護者
対象者数(人)	1,500	500
抽出方法	市内在住の障害者の中から無作為抽出	
調査方法	郵送による配付、回収	
調査時期	令和2年2月	
返送数(通)	824	232
回収率(%)	54.9	46.4

■ ほうこくしょ をみる際の留意点

● かいとうりつ 回答率について

- ひりつ ひやくぶんりつ あらわ しょうすうてん い かだい い ししゃごにゆう さんしゆつ ひ
比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、比率の合計は100%とならない場合があります。
- きすう じっすう けいさい かく ひりつ ぼすう わりあい しめ
基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフの比率は「n」を母数とした割合を示しています。
- ひとり かいとうしゃ ふくすうかいとう せつもん ふくすうかいとう ひりつ ごうけい こ
一人の回答者が複数回答することができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を超えることがあります。
- しゅうけい ぜんたい むかいとう かた ふく かく ち ごうけい ぜんたい ち
クロス集計において、全体には無回答の方を含んでいるため、各n値の合計と「全体」のn値とは異なります。
- たんいつかいとう せつもん ふくすうかいとう かいとうしゃ むかいとう しゅうけい
単一回答の設問で複数回答している回答者は、無回答として集計しています。

● ひょうき 表記について

- せんたくし ごく なが ぼあい ほんぶん ずひょうちゅう しょうりやく ひょうげん もち ぼあい
選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

2 ちょうさけっか がいよう 調査結果の概要

しょうがい しみん たいしょう ちょうさけっか がいよう い か せいり
障害のある市民を対象としたアンケート調査結果について、概要を以下に整理します。

2-1 さいじゅうむ ちょうさけっか 18歳以上向け調査結果

(1) いりよう 医療について

いりよう かん こま とく のぞ なんびょう とくていしつかん しんだん う ひと
医療に関する困りごとについては、「特にない」を除くと、難病（特定疾患）の診断を受けている人
では「医療費の負担が大きい」が最も多くなっていますが、それ以外の障害の人では「医療機関が家
の近くにない」が最も多くなっています。

ぜんかい へいせい ねん がつ ちょうさけっか ひかく ぜんたい いりようきかん いえ ちか
前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「医療機関が家の近くにない」が16.1%か
ら20.3%と4.2ポイント増加し、「医療費の負担が大きい」が14.8%から16.5%と1.7ポイント増加し
ています。特に、「医療機関が家の近くにない」が、愛の手帳所持者で6.1ポイント、発達障害の診断
を受けている人で5.8ポイント増加し、「医療費の負担が大きい」が、発達障害の診断を受けている人
で23.1ポイント、難病（特定疾患）の診断を受けている人で10.7ポイント増加しています。

(2) かぞく かいじょ 家族・介助について

おも かいじょしゃ しんたいしょうがいしゃてちょう も ひと せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も ひと こうじのうきのう
主な介助者については、身体障害者手帳を持つ人や精神障害者保健福祉手帳を持つ人、高次脳機能
しょうがい ひと なんびょう とくていしつかん しんだん う ひと はいくうしゃ もっと おお あい てちょう も ひと
障害の人、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「配偶者」が最も多く、愛の手帳を持つ人や
はつたつしょうがい しんだん う ひと ははおや もっと おお
発達障害の診断を受けている人では「母親」が最も多くなっています。

かいじょしゃ こま しんたいしょうがいしゃてちょう も ひと あい てちょう も ひと せいしんしょうがいしゃほけんふくし
介助者が困っていることでは、身体障害者手帳を持つ人や愛の手帳を持つ人、精神障害者保健福祉
てちょう も ひと はつたつしょうがい しんだん う ひと ふあん もっと おお なんびょう
手帳を持つ人、発達障害の診断を受けている人では「将来の見通しに不安がある」が最も多く、難病
(特定疾患)の診断を受けている人では「介助者自身の健康に不安がある」が最も多くなっています。

また、主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、どのようにしたいか、については、身体
しょうがいしゃてちょう も ひと せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も ひと なんびょう とくていしつかん しんだん う ひと
障害者手帳を持つ人や精神障害者保健福祉手帳を持つ人、難病（特定疾患）の診断を受けている人
では「ホームヘルパーを利用したい」と回答した人の割合が最も多く、愛の手帳を持つ人や発達障害の
しんだん う ひと どうきょ かぞく かいじょ もっと おお
診断を受けている人では「同居の家族に介助してほしい」が最も多くなっています。

(3) にちじょうせいかつ 日常生活について

にちじょうせいかつ こま しんたいしょうがいしゃてちょう も ひと けんこうじょうたい ふあん もっと
日常生活で困っていることについては、身体障害者手帳を持つ人で「健康状態に不安がある」が最
もお あい てちょう も ひと きんきゅうじ たいおう ふあん もっと おお いがい
も多く、愛の手帳を持つ人では「緊急時の対応に不安がある」が最も多くなっていますが、それ以外
のしょうがい ひと しょうらい ふあん もっと おお
障害の人では、「将来に不安がある」が最も多くなっています。

ぜんかい へいせい ねん がつ ちょうさけっか ひかく ぜんたい
前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「どうしてよいかわからないことがある」が
16.5%から20.8%と4.3ポイント増加し、「身の回りのことが十分できない」が22.7%から26.5%と
3.8ポイント増加しています。特に、「どうしてよいかわからないことがある」は、愛の手帳所持者で13.8
ポイント増加しています。

困ったときの相談相手については、いずれの障害がある人でも「同居の家族」が最も多くなっています。次いで多い相談相手について見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「別居の家族・親族」、愛の手帳を持つ人では「福祉施設の職員」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「医療関係者」となっています。

福祉に関する情報の入手先については、愛の手帳を持つ人では「福祉施設」が最も多くなっていますが、他の障害のある人では「広報『はちおうじ』」が最も多くなっています。

サービス利用に関して困っていることについては、「特になし」を除いて、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「サービス利用の手続きが大変」が最も多く、他の障害のある人では「サービスに関する情報が少ない」が最も多くなっています。

(4) 災害について

災害が起きたときに不安に感じることについては、愛の手帳を持つ人や高次脳機能障害の人では「ひとりでは避難できない」が最も多く、それ以外の障害のある人では、「薬や医療的ケアを確保できるか不安」が最も多くなっています。

災害のときに必要とする支援については、愛の手帳を持つ人では、「避難のための介助や支援」及び「障害に対応した避難所の確保」が最も多く、高次脳機能障害の診断を受けている人では、「避難のための介助や支援」及び「自宅や避難所での介助や支援」が最も多くなっていますが、それ以外の障害のある人では、「薬や医療的ケアの確保」が最も多くなっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「障害に応じた災害情報の伝達」が28.1%から34.3%と6.2ポイント増加しており、特に、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、23.8%から38.5%と14.7ポイントと大きく増加しています。また、「避難のための介助や支援」が、愛の手帳を持つ人で44.7%から63.2%と18.5ポイント、発達障害の診断を受けている人で37.5%から61.5%と24.0ポイント増加しています。

(5) 住まいについて

住まいの状況については、障害の種類に関係なく「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。次いで多い住まいについて見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「持ち家（集合住宅）」、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「グループホームなど」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「民間賃貸住宅（集合住宅）」となっています。

住宅に関して困っていることについては、高次脳機能障害の診断を受けている人では「階段の昇り降り」が最も多くなっていますが、それ以外の障害のある人では「特になし、満足している」が最も多くなっています。

次いで多い、住宅に関して困っていることを見ると、身体障害者手帳を持つ人では「階段の昇り降り」、それ以外の障害のある人では「建物の老朽化」となっています。

なお、全体では「特になし、満足している」が39.1%となっていますが、「特になし、満足している」と「無回答」を除いた55.3%は何らかの困りごとがあると回答しています。

住宅に関して行政が今後取り組むべきことについては、全体では、「住宅改修費の助成を充実する」が最も多く、次いで、「障害者向け住宅の整備を促進する」、「家賃の助成をする」が多くなっています。

障害種別で見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「住宅改修費の助成を充実する」が最も多く、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「グループホームなどの整備を促進する」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「公営住宅を障害者が利用しやすくする」、高次脳機能障害の診断を受けている人では「障害者向け住宅の整備を促進する」が最も多くなっており、障害種別で回答が分かれています。

(6) 外出について

外出の目的については、精神障害者保健福祉手帳を持つ人や高次脳機能障害の診断を受けている人、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「通院」が最も多く、それ以外の障害の人では「買い物」が最も多くなっています。

移動手段については、全体では、「徒歩」が54.1%と最も多く、次いで、「路線バス」が48.4%、「電車」が42.8%となっています。

障害種別で見ると、愛の手帳を持つ人や高次脳機能障害の診断を受けている人では「自動車(自分以外が運転)」が最も多くなっていますが、それ以外の障害のある人では、「徒歩」が最も多くなっています。

外出時に困ることについては、「特にない」を除くと、愛の手帳を持つ人や精神障害者保健福祉手帳を持つ人、発達障害の診断を受けている人では「困ったときはどうすればいいか不安」が最も多く、身体障害者手帳を持つ人では「歩道や道路の段差や幅」が、高次脳機能障害の診断を受けている人では「歩道や道路の段差や幅」及び「トイレの利用」が、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「トイレの利用」が最も多くなっています。

(7) 権利擁護について

権利擁護に関する用語について、知っている（「内容を知っている」「名前は聞いたことがある」の合計。以下、同じ。）の割合が最も多いのは「成年後見制度」で63.9%となっていますが、他の用語については、3割前後にとどまっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、「成年後見制度」について知っている人は66.3%から63.9%と2.4ポイント減少していますが、他の用語については、知っている人はそれぞれ増加しており、特に「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）」については、24.9%から39.5%と14.6ポイント増加しています。

また、「成年後見制度」及び「地域福祉権利擁護事業」について、「利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。」という問いについては、約6割の人が「分からない」と回答しています。

障害があるためにあきらめていたり、できなかつたりしたことについては、身体障害者手帳を持つ人や高次脳機能障害の診断を受けている人では「旅行や外出」が最も多く、愛の手帳を持つ人では「結婚」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「人づきあい」、発達障害の診断を受けている人では「就職」が最も多くなっており、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「旅行や外出」「スポーツ・運動・レクリエーション」がともに最も多くなっています。

ご本人やご家族の方が、障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがあるか、について

は、感じる（「いつも感じる」「ときどき感じる」の合計。）と回答した人は、全体では 17.5%にとどまっていますが、愛の手帳を持つ人では 35.2%となっており、精神障害者保健福祉手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人でも3割以上となっています。

また、差別を受けたときや虐待があったときに市や相談支援事業者に相談などをすることで安心して暮らすことができると考えている人については、発達障害の診断を受けている人や高次脳機能障害の診断を受けている人では、安心できる（「安心できる」「少し安心できる」の合計。）と回答した人が5割以上となっていますが、他の障害のある人では5割未満となっており、「わからない」と回答した人が4割前後となっています。

(8) 就労について

何らかの就労をしている人は、愛の手帳を持つ人で 52.0%と最も多く、次いで、発達障害の診断を受けている人で 50.0%、難病（特定疾患）の診断を受けている人で 43.8%となっています。

仕事をする上で困っていることについては、「特にない」を除くと、いずれの障害のある人でも、「給与・工賃などが少ない」が最も多くなっています。なお、高次脳機能障害の診断を受けている人では、「給与・工賃などが少ない」とともに「職場の設備が障害に対応していない」が最も多い回答となっています。

次いで多い、仕事をする上での困りごとについて見ると、身体障害者手帳を持つ人では「身体的な負担が大きい」、愛の手帳を持つ人では「精神的な負担が大きい」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「職場の人間関係」、発達障害の診断を受けている人では「精神的な負担が大きい」「職場の人間関係」、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「身体的な負担が大きい」となっています。

障害者が一般就労するために必要なことについては、身体障害者手帳を持つ人では「障害に対応した柔軟な勤務形態」が最も多く、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「職場での良好な人間関係」が最も多くなっていますが、それ以外の障害を持つ人では、「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多くなっています。

(9) 市の支援・施策について

ライフステージの節目において、自身の情報が引き継がれないことで困ったことがあると回答した人については、発達障害の診断を受けている人で 26.9%と最も多く、次いで、愛の手帳を持つ人で 18.4%、高次脳機能障害の診断を受けている人で 12.5%となっており、全体では 6.2%となっています。

情報が引き継がれないことで困った時期については、愛の手帳を持つ人では「保育園等から小学校に入学するとき」が最も多く、それ以外の障害を持つ人では「就労するとき」が最も多くなっています。

なお、難病（特定疾患）の診断を受けている人では、「就労するとき」とともに「小学校から中学校へ進学するとき」が最も多くなっています。

今後、行政に力を入れてほしい施策については、発達障害の診断を受けている人では「障害に対する理解の促進」が最も多くなっていますが、それ以外の障害を持つ人では、いずれも「年金や手当などの経済的支援の充実」が最も多くなっています。

2-2 18歳未満とその保護者向け調査結果

(1) 医療について

医療に関する困りごとについては、「特にない」を除くと、いずれの障害がある人でも、「医療機関が家の近くにない」が最も多くなっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「医療機関が家の近くにない」が23.8%から29.3%と5.5ポイント増加し、「通院のための交通機関が整備されていない」が3.2%から9.5%と6.3ポイント増加しています。特に、「医療機関が家の近くにない」が、身体障害者手帳所持者で11.3ポイント、愛の手帳所持者で5.4ポイント増加し、「通院のための交通機関が整備されていない」が、身体障害者手帳所持者で11.6ポイント、愛の手帳所持者で6.4ポイント増加しています。

(2) 家族・介助について

主な介助者については、いずれの障害を持つ人でも「母親」が最も多くなっています。

また、介助者が困っていることについては、いずれの障害を持つ人でも「将来の見通しに不安がある」が最も多くなっています。

なお、主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、どのようにしたいか、については、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「ショートステイを利用したい」が最も多く、それ以外の障害を持つ人では、いずれも「同居の家族に介助してほしい」が最も多くなっています。

(3) 日常生活について

日常生活で困っていることについては、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「本人の成長や発達に不安がある」が最も多く、それ以外の障害を持つ人では、いずれも「将来に不安がある」が最も多くなっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「余暇活動や遊ぶことが十分できない」が20.2%から24.6%と4.4ポイント増加し、「身の回りのことが十分できない」が40.7%から44.0%と3.3ポイント増加しています。特に、「身の回りのことが十分できない」は、発達障害の診断を受けている人で24.7ポイント、精神障害者保健福祉手帳所持者で21.3ポイント増加しています。

困ったときの相談相手については、いずれの障害がある人でも「同居の家族」が最も多くなっています。次いで多い相談相手について見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「医療関係者」、それ以外の障害がある人では「学校・幼稚園・保育所の教職員」となっています。

福祉に関する情報の入手先については、全体では「学校・幼稚園・保育所」が最も多く、次いで、「友人や知人」、「医療機関」となっています。

障害種別に見ると、愛の手帳を持つ人では「学校・幼稚園・保育所」、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「友人や知人」が最も多くなっています。

なお、発達障害の診断を受けている人では「学校・幼稚園・保育所」及び「友人や知人」がともに最も多

く、精神障害者保健福祉手帳所持者では「市役所」及び「友人や知人」がともに最も多くなっています。
サービス利用に関して困っていることについては、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「サービス利用の手続きが大変」が最も多く、他の障害のある人ではいずれも「サービスに関する情報が少ない」が最も多くなっています。

(4) 災害について

災害が起きたときに不安に感じることについては、いずれの障害がある人でも「ひとりでは避難できない」が最も多くなっています。

なお、精神障害者保健福祉手帳所持者では「ひとりでは避難できない」とともに「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。

また、災害のときに必要とする支援については、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「薬や医療的ケアの確保」が最も多く、それ以外の障害を持つ人では、「障害に対応した避難所の確保」が最も多くなっています。

(5) 住まいについて

住まいの状況については、障害の種類に関係なく「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。
次いで多い住まいについて見ると、精神障害者保健福祉手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「民間賃貸住宅（集合住宅）」、それ以外の障害のある人では「持ち家（集合住宅）」となっています。

住宅に関して困っていることについては、「特になく、満足している」を除くと、精神障害者保健福祉手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「家賃など住宅費の負担」が最も多く、それ以外の障害がある人では「階段の昇り降り」が最も多くなっています。

なお、全体では「特になく、満足している」が50.9%となっていますが、「特になく、満足している」と「無回答」を除いた43.5%は何らかの困りごとがあると回答しています。

住宅に関して行政が今後取り組むべきことについては、全体では、「グループホームなどの整備を促進する」が最も多く、次いで、「家賃の助成をする」、「障害者向け住宅の整備を促進する」が多くなっています。

障害種別で見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「住宅改修費の助成を充実する」が最も多く、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「グループホームなどの整備を促進する」、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「家賃の助成をする」が最も多くなっています。

(6) 外出について

外出の目的については、いずれの障害がある人でも「通学・通園」が最も多くなっています。

移動手段については、全体では、「徒歩」が65.5%と最も多く、次いで、「自動車」が48.4%、「電車」が42.8%となっています。

移動手段について障害種別で見ると、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「自動車」が最も多く、それ以外の障害がある人では「徒歩」が最も多くなっています。

外出時に困ることについては、身体障害者手帳を持つ人では「建物の段差・階段・設備」が最も多く、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「駅での移動や乗り替え」が最も多くなっており、それ以外の障害がある人では「困ったときどうすればいいか不安」が最も多くなっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、全体では、「駅での移動や乗り替え」が24.6%から33.6%と9.0ポイント増加し、「困ったときどうすればいいか不安」が39.1%から45.7%と6.6ポイント増加しています。特に、「駅での移動や乗り替え」は、精神障害者保健福祉手帳所持者で12.9ポイント、難病（特定疾患）の診断を受けている人で11.5ポイント増加しています。

（7）権利擁護について

権利擁護に関する用語について、知っている（「内容を知っている」「名前は聞いたことがある」）の合計。以下、同じ。）の割合が最も多いのは「成年後見制度」で62.5%となっており、次いで「障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）」が40.5%となっていますが、他の用語については3割以下となっており、「地域福祉権利擁護事業」については16.8%にとどまっています。

前回（平成30年3月）調査結果と比較すると、「成年後見制度」及び「地域福祉権利擁護事業」、「八王子市障害者虐待防止センター」について知っている人はそれぞれ約4～5ポイント増加していますが、「障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）」及び「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）」について知っている人は減少しています。

また、「成年後見制度」及び「地域福祉権利擁護事業」について、「利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。」という問いについては、約6割の人が「分からない」と回答しています。

ご本人やご家族の方が、障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがあるか、については、感じる（「いつも感じる」「ときどき感じる」）の合計。）と回答した人は、全体で41.4%となっています。

また、差別を受けたときや虐待があったときに市や相談支援事業者に相談などをする事で安心して暮らすことができると考えている人については、全体では47.8%が安心できる（「安心できる」「安心できる」）の合計。）と回答していますが、「わからない」と回答した人が39.2%、「安心できない」と回答した人が9.1%となっています。

（8）教育・療育について

学校の放課後などの過ごし方については、いずれの障害がある人でも「家族・親族といる」が最も多く、次いで、「放課後等デイサービスを利用している」が多くなっています。なお、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「放課後等デイサービスを利用している」とともに「ひとりである」が、次いで多くなっています。

療育や訓練について、現在困っていることや以前に困っていたことについては、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では「療育・訓練に関する情報が少ない」が最も多く、身体障害者手帳を持つ人や難病（特定疾患）の診断を受けている人では「通園・通所（送り迎え）が大変である」が最も多くなっています。なお、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「療育・訓練に関する情報が少ない」と合わせて「通園・通所（送り迎え）が大変である」がともに最も多くなっています。

学校や教育について困っていることについては、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「特

「特にない」が最も多くなっていますが、それ以外の障害がある人では、「学校卒業後の進路に不安がある」が最も多く、次いで、「通学（送り迎え）が大変である」が多くなっています。

なお、難病（特定疾患）の診断を受けているでは、「特にない」に次いで、「学校卒業後の進路に不安がある」及び「通学（送り迎え）が大変である」が多くなっています。

学校卒業後に希望する進路については、愛の手帳を持つ人や発達障害の診断を受けている人では、「福祉的就労をしたい（就労移行・就労継続支援事業所（作業所））」が最も多くなっていますが、それ以外の障害がある人では、「わからない」が最も多くなっています。

障害者が一般就労するために必要だと思うことについては、全体では、「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が最も多く、次いで、「職場の障害理解の促進」、「職場での良好な人間関係」が多くなっています。

(9) 切れ目ない支援について

ライフステージの節目において、自身の情報が引き継がれないことで困ったことがあると回答した人は、いずれの障害がある人でも約3割となっており、その時期については、全体では、「保育園等から小学校に入学するとき」が44.4%と最も多く、次いで、「小学校から中学校へ進学するとき」が36.5%、「保育園等に入園するとき」が30.2%となっています。

(10) 施策について

今後、行政に力を入れてほしい施策については、全体では、「年金や手当など経済的支援の充実」が64.7%と最も多く、次いで、「障害に対する理解の促進」が63.8%、「雇用・就労支援の充実」が60.8%となっています。

3 ちょうさけっか さいいじょう 調査結果 (18歳以上)

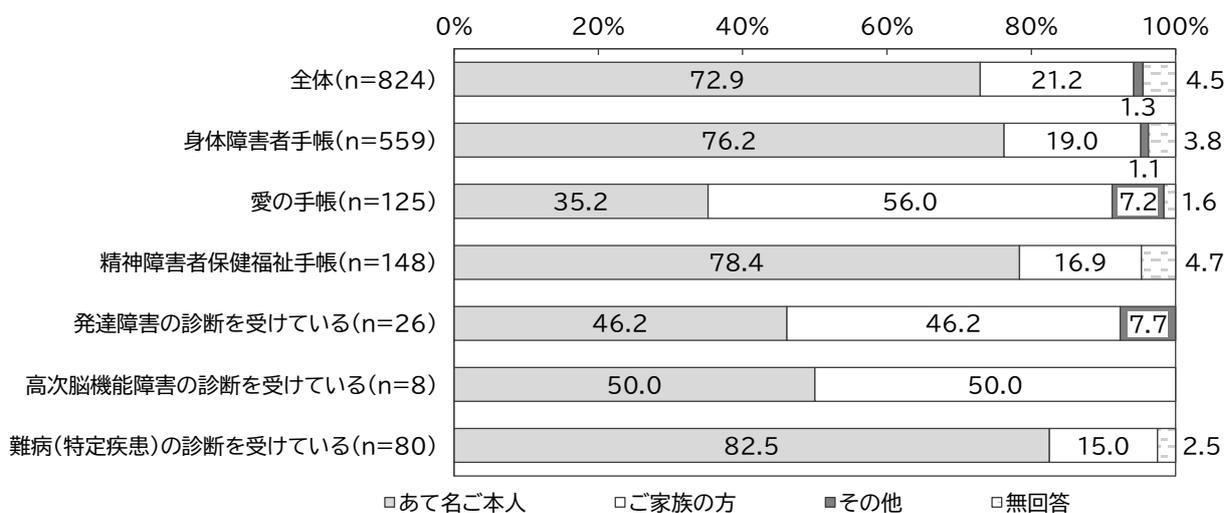
3-1 ほんにん 本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

調査票の回答者は、身体障害者手帳を持つ人は「あて名ご本人」が76.2%、「ご家族の方」が19.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「あて名ご本人」が35.2%、「ご家族の方」が56.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「あて名ご本人」が78.4%、「ご家族の方」が16.9%となっています。

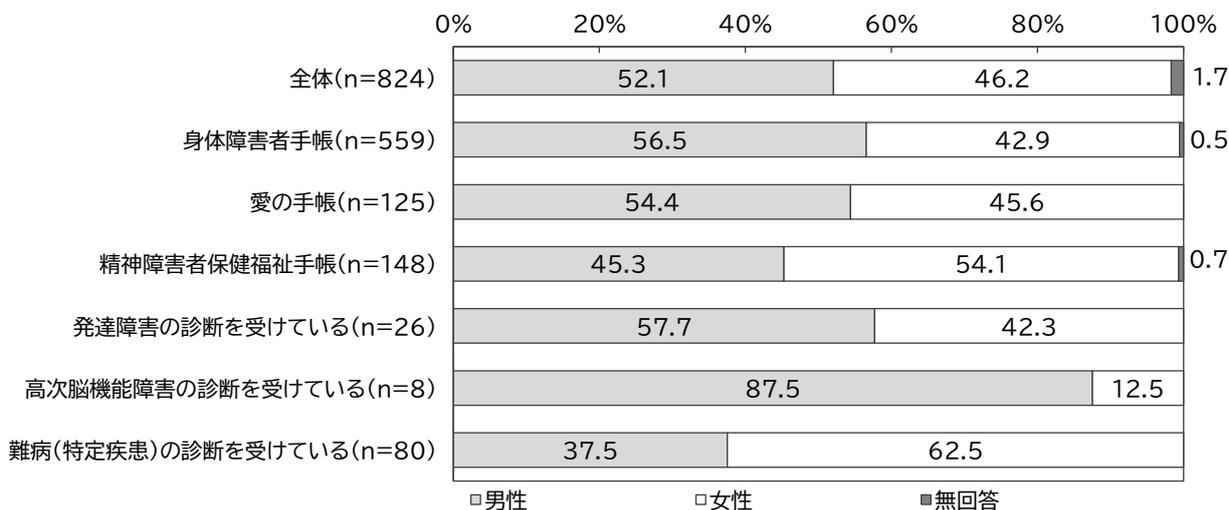


問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

回答者の性別は、身体障害者手帳を持つ人は「男性」が56.5%と、「女性」の42.9%をやや上回っています。

愛の手帳を持つ人は「男性」が54.4%と、「女性」の45.6%をやや上回っています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「男性」が45.3%と、「女性」の54.1%をやや下回っています。

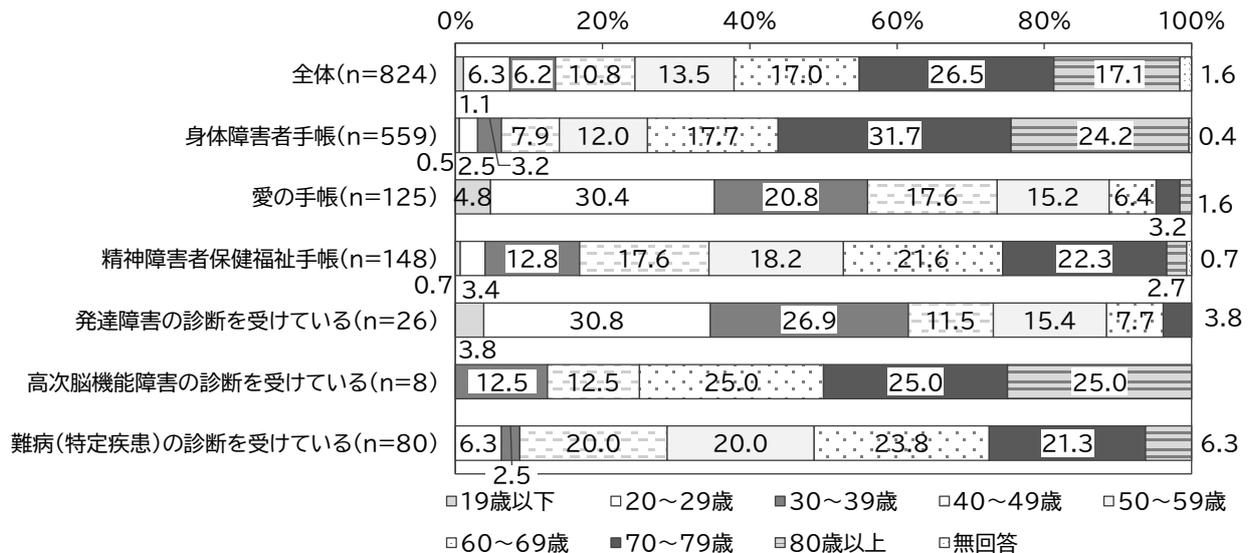


問3 あなたの年齢をお聞きします。令和2年（2020年）4月1日現在の満年齢でお答えください。（〇はひとつ）

回答者の年齢は、身体障害者手帳を持つ人は「70～79歳」が31.7%と最も多く、次いで「80歳以上」が24.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「20～29歳」が30.4%と最も多く、次いで「30～39歳」が20.8%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「70～79歳」が22.3%と最も多く、次いで「60～69歳」が21.6%となっています。

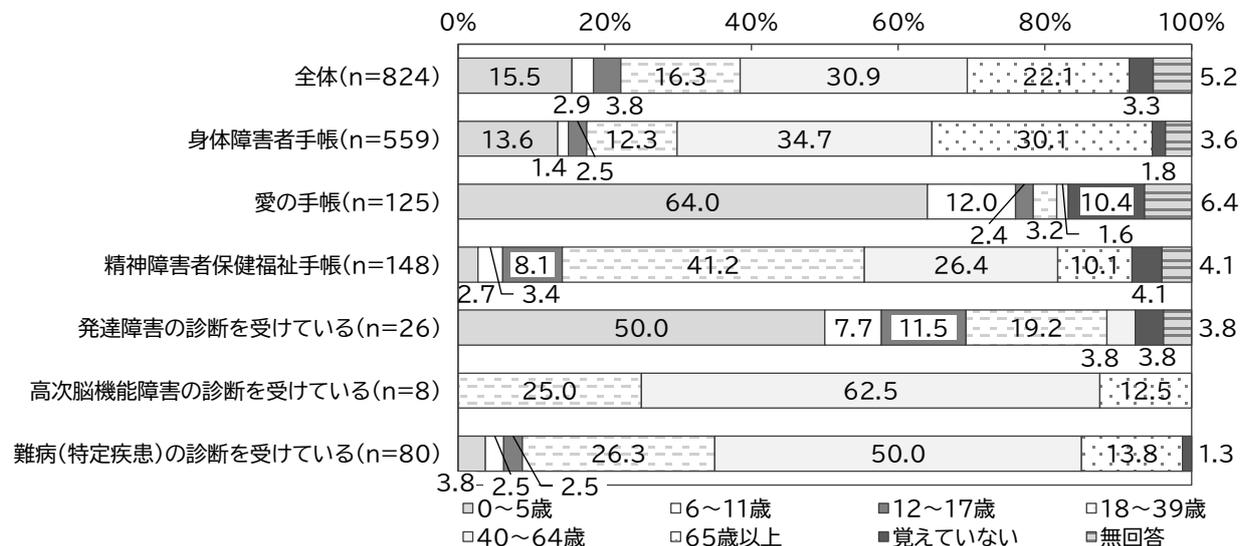


問4 あなたが障害（難病(特定疾患)※）を受けたのは、満何歳のころですか。（〇はひとつ）

障害を受けた時期は、身体障害者手帳を持つ人は「40～64歳」が34.7%と最も多く、次いで「65歳以上」が30.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「0～5歳」が64.0%と最も多く、次いで「6～11歳」が12.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「18～39歳」が41.2%と最も多く、次いで「40～64歳」が26.4%となっています。



問5 あなたが持っている手帳をお聞きします。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも○をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。(○はいくつでも)

他にお持ちの手帳や診断の有無については、身体障害者手帳を持つ人は「愛の手帳」が6.3%、「難病(特定疾患)の診断を受けている」が7.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「身体障害者手帳」が28.0%、「発達障害の診断を受けている」が14.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「身体障害者手帳」が18.9%、「発達障害の診断を受けている」が7.4%となっています。

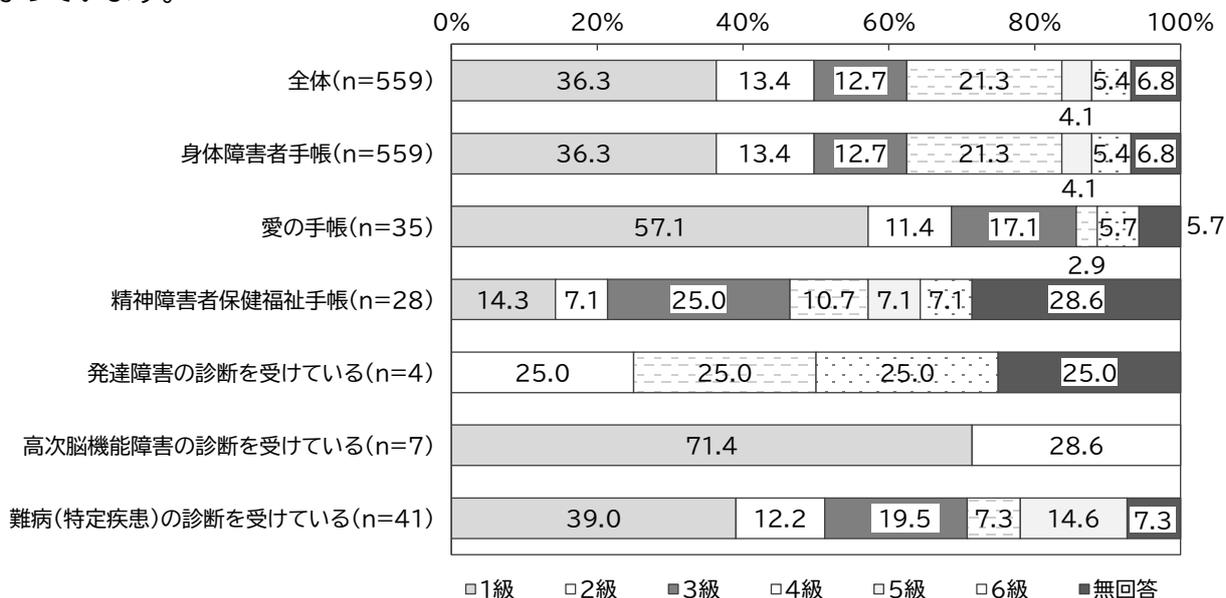
(単位:%)

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	高次脳機能障害の診断を受けている	難病(特定疾患)の診断を受けている	手帳は持っていない	無回答
全体(n=824)	67.8	15.2	18.0	3.2	1.0	9.7	1.5	1.6
身体障害者手帳(n=559)	100.0	6.3	5.0	0.7	1.3	7.3	0.0	0.0
愛の手帳(n=125)	28.0	100.0	8.0	14.4	0.0	3.2	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	18.9	6.8	100.0	7.4	2.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている(n=26)	15.4	69.2	42.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	87.5	0.0	37.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	51.3	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

① 身体障害者手帳の等級・程度

身体障害者手帳の等級は、「1級」が36.3%と最も多く、次いで「4級」が21.3%となっています。

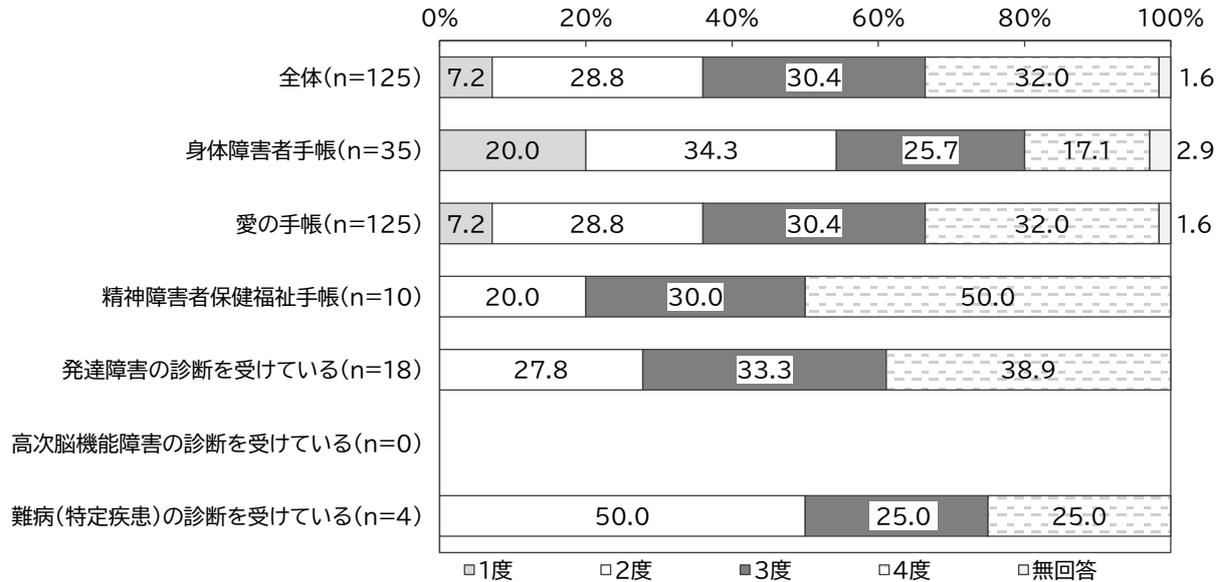
このうち、愛の手帳を持つ人では「1級」が57.1%と最も多く、次いで「3級」が17.1%となっており、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「無回答」が28.6%と最も多く、次いで「3級」が25.0%となっています。



② 愛の手帳の等級・程度

愛の手帳を持つ人の等級は、「4度」が32.0%と最も多く、次いで「3度」が30.4%となっています。

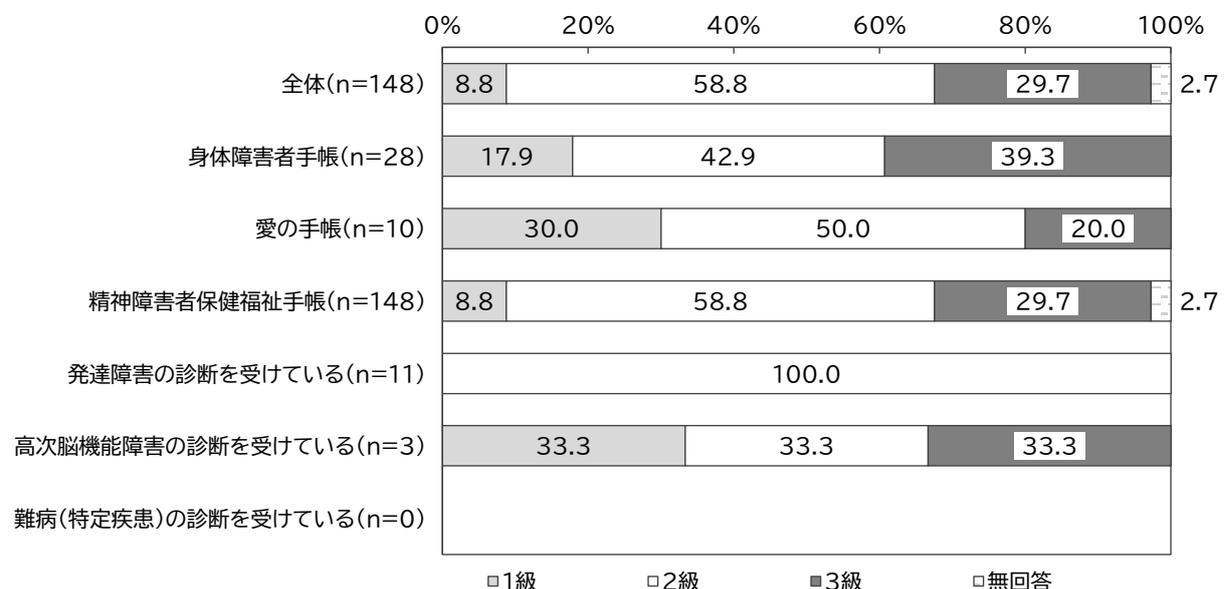
このうち、身体障害者手帳を持つ人では、「2度」が34.3%と最も多く、次いで「3度」が25.7%となっており、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「4度」が50.0%と最も多く、次いで「3度」が30.0%となっています。



③ 精神障害者保健福祉手帳の等級・程度

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が58.8%と最も多く、次いで「3級」が29.7%となっています。

このうち、身体障害者手帳を持つ人では「2級」が42.9%と最も多く、次いで「3級」が39.3%となっており、愛の手帳を持つ人では、「1級」が50.0%と最も多く、次いで「1級」が30.0%となっています。



問6 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳を持つ人の身体障害者手帳の障害の種類は「肢体不自由」が46.5%と最も多く、次いで「内部障害」が31.8%となっています。

このうち、愛の手帳を重複してお持ちの方の障害の種類は、「肢体不自由」が77.1%と最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」が17.1%となっています。

また、精神障害者保健福祉手帳を重複してお持ちの方の障害の種類は、「肢体不自由」が35.7%と最も多く、次いで「内部障害」が28.6%となっています。

(単位:%)

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	無回答
全体(n=559)	7.0	13.2	5.0	46.5	31.8	4.7
身体障害者手帳(n=559)	7.0	13.2	5.0	46.5	31.8	4.7
愛の手帳(n=35)	5.7	5.7	17.1	77.1	2.9	8.6
精神障害者保健福祉手帳(n=28)	3.6	17.9	7.1	35.7	28.6	25.0
発達障害の診断を受けている(n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=7)	0.0	14.3	28.6	71.4	0.0	14.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=41)	12.2	9.8	7.3	61.0	26.8	2.4

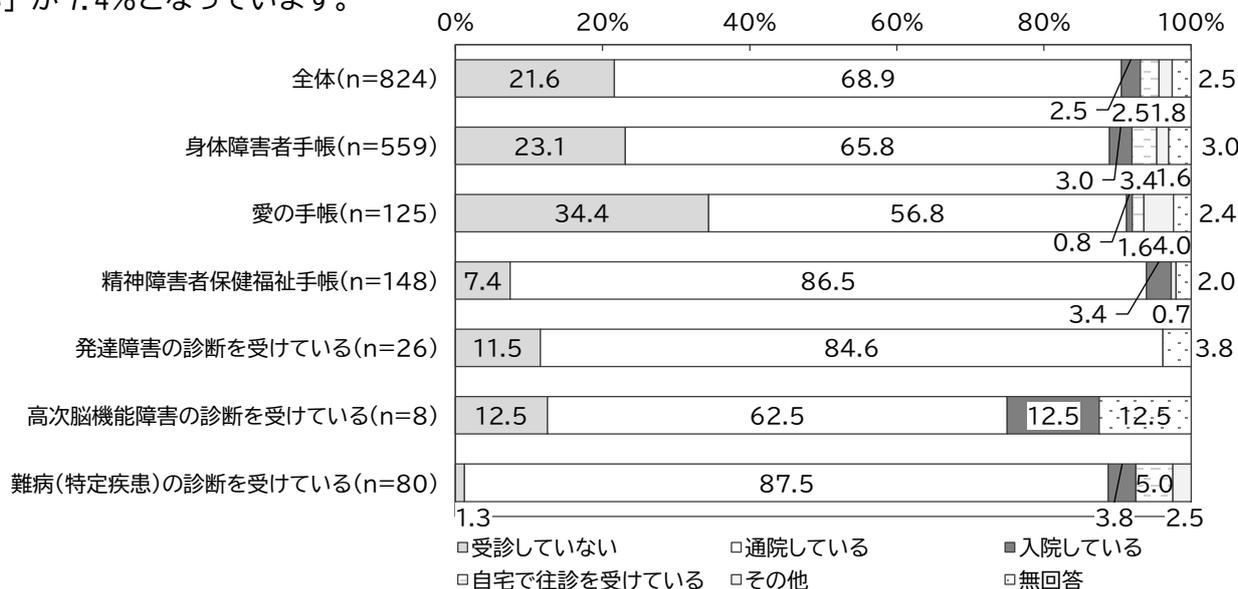
3-2 医療について

問7 あなたは現在、障害に関する事で医療機関を受診していますか。(〇はひとつ)

障害に関する医療機関の受診状況は、身体障害者手帳を持つ人は「通院している」が65.8%と最も多く、次いで「受診していない」が23.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「通院している」が56.8%と最も多く、次いで「受診していない」が34.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「通院している」が86.5%と最も多く、次いで「受診していない」が7.4%となっています。



問8 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

医療に関する困りごとは、手帳の種類に関係なく「特にない」が最も多いものの、発達障害の診断を受けている人や高次脳機能障害の診断を受けている人では「医療機関が家の近くにない」がそれぞれ30.8%、25.0%と最も多く、難病（特定疾患）の診断を受けている人では「医療費の負担が大きい」が33.8%と最も多くなっています。

(単位:%)

	医療機関が家の近くにない	障害についての専門の医療機関がない	休日や夜間に 対応してくれる医療機関がない	通院のための 介助者が確保しにくい	通院のための 交通機関が整備されていない	医療機関がバリアフリー化されていない	気軽に相談できる場がない
全体(n=824)	20.3	8.5	7.2	7.6	5.3	3.0	11.8
身体障害者手帳(n=559)	19.1	8.8	6.8	7.9	5.4	3.9	10.6
愛の手帳(n=125)	21.6	10.4	8.8	8.8	3.2	2.4	19.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	23.0	9.5	10.8	9.5	4.7	3.4	17.6
発達障害の診断を受けている(n=26)	30.8	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8	26.9
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	25.0	6.3	3.8	3.8	6.3	0.0	8.8

(単位:%)

	治療の説明が十分理解できない	医療費の負担が大きい	障害が理由で 医療拒否されたことがある	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	6.7	16.5	4.0	42.6	3.3	5.6
身体障害者手帳(n=559)	5.0	14.3	3.2	44.2	3.4	6.4
愛の手帳(n=125)	11.2	12.0	10.4	35.2	2.4	4.8
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	10.8	13.5	6.1	38.5	4.1	6.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	15.4	23.1	7.7	26.9	7.7	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	3.8	33.8	1.3	31.3	2.5	2.5

【前回調査との比較】 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「医療機関が家の近くにない」が16.1%から20.3%と4.2ポイント増加し、「医療費の負担が大きい」が14.8%から16.5%と1.7ポイント増加しています。特に、「医療機関が家の近くにない」が、愛の手帳所持者で6.1ポイント、発達障害の診断を受けている人で5.8ポイント増加し、「医療費の負担が大きい」が、発達障害の診断を受けている人で23.1ポイント、難病(特定疾患)の診断を受けている人で10.7ポイント増加しています。

(単位:%)

		医療機関が近くにない	障害専門の医療機関がない	休日や夜間診療が受けられない	通院の確保が困難	交通機関が利用しにくい	医療機関が近くにない	気軽に相談できない
全体	今回(n=824)	20.3	8.5	7.2	7.6	5.3	3.0	11.8
	前回(n=769)	16.1	8.4	7.7	5.7	5.3	1.5	10.8
	今回-前回	4.2	0.1	-0.5	1.9	0.0	1.5	1.0
身体障害者手帳	今回(n=559)	19.1	8.8	6.8	7.9	5.4	3.9	10.6
	前回(n=529)	14.6	8.3	7.2	5.5	5.3	1.9	8.1
	今回-前回	4.5	0.5	-0.4	2.4	0.1	2.0	2.5
愛の手帳	今回(n=125)	21.6	10.4	8.8	8.8	3.2	2.4	19.2
	前回(n=103)	15.5	11.7	7.8	10.7	1.9	1.0	11.7
	今回-前回	6.1	-1.3	1.0	-1.9	1.3	1.4	7.5
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=148)	23.0	9.5	10.8	9.5	4.7	3.4	17.6
	前回(n=126)	19.8	8.7	12.7	7.1	5.6	0.8	22.2
	今回-前回	3.2	0.8	-1.9	2.4	-0.9	2.6	-4.6
発達障害の診断を受けている	今回(n=26)	30.8	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8	26.9
	前回(n=16)	25.0	31.3	12.5	6.3	6.3	0.0	25.0
	今回-前回	5.8	-23.6	-4.8	-6.3	-2.5	3.8	1.9
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=80)	25.0	6.3	3.8	3.8	6.3	0.0	8.8
	前回(n=78)	24.4	6.4	9.0	6.4	10.3	1.3	9.0
	今回-前回	0.6	-0.1	-5.2	-2.6	-4.0	-1.3	-0.2

(単位:%)

		治療の説明が分かりにくい	医療費の負担が大きい	障害が理由で拒否される	特になし	その他	無回答
全体	今回(n=824)	6.7	16.5	4.0	42.6	3.3	5.6
	前回(n=769)	5.7	14.8	3.2	47.8	5.2	8.0
	今回-前回	1.0	1.7	0.8	-5.2	-1.9	-2.4
身体障害者手帳	今回(n=559)	5.0	14.3	3.2	44.2	3.4	6.4
	前回(n=529)	4.5	14.6	2.8	50.9	4.7	8.3
	今回-前回	0.5	-0.3	0.4	-6.7	-1.3	-1.9
愛の手帳	今回(n=125)	11.2	12.0	10.4	35.2	2.4	4.8
	前回(n=103)	8.7	10.7	5.8	42.7	9.7	9.7
	今回-前回	2.5	1.3	4.6	-7.5	-7.3	-4.9
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=148)	10.8	13.5	6.1	38.5	4.1	6.1
	前回(n=126)	8.7	15.9	3.2	41.3	8.7	3.2
	今回-前回	2.1	-2.4	2.9	-2.8	-4.6	2.9
発達障害の診断を受けている	今回(n=26)	15.4	23.1	7.7	26.9	7.7	3.8
	前回(n=16)	18.8	0.0	0.0	37.5	6.3	12.5
	今回-前回	-3.4	23.1	7.7	-10.6	1.4	-8.7
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=80)	3.8	33.8	1.3	31.3	2.5	2.5
	前回(n=78)	6.4	23.1	3.8	39.7	1.3	3.8
	今回-前回	-2.6	10.7	-2.5	-8.4	1.2	-1.3

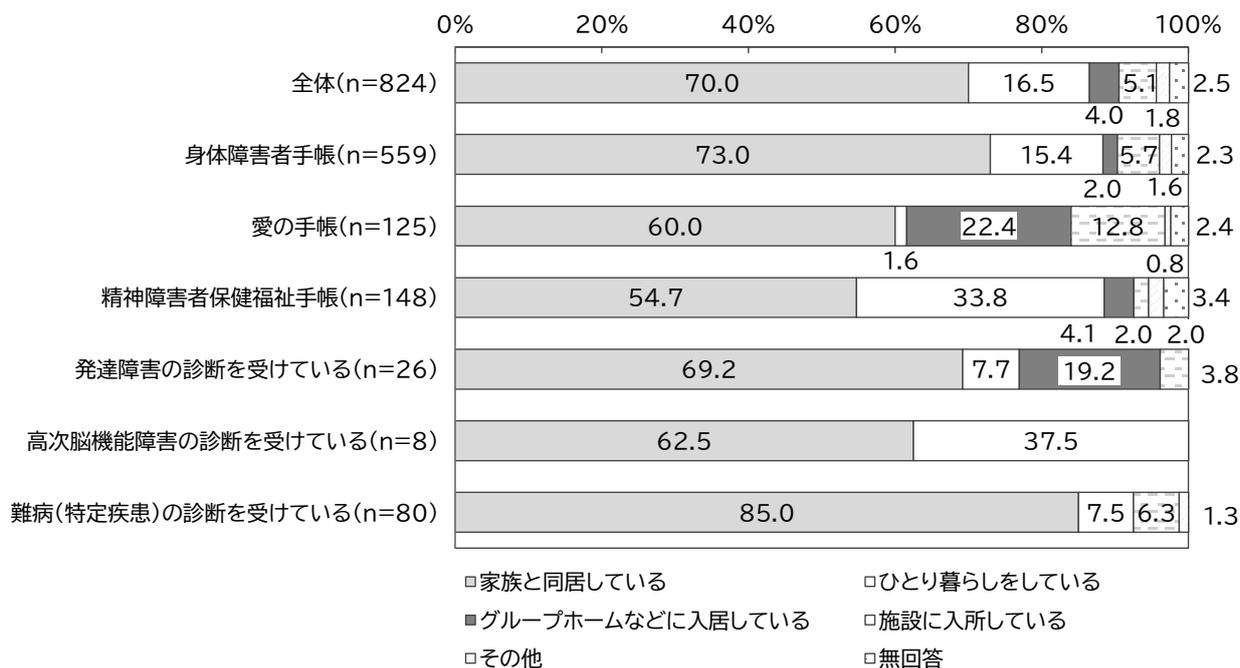
3-3 家族・介助について

問9 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(〇はひとつ)

現在の暮らし方は身体障害者手帳を持つ人は「家族と同居している」が73.0%と最も多く、次いで「ひとり暮らしをしている」が15.4%となっています。

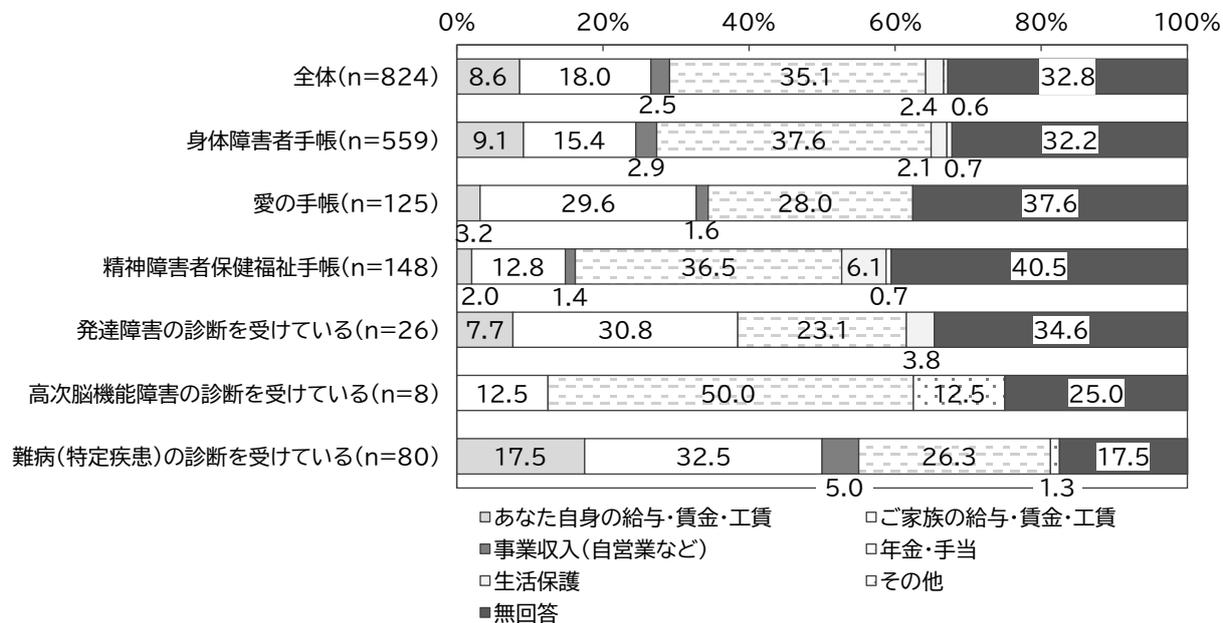
愛の手帳を持つ人は「家族と同居している」が60.0%と最も多く、次いで「グループホームなどに入居している」が22.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「家族と同居している」が54.7%と最も多く、次いで「ひとり暮らしをしている」が33.8%となっています。



問10-1 あなたの世帯の一番多い収入は何ですか。(○はひとつ)
 ※世帯とは、あなたと同じ家で暮らし、同じ収入で生活している方々のことです。

世帯の中で一番多い収入は、手帳の種類に関係なく「無回答」を除き、「年金・手当」や「ご家族の給与・賃金・工賃」が多くなっています。



問10-2 あなたの世帯では問10-1以外にどのような収入がありますか。(○はいくつでも)

問10-1以外の収入は、手帳の種類に関係なく「特にない」を除き、「年金・手当」が最も多く次いで「あなた自身の給与・賃金・工賃」や「ご家族の給与・賃金・工賃」がやや多くなっています。

(単位:%)

	あなた自身の給与・賃金・工賃	ご家族の給与・賃金・工賃	事業収入(自営業など)	年金・手当	生活保護	その他	特にない	無回答
全体(n=824)	14.4	13.2	1.2	44.5	4.7	1.7	26.2	8.5
身体障害者手帳(n=559)	8.4	12.5	1.1	46.2	3.9	1.6	28.4	8.4
愛の手帳(n=125)	38.4	20.0	1.6	50.4	1.6	0.8	16.8	7.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	14.9	8.1	2.0	40.5	14.2	2.0	22.3	12.2
発達障害の診断を受けている(n=26)	34.6	26.9	0.0	65.4	3.8	0.0	15.4	7.7
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	25.0	25.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	22.5	11.3	0.0	37.5	1.3	1.3	26.3	6.3

問11 あなたは次のような日常生活に、介助を必要としていますか。(〇はいくつでも)

日常生活において介助が必要なことは、手帳の種類に関係なく「掃除をする」や「外出する」、「食事をつくる」などが多く挙げられています。

また、身体障害者手帳を持つ人は「外出する」が 37.6%、愛の手帳を持つ人は「お金を管理する」が 81.6%、「日常生活に必要なことを判断したり、決めたりする」が 76.8%精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「お金を管理する」が 30.4%、「日常生活に必要なことを判断したり、決めたりする」が 34.5%と多くなっています。

(単位:%)

	食事をする	排せつをする	着がえをする	入浴する	掃除をする	洗濯をする	食事をつくる	家の中で移動する
全体(n=824)	13.5	13.8	17.5	23.5	32.5	28.9	32.2	11.8
身体障害者手帳(n=559)	15.0	16.8	19.7	25.6	31.5	27.9	30.1	14.3
愛の手帳(n=125)	30.4	31.2	36.0	45.6	57.6	59.2	65.6	23.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	10.8	5.4	9.5	14.9	35.8	27.7	32.4	4.7
発達障害の診断を受けている(n=26)	23.1	19.2	19.2	38.5	57.7	57.7	73.1	15.4
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	25.0	25.0	37.5	37.5	50.0	62.5	50.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	13.8	16.3	21.3	23.8	23.8	20.0	23.8	15.0

(単位:%)

	外出する	コミュニケーションをとる	薬を飲んだり管理する	お金を管理する	日常生活に必要なことを判断したり、決めたりする	介助は必要としていない	その他	無回答
全体(n=824)	35.9	23.1	25.1	29.0	26.7	36.3	1.9	6.3
身体障害者手帳(n=559)	37.6	20.0	22.2	23.6	19.7	39.0	2.0	5.9
愛の手帳(n=125)	65.6	62.4	67.2	81.6	76.8	9.6	0.8	2.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	25.7	24.3	23.6	30.4	34.5	20.9	3.4	11.5
発達障害の診断を受けている(n=26)	42.3	61.5	57.7	76.9	65.4	7.7	3.8	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	62.5	50.0	25.0	50.0	50.0	12.5	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	35.0	11.3	20.0	17.5	15.0	51.3	1.3	6.3

問12 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。(○はひとつ)

主な介助者は「介助は必要としていない」や「無回答」を除き、身体障害者手帳を持つ人は「配偶者」が23.6%と最も多く、次いで「子ども」が9.7%となっています。

愛の手帳を持つ人は「母親」が44.8%と最も多く、次いで「グループホームなどに入居している」が24.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「配偶者」が17.6%と最も多く、次いで「母親」が12.8%となっています。

(単位:%)

	母親	父親	配偶者	兄弟姉妹	子ども	その他親族	ホームヘルパー	施設などの職員	介助は必要としていない	その他	無回答
全体(n=824)	10.9	1.0	19.9	1.8	7.0	0.6	4.5	7.2	31.4	1.0	14.7
身体障害者手帳(n=559)	5.4	0.7	23.6	1.8	9.7	0.5	4.3	7.0	32.4	0.5	14.1
愛の手帳(n=125)	44.8	4.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.8	24.0	6.4	0.0	18.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	12.8	1.4	17.6	4.7	0.7	0.7	10.8	4.7	28.4	2.7	15.5
発達障害の診断を受けている(n=26)	42.3	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8	11.5	11.5	0.0	19.2
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	7.5	0.0	23.8	2.5	3.8	0.0	0.0	8.8	38.8	0.0	15.0

問13 問12で「家族が介助している（1～6）」と回答した方にお聞きます。
 介助者の方はどのようなことで困っていますか。（○はいくつでも）

介助者が困っていることは、手帳の種類に関係なく「将来の見通しに不安がある」が最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」や「介助者自身の健康に不安がある」などが4割～5割ほど挙がっています。

(単位:%)

	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	長期の旅行や外出ができない	将来の見通しに不安がある
全体(n=340)	40.9	26.5	36.8	23.5	28.8	42.4	38.2	49.7
身体障害者手帳(n=233)	39.1	28.3	32.6	22.3	25.3	40.3	39.1	42.9
愛の手帳(n=63)	46.0	36.5	54.0	22.2	38.1	55.6	46.0	79.4
精神障害者保健福祉手帳(n=56)	48.2	26.8	55.4	35.7	39.3	46.4	39.3	64.3
発達障害の診断を受けている(n=14)	42.9	28.6	71.4	35.7	42.9	64.3	42.9	85.7
高次脳機能障害の診断を受けている(n=5)	0.0	20.0	80.0	20.0	20.0	0.0	80.0	60.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=30)	53.3	36.7	36.7	13.3	20.0	36.7	33.3	36.7

(単位:%)

	特にない	その他	無回答
全体(n=340)	7.9	0.9	4.1
身体障害者手帳(n=233)	10.3	0.0	3.4
愛の手帳(n=63)	1.6	3.2	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=56)	1.8	0.0	5.4
発達障害の診断を受けている(n=14)	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=5)	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=30)	10.0	0.0	6.7

問14 問12で「家族が介助している（1～6）」と回答した方にお聞きします。
 主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。
 （〇はいくつでも）

主な介助者の介助が受けられない時の対応として、身体障害者手帳を持つ人は「ホームヘルパーを利用したい」が31.8%と最も多く、次いで「ショートステイを利用したい」が20.2%となっています。
 愛の手帳を持つ人は「同居の家族に介助してほしい」が39.7%と最も多く、次いで「ショートステイを利用したい」が36.5%となっています。
 精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ホームヘルパーを利用したい」が33.9%と最も多く、次いで「グループホームなどに入居したい」が17.9%となっています。

(単位:%)

	同居の家族に介助してほしい	別居の親族に介助してほしい	ホームヘルパーを利用したい	ショートステイを利用したい	民間の有償介助サービスを利用したい	グループホームなどに入居したい	施設に入所したい	病院に入院したい
全体(n=340)	20.9	12.1	30.9	19.7	8.5	10.0	14.7	7.6
身体障害者手帳(n=233)	18.9	13.7	31.8	20.2	9.4	3.9	15.0	9.0
愛の手帳(n=63)	39.7	7.9	25.4	36.5	4.8	31.7	15.9	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=56)	16.1	12.5	33.9	16.1	8.9	17.9	16.1	8.9
発達障害の診断を受けている(n=14)	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	7.1	7.1
高次脳機能障害の診断を受けている(n=5)	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=30)	13.3	3.3	30.0	10.0	10.0	6.7	16.7	16.7

(単位:%)

	わからない	その他	無回答
全体(n=340)	16.5	2.6	8.5
身体障害者手帳(n=233)	14.2	3.0	9.4
愛の手帳(n=63)	9.5	1.6	3.2
精神障害者保健福祉手帳(n=56)	25.0	1.8	8.9
発達障害の診断を受けている(n=14)	21.4	7.1	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=5)	0.0	0.0	20.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=30)	10.0	0.0	20.0

3-4 日常生活について

問15 あなたは普段、自由時間に何をして過ごしていますか。(〇はいくつでも)

自由時間の過ごし方は、手帳の種類に関係なく「テレビ・ラジオ」が6割以上と多く、次いで「趣味活動・遊び」が3割以上となっています。

(単位:%)

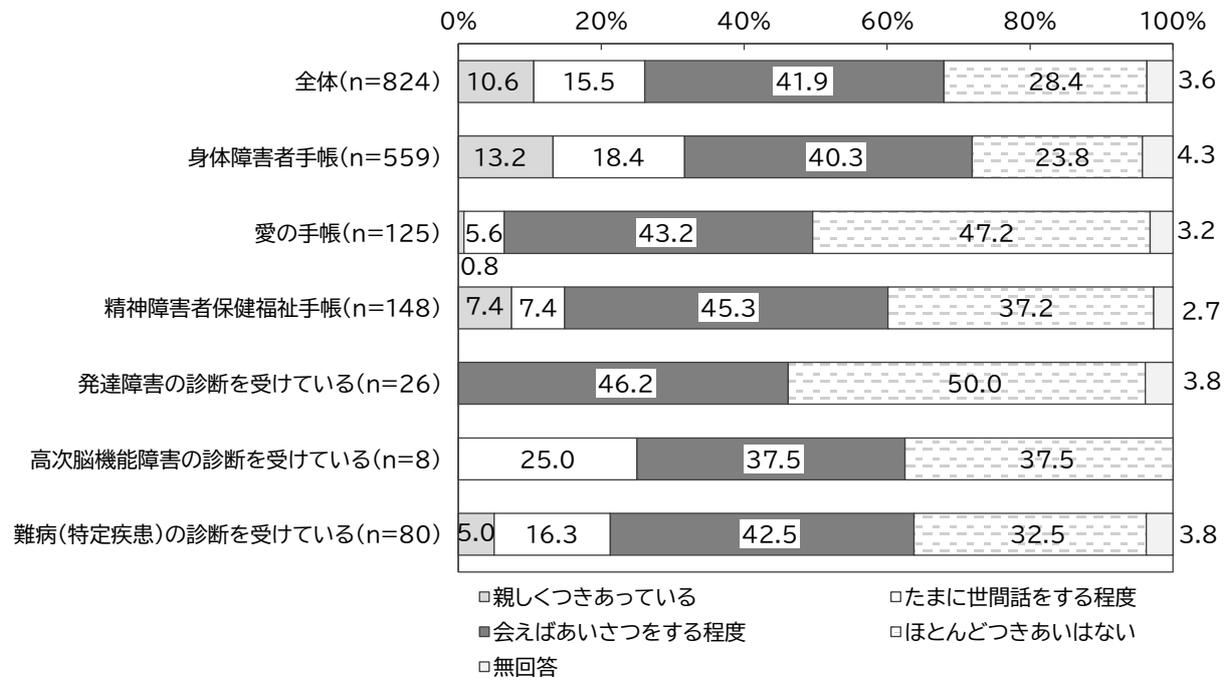
	家族との 団らん	友人・知人との 交流	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・ レクリエーション	買い物	地域の活動	障害者団体など の活動	テレビ・ラジオ
全体(n=824)	33.1	23.2	36.4	12.3	33.6	6.1	4.6	65.4
身体障害者手帳(n=559)	32.4	22.7	34.9	12.2	32.4	6.1	2.7	65.3
愛の手帳(n=125)	42.4	12.0	44.0	12.0	30.4	3.2	16.8	74.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	25.0	25.0	41.2	12.2	37.8	4.7	6.1	60.8
発達障害の診断を受けている (n=26)	46.2	15.4	61.5	11.5	34.6	0.0	19.2	84.6
高次脳機能障害の診断を受けている (n=8)	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	87.5
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=80)	42.5	25.0	23.8	13.8	31.3	5.0	2.5	55.0

(単位:%)

	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体(n=824)	6.8	4.1	2.1
身体障害者手帳(n=559)	6.6	3.9	2.1
愛の手帳(n=125)	7.2	1.6	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	6.8	4.7	0.0
発達障害の診断を受けている (n=26)	3.8	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている (n=8)	12.5	12.5	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=80)	8.8	6.3	6.3

問16 あなたは普段、近所の人との程度のおつきあいをしていますか。(〇はひとつ)

近所の人とのおつきあいの状況については、「会えばあいさつをする程度」や「ほとんどつきあいはない」が多く、身体障害者手帳を持つ人は64.1%、愛の手帳を持つ人は90.4%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は82.5%となっています。



問17 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

日常生活で困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「健康状態に不安がある」が39.0%と最も多く、次いで「将来に不安がある」が36.5%となっています。

愛の手帳を持つ人は「緊急時の対応に不安がある」が48.0%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が45.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「将来に不安がある」が59.5%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」、「経済的に不安がある」がともに50.7%となっています。

(単位:%)

	身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	就労について困っている	利用できる日中活動の場がないので困っている	余暇活動や遊ぶことが十分できない
全体(n=824)	26.5	40.5	7.9	20.5	29.7	8.0	4.7	13.7
身体障害者手帳(n=559)	24.7	39.0	7.0	20.4	29.2	5.4	2.7	11.6
愛の手帳(n=125)	45.6	35.2	4.8	28.8	48.0	6.4	10.4	25.6
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	32.4	50.7	15.5	24.3	29.1	16.2	10.8	20.3
発達障害の診断を受けている(n=26)	50.0	57.7	7.7	34.6	38.5	26.9	3.8	19.2
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	62.5	37.5	0.0	62.5	50.0	12.5	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	21.3	45.0	6.3	18.8	22.5	10.0	0.0	13.8

(単位:%)

	スポーツ・運動・レクリエーションが十分でない	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからないことがある	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	15.2	32.2	40.9	20.8	17.0	0.6	4.6
身体障害者手帳(n=559)	15.0	27.4	36.5	16.1	18.4	0.9	5.5
愛の手帳(n=125)	16.8	26.4	44.0	35.2	13.6	0.0	2.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	16.2	50.7	59.5	41.9	7.4	0.0	3.4
発達障害の診断を受けている(n=26)	23.1	53.8	65.4	50.0	3.8	0.0	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	37.5	75.0	37.5	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	18.8	38.8	51.3	16.3	12.5	0.0	3.8

【前回調査との比較】 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「どうしてよいかわからないことがある」が16.5%から20.8%と4.3ポイント増加し、「身の回りのことが十分できない」が22.7%から26.5%と3.8ポイント増加しています。特に、「どうしてよいかわからないことがある」は、愛の手帳所持者で13.8ポイント増加しています。

(単位:%)

		身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	就労について困っている	利用できる日中の活動で困っている	余暇活動や遊ぶことが十分できない
全体	今回(n=824)	26.5	40.5	7.9	20.5	29.7	8.0	4.7	13.7
	前回(n=769)	22.7	37.9	8.2	17.3	28.9	10.2	3.7	12.4
	今回-前回	3.8	2.6	-0.3	3.2	0.8	-2.2	1.0	1.3
身体障害者手帳	今回(n=559)	24.7	39.0	7.0	20.4	29.2	5.4	2.7	11.6
	前回(n=529)	23.6	37.1	7.0	17.8	28.5	5.3	3.2	11.7
	今回-前回	1.1	1.9	0.0	2.6	0.7	0.1	-0.5	-0.1
愛の手帳	今回(n=125)	45.6	35.2	4.8	28.8	48.0	6.4	10.4	25.6
	前回(n=103)	37.9	32.0	5.8	25.2	42.7	9.7	6.8	16.5
	今回-前回	7.7	3.2	-1.0	3.6	5.3	-3.3	3.6	9.1
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=148)	32.4	50.7	15.5	24.3	29.1	16.2	10.8	20.3
	前回(n=126)	23.0	52.4	15.9	19.8	37.3	28.6	7.1	19.0
	今回-前回	9.4	-1.7	-0.4	4.5	-8.2	-12.4	3.7	1.3
発達障害の診断を受けている	今回(n=26)	50.0	57.7	7.7	34.6	38.5	26.9	3.8	19.2
	前回(n=16)	31.3	37.5	18.8	18.8	43.8	31.3	18.8	37.5
	今回-前回	18.7	20.2	-11.1	15.8	-5.3	-4.4	-15.0	-18.3
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=80)	21.3	45.0	6.3	18.8	22.5	10.0	0.0	13.8
	前回(n=78)	21.8	44.9	14.1	17.9	24.4	19.2	6.4	12.8
	今回-前回	-0.5	0.1	-7.8	0.9	-1.9	-9.2	-6.4	1.0

(単位:%)

		スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからないことがある	特になし	その他	無回答
全体	今回(n=824)	15.2	32.2	40.9	20.8	17.0	0.6	4.6
	前回(n=769)	17.5	32.9	46.1	16.5	20.9	3.5	4.8
	今回-前回	-2.3	-0.7	-5.2	4.3	-3.9	-2.9	-0.2
身体障害者手帳	今回(n=559)	15.0	27.4	36.5	16.1	18.4	0.9	5.5
	前回(n=529)	18.5	26.5	37.8	12.7	23.4	2.8	5.3
	今回-前回	-3.5	0.9	-1.3	3.4	-5.0	-1.9	0.2
愛の手帳	今回(n=125)	16.8	26.4	44.0	35.2	13.6	0.0	2.4
	前回(n=103)	20.4	29.1	56.3	21.4	14.6	3.9	6.8
	今回-前回	-3.6	-2.7	-12.3	13.8	-1.0	-3.9	-4.4
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=148)	16.2	50.7	59.5	41.9	7.4	0	3.4
	前回(n=126)	17.5	59.5	80.2	38.1	5.6	5.6	1.6
	今回-前回	-1.3	-8.8	-20.7	3.8	1.8	-5.6	1.8
発達障害の診断を受けている	今回(n=26)	23.1	53.8	65.4	50.0	3.8	0.0	3.8
	前回(n=16)	31.3	68.8	87.5	56.3	0.0	12.5	6.3
	今回-前回	-8.2	-15.0	-22.1	-6.3	3.8	-12.5	-2.5
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=80)	18.8	38.8	51.3	16.3	12.5	0.0	3.8
	前回(n=78)	19.2	44.9	53.8	15.4	15.4	2.6	0.0
	今回-前回	-0.4	-6.1	-2.5	0.9	-2.9	-2.6	3.8

問18 あなたは普段、困ったときに誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

困ったときの相談相手は、手帳の種類に関係なく「同居の家族」が最も多く、身体障害者手帳を持つ人は「別居の家族・親族」が29.3%、愛の手帳を持つ人は「福祉施設の職員」が39.2%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「医療関係者」が38.5%となっています。

(単位:%)

	同居の家族	別居の家族・親族	友人・知人(障害者)	友人・知人(健常者)	近所の人	市のケースワーカー	ホームヘルパー	福祉施設の職員	医療関係者
全体(n=824)	60.6	27.8	5.3	14.6	2.9	5.5	6.6	12.6	19.4
身体障害者手帳(n=559)	62.8	29.3	5.0	14.3	3.2	5.5	6.8	10.2	17.9
愛の手帳(n=125)	54.4	15.2	4.8	4.8	0.8	1.6	4.8	39.2	7.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	42.6	28.4	9.5	14.9	4.1	10.1	10.8	14.2	38.5
発達障害の診断を受けている(n=26)	69.2	23.1	15.4	3.8	0.0	3.8	3.8	19.2	34.6
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	62.5	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	76.3	25.0	1.3	20.0	0.0	2.5	5.0	6.3	17.5

(単位:%)

	民生委員・児童委員	障害者相談員 身体障害者相談員・知的	相談支援事業所	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	1.1	0.8	3.4	0.6	0.4	1.5	7.9	4.4	2.7
身体障害者手帳(n=559)	1.4	0.7	2.3	0.7	0.4	1.8	8.8	3.4	3.0
愛の手帳(n=125)	0.0	1.6	8.0	0.0	0.8	2.4	2.4	10.4	4.0
精神障害者保健福祉手(n=148)	0.7	0.7	8.8	0.7	0.0	2.0	8.1	4.7	1.4
発達障害の診断を受けている(n=26)	0.0	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	1.3	5.0	5.0	1.3

問19 あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

福祉に関する情報の入手先は、「広報『はちおうじ』」が身体障害者手帳を持つ人は45.3%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は33.8%と最も多く、愛の手帳を持つ人は「福祉施設」が31.2%と最も多くなっています。

(単位:%)

	広報「はちおうじ」	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ	新聞・書籍	SNS(ツイッターやフェイスブックなど)	市役所	医療機関
全体(n=824)	41.9	7.2	11.8	8.1	4.1	11.0	10.4	3.9	18.8	18.8
身体障害者手帳(n=559)	45.3	8.1	12.5	8.8	3.6	12.9	11.8	3.0	17.5	18.8
愛の手帳(n=125)	27.2	2.4	11.2	4.0	1.6	5.6	3.2	0.8	21.6	7.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	33.8	8.1	10.8	8.1	6.8	10.1	10.8	4.1	29.1	29.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	26.9	7.7	19.2	11.5	7.7	7.7	15.4	3.8	26.9	26.9
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	25.0	0.0	12.5	50.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	37.5	8.8	5.0	7.5	7.5	8.8	7.5	12.5	15.0	23.8

(単位:%)

	福祉施設	相談支援事業所	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	友人や知人	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	10.0	7.8	2.3	0.7	2.9	10.3	20.6	3.9	2.4
身体障害者手帳(n=559)	8.8	7.0	2.3	0.5	3.0	11.6	19.3	3.2	2.9
愛の手帳(n=125)	31.2	16.8	0.8	0.8	4.0	11.2	24.0	4.0	2.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	9.5	9.5	0.0	0.0	2.0	8.1	23.6	6.8	0.7
発達障害の診断を受けている(n=26)	11.5	11.5	0.0	0.0	3.8	7.7	23.1	11.5	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	2.5	6.3	11.3	5.0	1.3	6.3	18.8	2.5	0.0

問20 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

サービス利用に関して困っていることは、手帳の種類に関係なく「特にない」を除いて「サービスに関する情報が少ない」や「サービス利用の手続きが大変」、「誰に相談すればよいかわからない」が多く挙がっています。

(単位:%)

	サービスに関する情報が少ない	サービス利用の手続きが大変	利用したいサービスを利用できない	利用できる回数や日数が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービスの質が良くない	自分に必要なサービスがない	誰に相談すればよいかわからない	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	28.5	20.4	6.8	7.5	7.4	3.2	7.5	17.5	39.3	3.0	7.6
身体障害者手帳(n=559)	27.4	17.2	7.2	7.2	5.5	2.9	6.4	14.5	41.9	2.9	9.1
愛の手帳(n=125)	31.2	32.8	12.0	12.0	18.4	5.6	4.8	20.8	24.8	2.4	7.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	35.8	27.0	7.4	6.8	10.1	3.4	12.2	30.4	31.1	4.1	4.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	34.6	42.3	23.1	7.7	19.2	7.7	7.7	23.1	26.9	3.8	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	75.0	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	27.5	17.5	2.5	3.8	5.0	3.8	3.8	16.3	46.3	2.5	6.3

3-5 災害について

問21 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。
(○はいくつでも)

災害が起きたときに不安を感じることは、身体障害者手帳を持つ人は「薬や医療的ケアを確保できるか不安」が46.0%と最も多く、次いで「ひとりでは避難できない」が42.8%となっています。

愛の手帳を持つ人は「ひとりでは避難できない」が72.8%と最も多く、次いで「自分では助けを呼ぶことができない」が54.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「薬や医療的ケアを確保できるか不安」が62.2%と最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が37.2%となっています。

(単位:%)

	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に助けてくれる人がいないことが不安	自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安	災害についての情報を得るのが難しい	通勤や通学、通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない	避難の仕方や、避難する場所がわからない	避難所の設備が障害に対応しているか不安
全体(n=824)	42.6	23.1	17.0	31.3	19.5	13.5	18.7	31.8
身体障害者手帳(n=559)	42.8	21.5	13.2	29.2	17.9	7.2	15.2	33.6
愛の手帳(n=125)	72.8	54.4	24.8	48.0	34.4	36.0	33.6	40.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	35.8	20.9	28.4	35.8	21.6	19.6	24.3	27.7
発達障害の診断を受けている(n=26)	61.5	38.5	26.9	61.5	38.5	46.2	38.5	38.5
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	87.5	50.0	12.5	50.0	25.0	25.0	0.0	62.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	40.0	17.5	12.5	26.3	8.8	15.0	17.5	30.0

(単位:%)

	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるか不安	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	25.1	49.2	14.6	1.8	2.8
身体障害者手帳(n=559)	21.6	46.0	16.5	1.8	2.9
愛の手帳(n=125)	38.4	41.6	8.0	0.0	2.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	37.2	62.2	10.8	2.0	3.4
発達障害の診断を受けている(n=26)	53.8	73.1	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	17.5	61.3	8.8	1.3	0.0

問22 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

災害のときに必要とする支援は、身体障害者手帳を持つ人は「薬や医療的ケアの確保」が56.9%と最も多く、次いで「障害に対応した避難所の確保」が41.9%となっています。

愛の手帳を持つ人は「避難のための介助や支援」や「障害に対応した避難所の確保」が63.2%と最も多く、次いで「薬や医療的ケアの確保」が53.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「薬や医療的ケアの確保」が70.9%と最も多く、次いで「障害に応じた災害情報の伝達」が38.5%となっています。

(単位:%)

	障害に応じた災害情報の伝達	見守りや安否の確認	避難のための介助や支援	自宅や避難所での介助や支援	障害に対応した避難所の確保	薬や医療的ケアの確保	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	34.3	25.2	33.7	32.3	41.1	59.7	9.6	0.7	3.8
身体障害者手帳(n=559)	31.7	22.0	33.1	31.8	41.9	56.9	8.9	0.9	3.9
愛の手帳(n=125)	51.2	44.8	63.2	44.8	63.2	53.6	6.4	0.8	4.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	38.5	30.4	29.1	34.5	33.1	70.9	10.8	0.0	4.7
発達障害の診断を受けている(n=26)	57.7	50.0	61.5	53.8	61.5	76.9	0.0	0.0	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	37.5	25.0	75.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	27.5	23.8	30.0	35.0	35.0	75.0	5.0	0.0	2.5

【前回調査との比較】 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「障害に応じた災害情報の伝達」が28.1%から34.3%と6.2ポイント増加しており、特に、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、23.8%から38.5%と14.7ポイントと大きく増加しています。また、「避難のための介助や支援」が、愛の手帳を持つ人で44.7%から63.2%と18.5ポイント、発達障害の診断を受けている人で37.5%から61.5%と24.0ポイント増加しています。

(単位:%)

		障害に応じた災害情報の伝達	見守りや安否の確認	避難のための介助や支援	自宅や避難所での介助や支援	障害に対応した避難所の確保	薬や医療的ケアの確保	特にない	その他	無回答
全体	今回(n=824)	34.3	25.2	33.7	32.3	41.1	59.7	9.6	0.7	3.8
	前回(n=776)	28.1	25.4	32.9	32.3	38.5	59.7	11.1	1.7	3.4
	今回-前回	6.2	-0.2	0.8	0.0	2.6	0.0	-1.5	-1.0	0.4
身体障害者手帳	今回(n=559)	31.7	22.0	33.1	31.8	41.9	56.9	8.9	0.9	3.9
	前回(n=529)	29.7	22.3	36.1	34.8	41.0	58.0	12.5	1.1	2.8
	今回-前回	2.0	-0.3	-3.0	-3.0	0.9	-1.1	-3.6	-0.2	1.1
愛の手帳	今回(n=125)	51.2	44.8	63.2	44.8	63.2	53.6	6.4	0.8	4.0
	前回(n=103)	37.9	42.7	44.7	48.5	52.4	45.6	7.8	4.9	6.8
	今回-前回	13.3	2.1	18.5	-3.7	10.8	8.0	-1.4	-4.1	-2.8
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=148)	38.5	30.4	29.1	34.5	33.1	70.9	10.8	0.0	4.7
	前回(n=126)	23.8	31.7	25.4	28.6	36.5	72.2	6.3	2.4	1.6
	今回-前回	14.7	-1.3	3.7	5.9	-3.4	-1.3	4.5	-2.4	3.1
発達障害の診断を受けている	今回(n=26)	57.7	50.0	61.5	53.8	61.5	76.9	0.0	0.0	3.8
	前回(n=16)	37.5	62.5	37.5	37.5	50.0	31.3	6.3	6.3	6.3
	今回-前回	20.2	-12.5	24.0	16.3	11.5	45.6	-6.3	-6.3	-2.5
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=80)	27.5	23.8	30.0	35.0	35.0	75.0	5.0	0.0	2.5
	前回(n=78)	25.6	24.4	29.5	30.8	44.9	80.8	3.8	2.6	1.3
	今回-前回	1.9	-0.6	0.5	4.2	-9.9	-5.8	1.2	-2.6	1.2

3-6 す 住まいについて

問23 あなたのお住まいをお聞きます。(○はひとつ)

住まいの状況は、手帳の種類に関係なく「持家（一戸建て）」が最も多く、次いで身体障害者手帳を持つ人は「持家（集合住宅）」が12.7%、愛の手帳を持つ人は「グループホームなど」が19.2%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「民間賃貸住宅（集合住宅）」が18.2%と多くなっています。

(単位:%)

	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	民間賃貸住宅 (一戸建て)	民間賃貸住宅 (集合住宅)	公営住宅 (都営・市営)	公社・公団賃貸 住宅	グループホーム など	入所施設	その他	無回答
全体(n=824)	51.5	12.3	2.1	9.7	9.1	3.9	3.6	4.5	1.2	2.2
身体障害者手帳(n=559)	55.1	12.7	1.8	7.9	9.5	3.4	1.6	4.8	0.7	2.5
愛の手帳(n=125)	40.8	8.8	2.4	4.0	7.2	2.4	19.2	12.0	0.8	2.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	41.2	10.8	2.7	18.2	11.5	4.7	4.7	2.0	2.0	2.0
発達障害の診断を受けている (n=26)	53.8	7.7	0.0	3.8	11.5	0.0	15.4	3.8	0.0	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている (n=8)	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=80)	53.8	16.3	1.3	6.3	7.5	6.3	0.0	5.0	2.5	1.3

問24 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。(○はいくつでも)

住宅に関して困っていることは、身体障害者手帳を持つ人では「階段の昇り降り」が22.7%と最も多く、愛の手帳を持つ人では「建物の老朽化」が21.6%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は31.8%と最も多くなっています。

なお、全体では「特になく、満足している」が39.1%で「特になく、満足している」と「無回答」を除く55.3%が何らかの困りごとがあると回答しています。

(単位:%)

	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	入口や廊下が狭い	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	住宅を借りるのが難しい	特になく、満足している	その他	無回答
全体(n=824)	19.9	15.3	6.6	11.7	7.2	23.7	12.9	3.9	39.1	1.5	5.6
身体障害者手帳(n=559)	22.7	17.7	5.9	13.2	7.2	20.8	11.3	2.9	38.6	1.8	5.9
愛の手帳(n=125)	12.0	11.2	13.6	10.4	8.0	21.6	12.0	2.4	48.0	1.6	6.4
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	16.9	10.1	5.4	9.5	7.4	31.8	17.6	7.4	33.1	1.4	5.4
発達障害の診断を受けている (n=26)	7.7	3.8	7.7	19.2	7.7	38.5	7.7	3.8	46.2	0.0	7.7
高次脳機能障害の診断を受けている (n=8)	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=80)	15.0	10.0	6.3	10.0	6.3	23.8	18.8	1.3	32.5	1.3	8.8

問25 あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。
(〇はいくつでも)

住宅に関して行政が今後取り組むべきことでは、身体障害者手帳を持つ人は「住宅改修費の助成を充実する」が38.5%と最も多く、次いで「障害者向け住宅の整備を促進する」が23.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「グループホームなどの整備を促進する」が47.2%と最も多く、次いで「家賃の助成をする」が31.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「公営住宅を障害者が利用しやすくする」が30.4%と最も多く、次いで「障害者向け住宅の整備を促進する」が31.1%となっています。

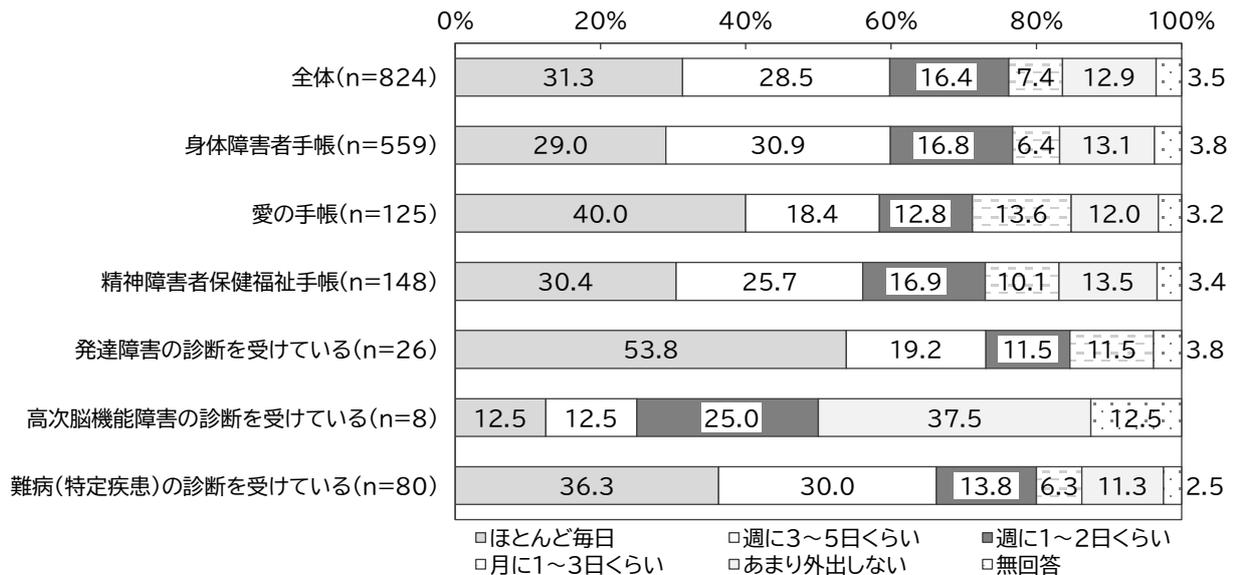
(単位：%)

	住宅改修費の助成を充実する	公営住宅を障害者が利用しやすくする	公営住宅の入居の優先枠を拡充する	障害者向け住宅の整備を促進する	単身者向け住宅の整備を促進する	グループホームなどの整備を促進する	家賃の助成をする	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	34.6	20.1	17.1	23.2	11.8	15.4	23.2	22.9	0.5	7.8
身体障害者手帳(n=559)	38.5	18.4	15.0	23.1	10.0	11.3	18.8	22.9	0.4	9.3
愛の手帳(n=125)	22.4	16.8	11.2	27.2	8.0	47.2	31.2	18.4	0.0	5.6
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	27.7	31.1	25.7	30.4	24.3	20.3	29.1	22.3	1.4	4.7
発達障害の診断を受けている(n=26)	30.8	23.1	15.4	34.6	23.1	53.8	38.5	15.4	0.0	7.7
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	37.5	50.0	37.5	62.5	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	43.8	17.5	17.5	20.0	10.0	6.3	25.0	22.5	0.0	10.0

3-7 外出について

問26 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

外出する頻度は、「ほとんど毎日」や「週に3～5日くらい」と回答の、身体障害者手帳を持つ人は59.9%、愛の手帳を持つ人は58.4%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は56.1%と多くなっています。一方、「あまり外出しない」は身体障害者手帳を持つ人で13.1%、愛の手帳を持つ人は12.0%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は13.5%となっています。



問27 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。(〇はいくつでも)

外出の目的は、身体障害者手帳を持つ人は「買物」が60.8%と最も多く、次いで「通院」が56.0%となっています。愛の手帳を持つ人は「買物」が57.6%と最も多く、次いで「施設への通所」が48.8%となっています。精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「通院」が71.6%と最も多く、次いで「買物」が68.2%となっています。

(単位:%)

	通勤	通学	施設への通所	通院	訓練・リハビリ	買物	趣味活動・遊び	クリエーション	スポーツ・運動・レクリエーション	人との交流(人つきあい)	旅行	あまり外出しない	その他	無回答
全体(n=824)	18.6	1.1	17.8	56.8	12.4	62.4	28.6	14.7	19.4	11.2	4.2	1.8	1.9	
身体障害者手帳(n=559)	15.0	0.7	15.6	56.0	14.8	60.8	29.2	13.8	19.3	9.8	4.8	1.6	2.1	
愛の手帳(n=125)	24.8	2.4	48.8	33.6	7.2	57.6	35.2	18.4	8.0	16.8	4.8	0.0	1.6	
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	14.2	0.7	16.9	71.6	12.8	68.2	24.3	13.5	25.0	9.5	3.4	2.0	1.4	
発達障害の診断を受けている(n=26)	30.8	3.8	38.5	53.8	3.8	65.4	34.6	30.8	19.2	23.1	0.0	0.0	3.8	
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	0.0	37.5	62.5	37.5	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	36.3	2.5	6.3	58.8	12.5	56.3	25.0	12.5	20.0	10.0	6.3	5.0	2.5	

問28 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。(〇はいくつでも)

移動手段は、「徒歩」が身体障害者手帳を持つ人は 47.6%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は 68.2%と最も多く、次いで「路線バス」が身体障害者手帳を持つ人は 43.1%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は 62.8%や「電車」が身体障害者手帳を持つ人は 38.5%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は 52.0%と、公共交通機関が多くなっています。

愛の手帳を持つ人は「自動車(自分以外が運転)」が 67.2%と最も多く、次いで「徒歩」が 56.8%なっています。

(単位:%)

	徒歩	車いす	電動車いす	自転車	オートバイ	自動車(自分で運転)	自動車(自分以外が運転)	電車	路線バス	一般のタクシー	リスト付きタクシー	市のリフト付き自動車(わかしま号)	あまり外出しない	その他	無回答
全体(n=824)	54.1	10.1	1.8	11.7	2.4	24.2	35.7	42.8	48.4	18.4	2.2	1.0	1.8	1.1	1.2
身体障害者手帳(n=559)	47.6	13.6	2.7	10.7	2.5	28.3	33.1	38.5	43.1	22.4	2.7	1.3	2.0	1.1	1.4
愛の手帳(n=125)	56.8	10.4	1.6	7.2	0.0	1.6	67.2	40.8	42.4	8.8	1.6	2.4	1.6	1.6	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	68.2	2.0	0.7	14.9	2.0	5.4	29.1	52.0	62.8	15.5	0.0	0.7	2.0	2.0	1.4
発達障害の診断を受けている(n=26)	69.2	0.0	0.0	11.5	3.8	3.8	57.7	57.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	47.5	12.5	1.3	13.8	5.0	40.0	38.8	45.0	46.3	15.0	2.5	0.0	2.5	1.3	0.0

問29 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

外出時に困ることは、身体障害者手帳を持つ人は「歩道や道路の段差や幅」が26.7%、「建物の段差・階段・設備」が23.8%と多く、次いで「トイレの利用」が21.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「困ったときはどうすればいいか不安」が37.6%と最も多く、次いで「トイレの利用」が23.2%、「歩道や道路の段差や幅」が22.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「困ったときはどうすればいいか不安」が31.1%と最も多く、次いで「交通費の負担」が23.0%、「周囲の目が気になる」が20.3%となっています。

(単位:%)

	付き添ってくれる人(移動支援するヘルパーを含む)がいない	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分でない	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り替え	駅での券売機の利用
全体(n=824)	10.7	21.2	10.8	1.5	19.3	15.3	4.6
身体障害者手帳(n=559)	10.2	26.7	12.7	1.8	23.8	16.8	4.1
愛の手帳(n=125)	21.6	22.4	5.6	0.8	14.4	18.4	9.6
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	10.1	14.2	10.1	1.4	10.1	12.8	4.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	11.5	7.7	11.5	0.0	3.8	19.2	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	37.5	50.0	37.5	0.0	25.0	12.5	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	7.5	16.3	8.8	2.5	18.8	8.8	5.0

(単位:%)

	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい	公共交通機関が少ない	トイレの利用	休憩場所がない	障害者用駐車場が少ない	交通費の負担
全体(n=824)	10.0	8.9	5.2	18.6	12.1	11.7	17.4
身体障害者手帳(n=559)	11.8	8.9	4.5	21.1	11.4	15.0	15.0
愛の手帳(n=125)	8.0	9.6	8.0	23.2	10.4	8.8	15.2
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	7.4	8.8	6.8	13.5	18.2	4.1	23.0
発達障害の診断を受けている(n=26)	3.8	11.5	3.8	23.1	15.4	3.8	38.5
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	12.5	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	10.0	5.0	3.8	22.5	13.8	11.3	21.3

(単位:%)

	発作など突然の心身の変化	多動やこだわりのため、安全確保等が難しい	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいいか不安	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	10.1	2.9	8.4	18.7	25.0	3.2	6.1
身体障害者手帳(n=559)	8.1	1.3	4.5	13.1	24.3	3.4	6.6
愛の手帳(n=125)	16.8	10.4	20.8	37.6	16.0	1.6	4.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	18.9	6.1	20.3	31.1	25.0	2.7	4.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	30.8	19.2	26.9	42.3	19.2	0.0	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	15.0	1.3	3.8	13.8	26.3	3.8	5.0

3-8 権利擁護について

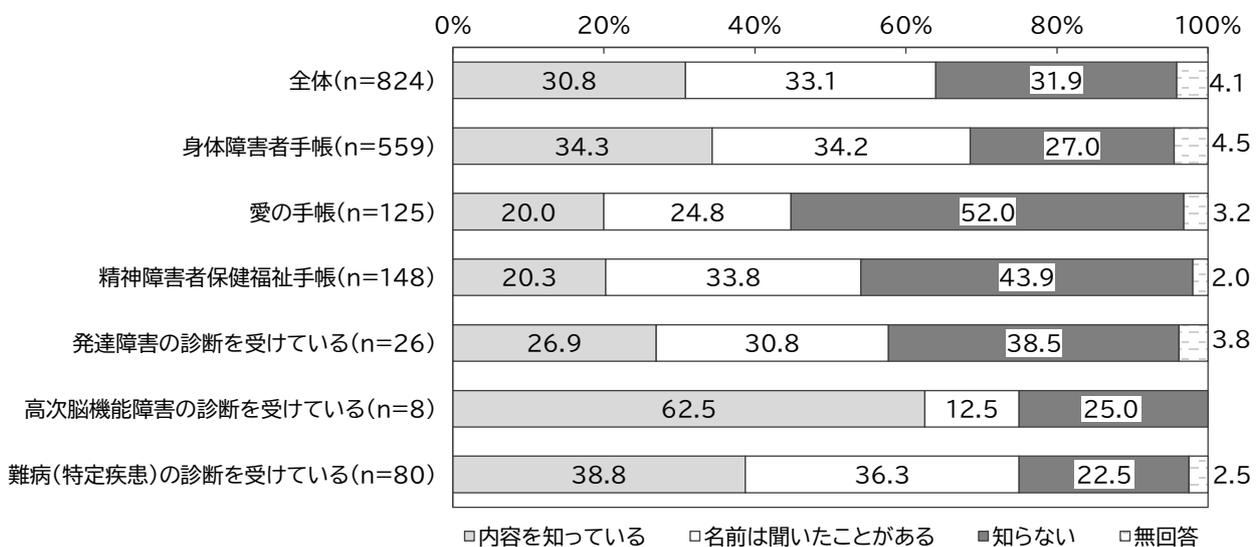
問30 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

① 成年後見制度

成年後見制度について、「身体障害者手帳を持つ人は知っている」が34.3%、「名前は聞いたことがある」が34.2%、「知らない」が27.0%となっています。

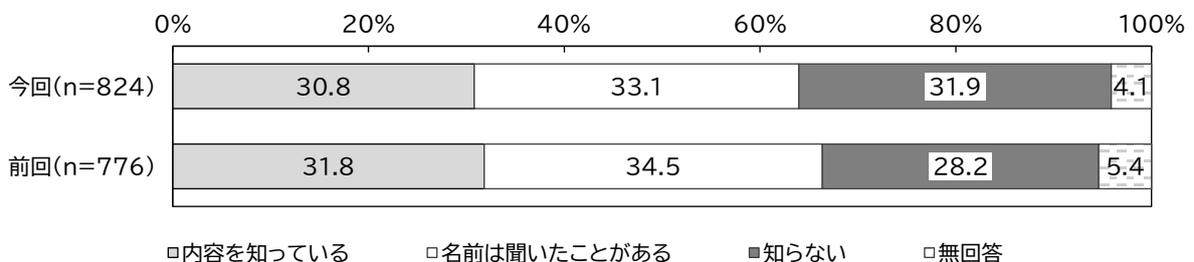
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が20.0%、「名前は聞いたことがある」が24.8%、「知らない」が52.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が20.3%、「名前は聞いたことがある」が33.8%、「知らない」が43.9%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人(「内容を知っている」「名前は聞いたことがある」の合計。以下、同じ。)は66.3%から63.9%と2.4ポイント減少しています。



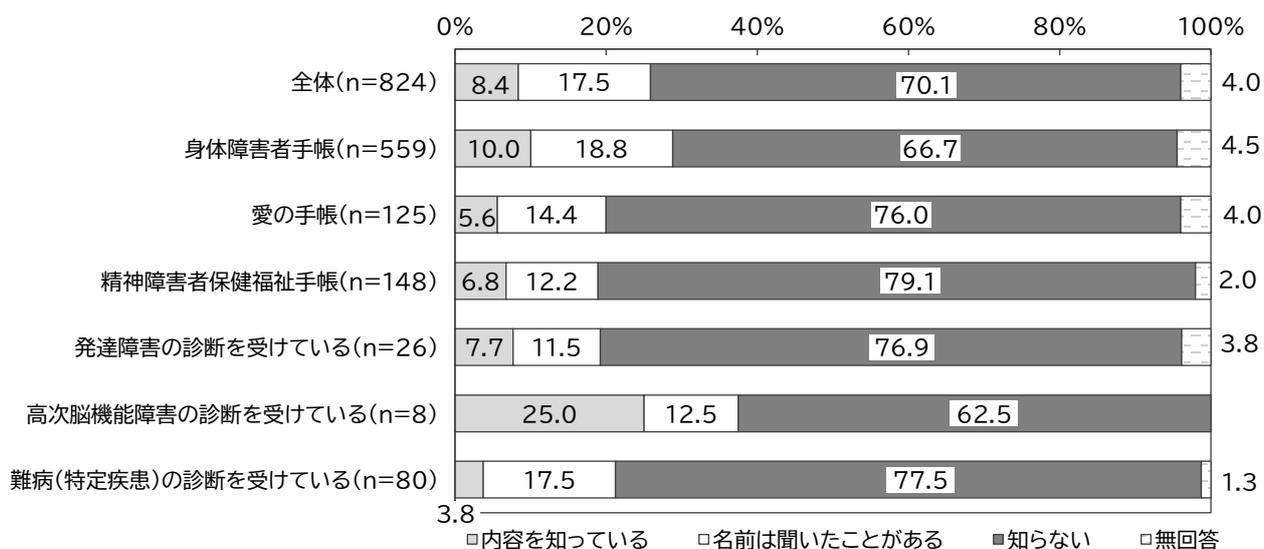
問30 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

② 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が10.0%、「名前は聞いたことがある」が18.8%、「知らない」が66.7%となっています。

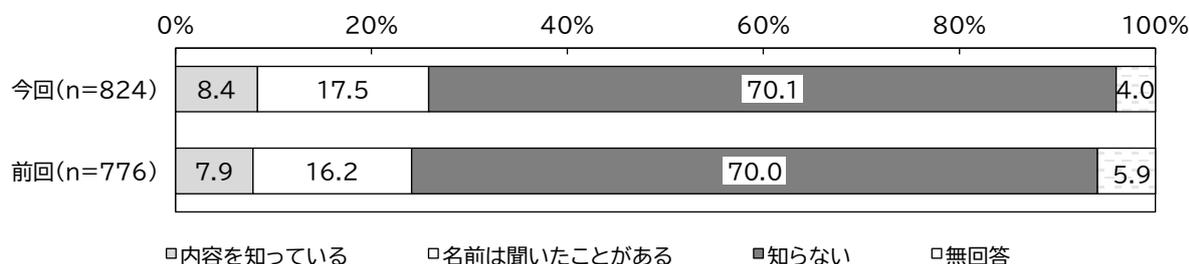
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が5.6%、「名前は聞いたことがある」が14.4%、「知らない」が76.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が6.8%、「名前は聞いたことがある」が12.2%、「知らない」が79.1%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は24.1%から25.9%と1.8ポイント増加しています。



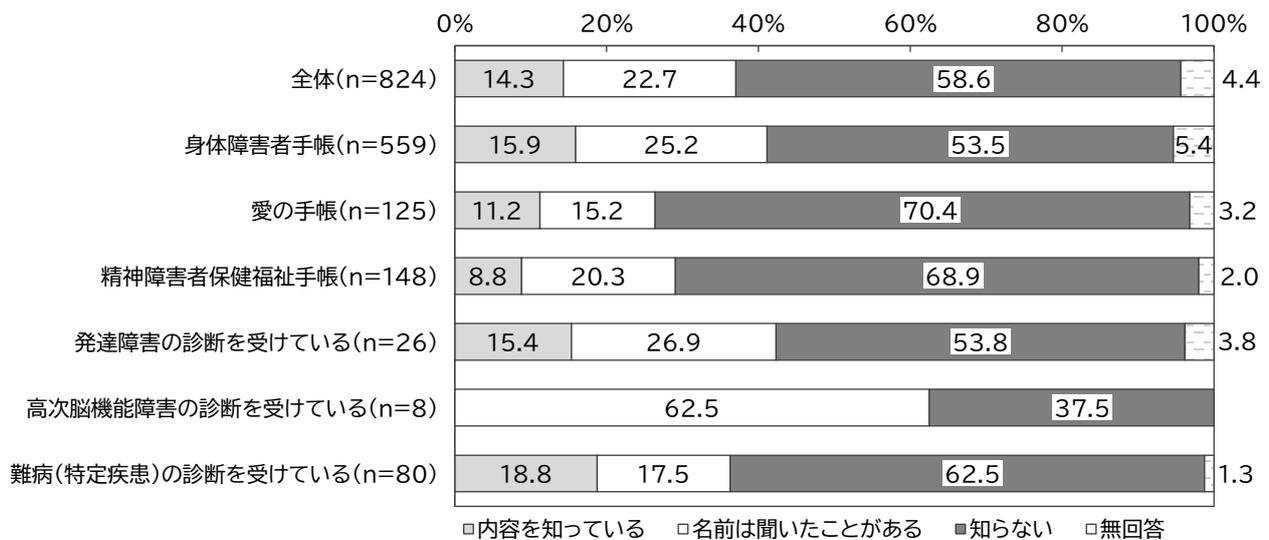
問30 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

③ 障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）

障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が15.9%、「名前は聞いたことがある」が25.2%、「知らない」が53.5%となっています。

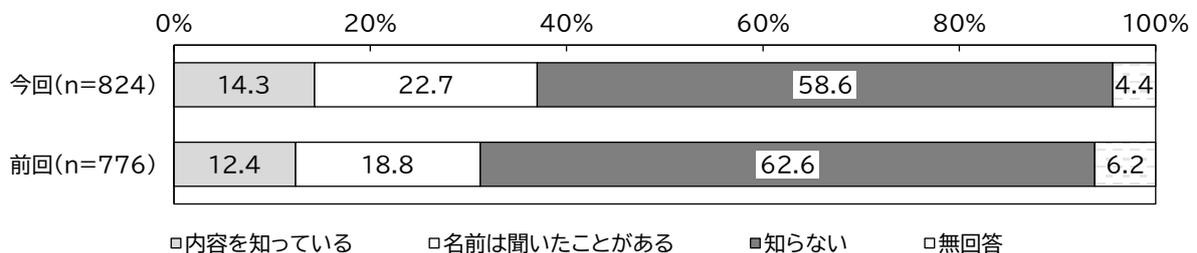
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が11.2%、「名前は聞いたことがある」が15.2%、「知らない」が70.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が8.8%、「名前は聞いたことがある」が20.3%、「知らない」が68.9%となっています。



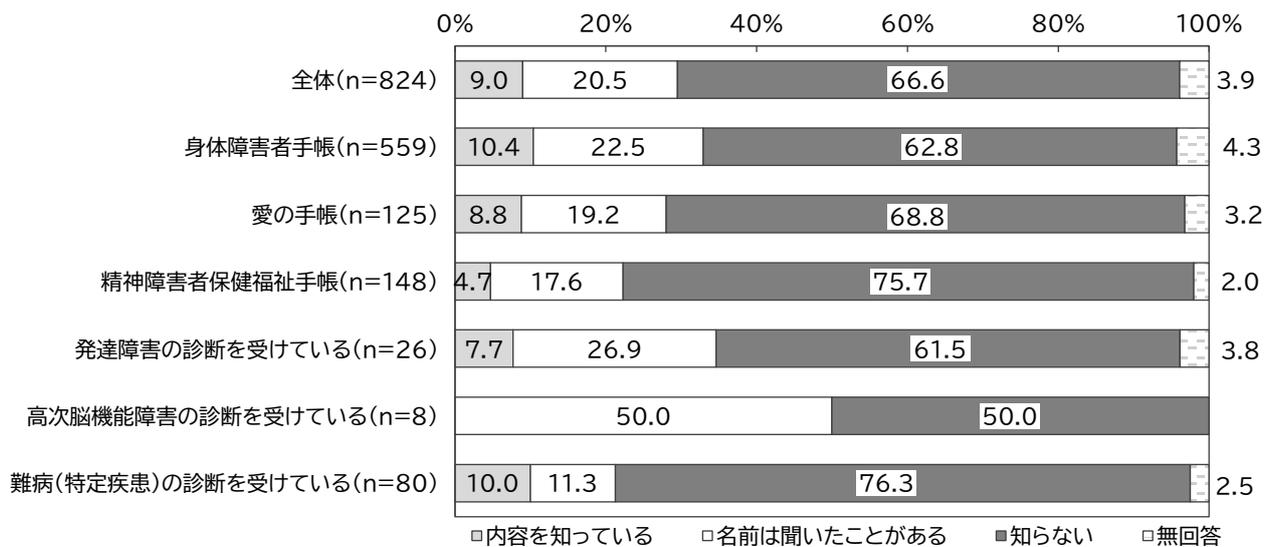
前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は31.2%から37.0%と5.8ポイント増加しています。



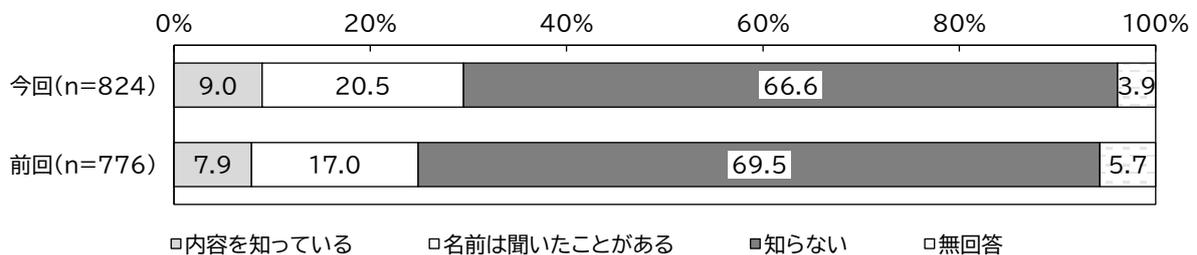
問30 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

④ 障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）
 八王子づくり条例（差別禁止条例）について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が10.4%、「名前は聞いたことがある」が22.5%、「知らない」が62.8%となっています。
 愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が8.8%、「名前は聞いたことがある」が19.2%、「知らない」が68.8%となっています。
 精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が4.7%、「名前は聞いたことがある」が17.6%、「知らない」が75.7%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は24.9%から29.5%と4.6ポイント増加しています。



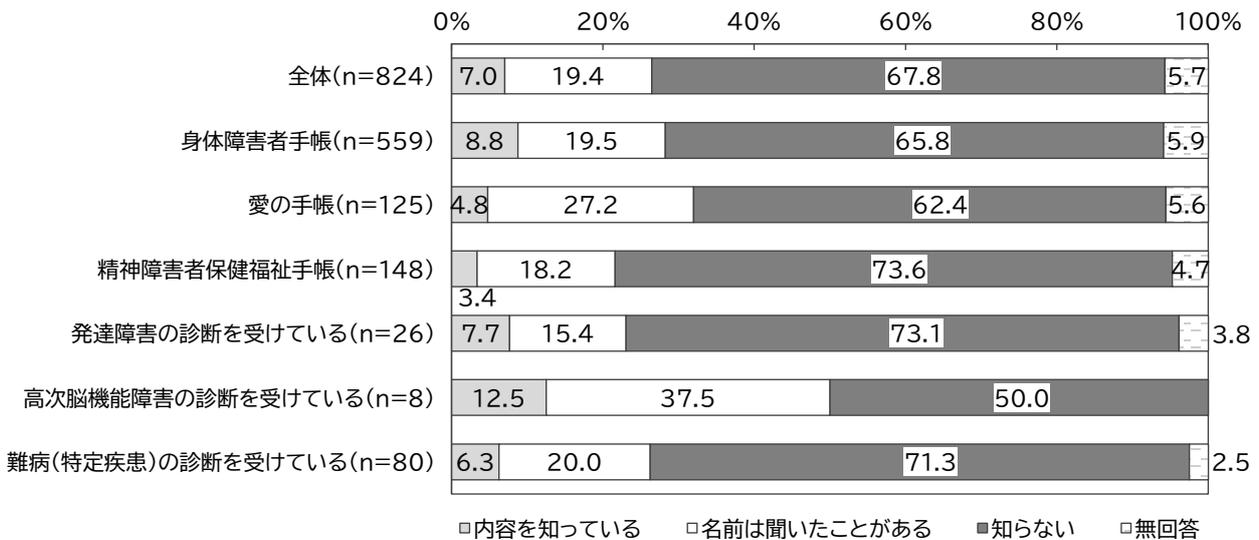
問30 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

⑤ 八王子市障害者虐待防止センター

八王子市障害者虐待防止センターについて、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が8.8%、「名前は聞いたことがある」が19.5%、「知らない」が65.8%となっています。

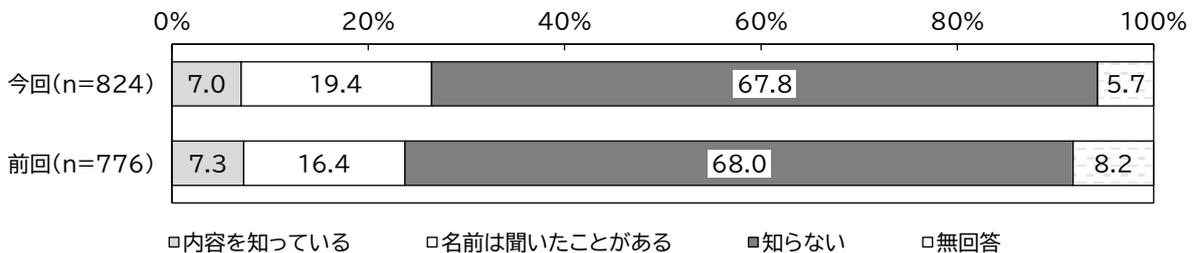
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が4.8%、「名前は聞いたことがある」が27.2%、「知らない」が62.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が3.4%、「名前は聞いたことがある」が18.2%、「知らない」が73.6%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は23.7%から26.4%と2.7ポイント増加しています。

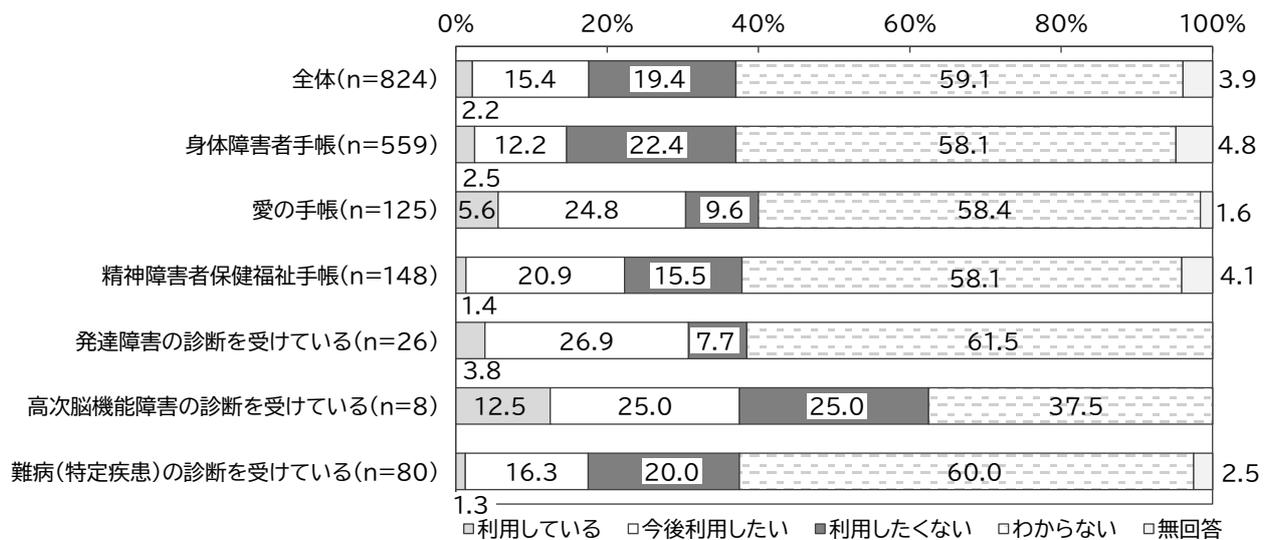


問31 あなたは成年後見制度を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

成年後見制度の利用意向について、手帳の種類に関係なく「わからない」が最も多くなっています。身体障害者手帳を持つ人は「利用している」が2.5%、「今後利用したい」が12.2%、「利用したくない」が22.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「利用している」が5.6%、「今後利用したい」が24.8%、「利用したくない」が9.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「利用している」が1.4%、「今後利用したい」が20.9%、「利用したくない」が15.5%となっています。



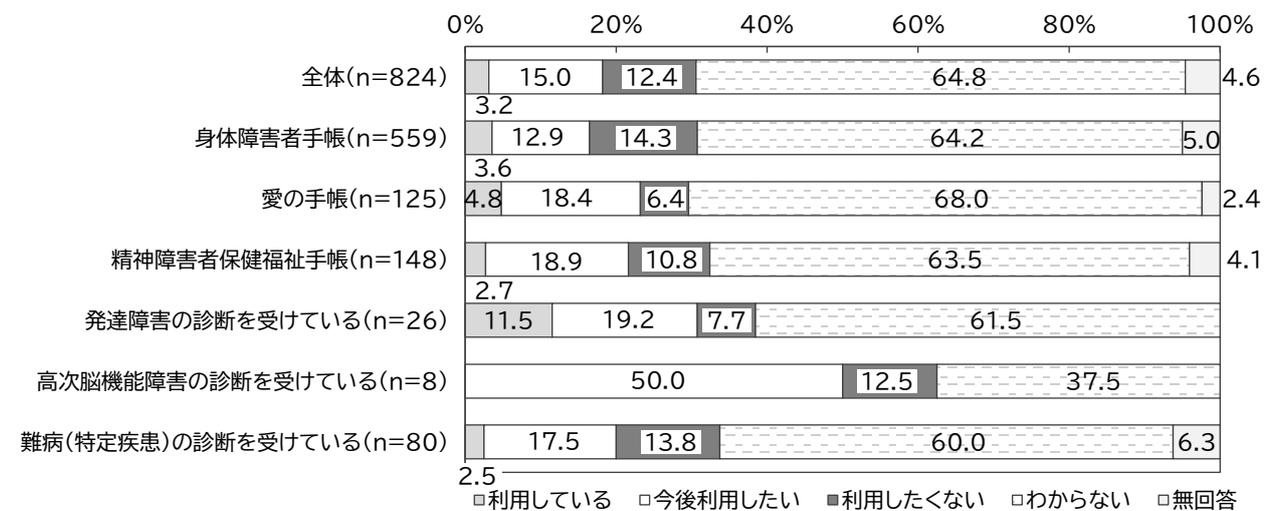
問32 あなたは地域福祉権利擁護事業を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したい
 と思いますか。(○はひとつ)

地域福祉権利擁護事業を利用意向について、手帳の種類に関係なく「わからない」が最も多くなっています。

身体障害者手帳を持つ人は「利用している」が3.6%、「今後利用したい」が12.9%、「利用したくない」が14.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「利用している」が4.8%、「今後利用したい」が18.4%、「利用したくない」が6.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「利用している」が2.7%、「今後利用したい」が18.9%、「利用したくない」が10.8%となっています。



問33 あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたり、できなかつたりしたことがありますか。
(○はいくつでも)

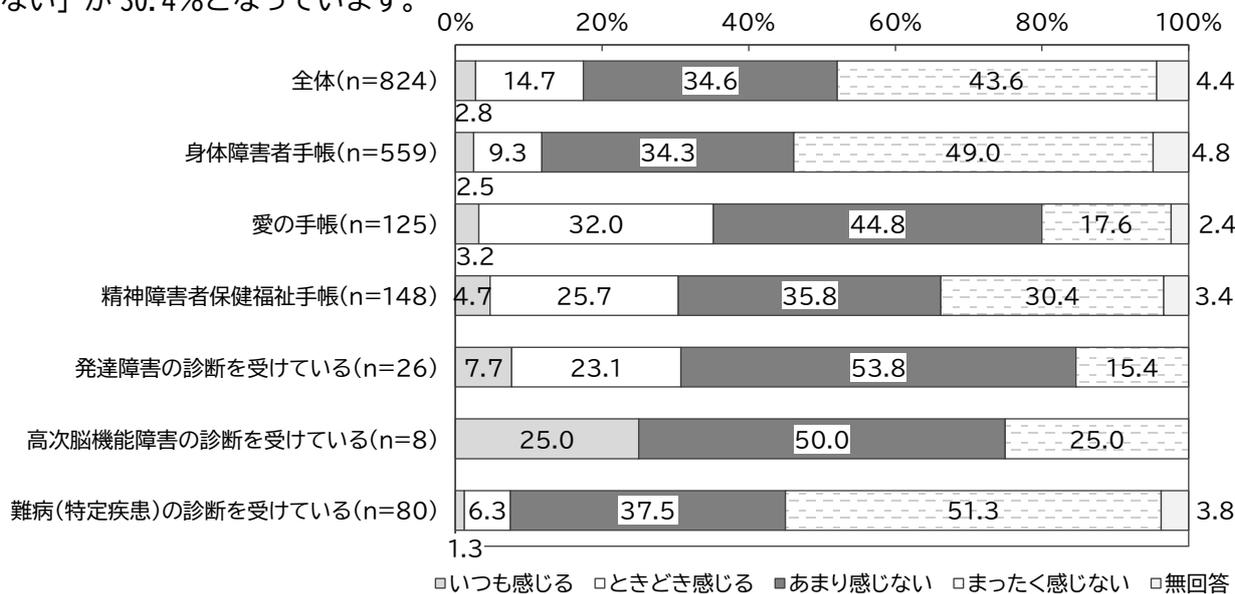
障害があるためにあきらめたり、できなかつたりしたことは、身体障害者手帳を持つ人は「旅行や外出」が37.0%と最も多く、次いで「スポーツ・運動・レクリエーション」が30.8%となっています。
愛の手帳を持つ人は「結婚」が32.8%と最も多く、次いで「恋愛」が31.2%となっています。
精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「人づきあい」が35.8%と最も多く、次いで「就職」が34.5%となっています。

(単位:%)

	進学	就職	恋愛	結婚	出産・育児	人づきあい	旅行や外出	おしゃれ	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	6.6	18.1	10.0	12.0	6.4	19.9	33.9	8.9	21.4	27.2	31.2	1.2	5.8
身体障害者手帳(n=559)	3.9	14.8	5.4	7.0	3.0	16.3	37.0	7.5	22.2	30.8	31.8	1.1	6.1
愛の手帳(n=125)	20.8	26.4	31.2	32.8	17.6	27.2	21.6	10.4	24.0	20.0	24.8	4.8	8.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	12.8	34.5	23.0	31.1	17.6	35.8	33.8	14.9	21.6	14.9	26.4	0.7	4.1
発達障害の診断を受けている(n=26)	26.9	57.7	50.0	50.0	30.8	42.3	42.3	15.4	23.1	19.2	19.2	3.8	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	50.0	25.0	37.5	0.0	62.5	87.5	25.0	50.0	62.5	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	3.8	8.8	3.8	7.5	2.5	17.5	40.0	12.5	28.8	40.0	32.5	0.0	3.8

問34 あなたや家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○はひとつ)

差別や人権侵害などを感じるかは、身体障害者手帳を持つ人は「まったく感じない」が49.0%と最も多く、次いで「あまり感じない」が34.3%となっています。
愛の手帳を持つ人は「あまり感じない」が44.8%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が32.0%となっています。
精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「あまり感じない」が35.8%と最も多く、次いで「まったく感じない」が30.4%となっています。



問35 問34で「1 いつも感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときですか。具体的にお書きください。

どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じるのかについては、113名の方から回答がありました。各意見を、内容ごとに分類した結果を以下に示します。

なお、お一人の回答者が複数のご意見を述べられた場合は、それぞれで集計したため、累計回答数は120件となり、回答者数より多くなっています。

主な意見	件数
1.仕事をする、しようとするとき	10
2.施設を利用するとき	5
3.病院で受診するとき	8
4.保険や制度を利用するとき	3
5.学校生活をするとき	2
6.公共交通機関を利用するとき	12
7.お店などを利用するとき	7
8.日常生活で他者とかがわるとき	48
9.家族・親族とかがわるとき	9
10.近隣とかがわるとき	7
11.ネットに書き込まれたとき	2
12.言いたくない(理解してもらえない)	3
99.その他	4
合計	120

問36 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなことが必要だと思いますか。
 具体的にお書きください。

障害による差別や人権侵害をなくすために必要なことについては、260名の方から回答がありました。
 各意見を、内容ごとに分類した結果を以下に示します。

なお、お一人の回答者が複数のご意見を述べられた場合は、それぞれで集計したため、累計回答数は
 293件となり、回答者数より多くなっています。

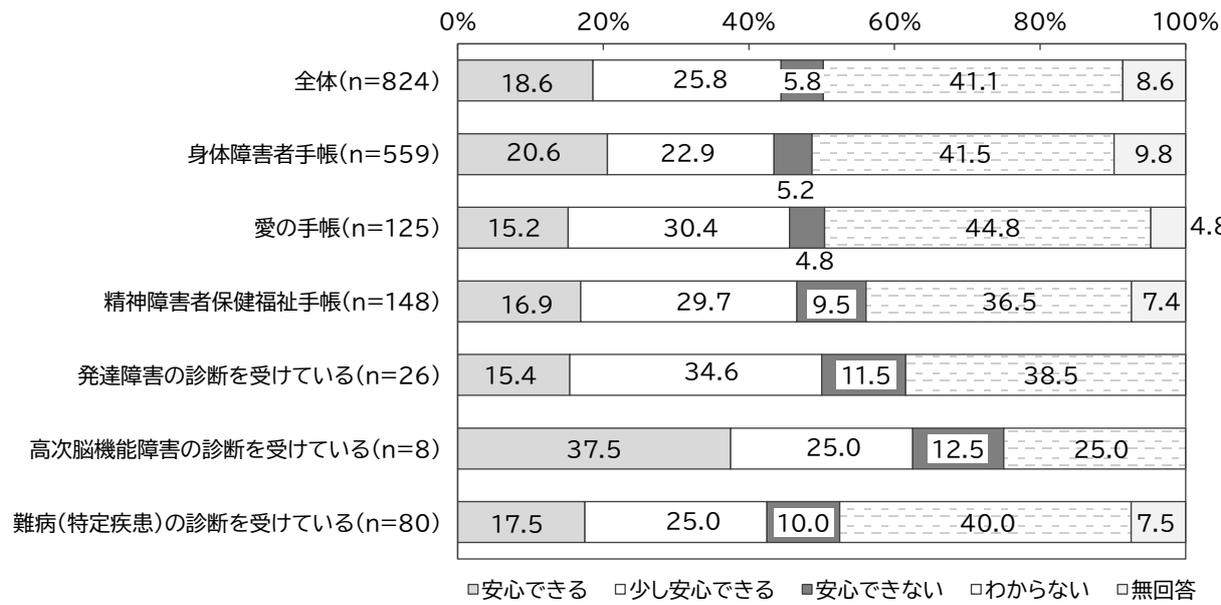
主な意見	件数
1.小さい頃からの交流と教育が必要	49
2.理解することが必要	34
3.知る、知ってもらうことが必要	13
4.交流する、交流の場をつくることが必要	23
5.思いやり・やさしさ・心のゆとりが必要	34
6.広報・啓蒙活動が必要	26
7.相談窓口や支援者が必要	5
8.法律・制度・行政・福祉サービスの改善・充実が必要	35
9.暮らしやすい街づくりが必要	7
10.自身の行動も必要	11
11.共生があたりまえになることが必要	4
12.障害という表現の改善が必要	2
13.労働環境など、社会的居場所が必要	7
14.教師の育成が必要	0
15.無理・なくならない・難しい・今のまま	17
16.よくわからない	5
99.その他	21
合計	293

問37 あなたが差別を受けたときや虐待があったときは、市や相談支援事業者に相談などをすることができます。この制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。(〇はひとつ)

相談制度があることの安心感は、身体障害者手帳を持つ人は「わからない」が41.5%と最も多く、次いで「少し安心できる」が22.9%、「安心できる」が20.6%となっています。

愛の手帳を持つ人は「わからない」が44.8%と最も多く、次いで「少し安心できる」が30.4%、「安心できる」が15.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「わからない」が36.5%と最も多く、次いで「少し安心できる」が29.7%、「安心できる」が16.9%となっています。



3-9 就労について

問38 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(○はひとつ)

平日の日中の過ごし方は、身体障害者手帳を持つ人は「就労や通所などはしてない」が53.8%と最も多く、次いで「一般就労をしている(正職員)」が8.2%となっています。『就労している』割合の合計は21.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))」が36.8%と最も多く、次いで「福祉的就労以外の通所施設(日中活動の場)に通っている」が24.8%となっています。『就労している』割合の合計は52.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「就労や通所などはしてない」が53.4%と最も多く、次いで「福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))」が11.5%となっています。『就労している』割合の合計は21.7%となっています。

(単位:%)

	一般就労をしている(正職員)	一般就労をしている(パート・アルバイト)	福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))	自宅で働いている(収入のある仕事)	福祉的就労以外の通所施設(日中活動の場)に通っている	学校・大学に通っている	職業訓練中	就職活動中	就労や通所などはしてない	その他	無回答
全体(n=824)	8.0	9.0	7.6	2.9	8.0	0.8	0.1	1.1	47.7	6.7	8.0
身体障害者手帳(n=559)	8.2	7.2	2.5	3.4	7.0	0.5	0.2	0.5	53.8	7.3	9.3
愛の手帳(n=125)	4.0	11.2	36.8	0.0	24.8	1.6	0.0	1.6	8.8	6.4	4.8
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	1.4	6.8	11.5	2.0	10.1	0.7	0.0	2.7	53.4	6.1	5.4
発達障害の診断を受けている(n=26)	3.8	23.1	23.1	0.0	19.2	0.0	0.0	0.0	26.9	0.0	3.8
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	12.5	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	17.5	18.8	3.8	3.8	2.5	2.5	0.0	0.0	38.8	6.3	6.3

問39 問38で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きます。
 あなたが仕事をする上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をする上で困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「特にない」が52.1%と最も多く、次いで「給与・工賃などが少ない」が24.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「給与・工賃などが少ない」が43.1%と最も多く、次いで「特にない」が38.5%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「給与・工賃などが少ない」が50.0%と最も多く、次いで「職場の人間関係」が34.4%となっています。

(単位:%)

	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	仕事が自分には合わない	職場の障害理解が不十分	職場の人間関係	職場の設備が障害に対応していない	職場の情報保障(手話・点字など)が不十分	給与・工賃などが少ない	特にない	その他	無回答
全体(n=227)	18.5	13.7	1.8	7.0	11.0	4.8	1.8	33.0	44.1	2.2	2.6
身体障害者手帳(n=119)	18.5	11.8	1.7	8.4	6.7	9.2	2.5	24.4	52.1	2.5	1.7
愛の手帳(n=65)	6.2	10.8	3.1	3.1	9.2	0.0	1.5	43.1	38.5	3.1	6.2
精神障害者保健福祉手帳(n=32)	18.8	31.3	3.1	6.3	34.4	0.0	0.0	50.0	28.1	0.0	6.3
発達障害の診断を受けている(n=13)	15.4	30.8	0.0	15.4	30.8	0.0	0.0	53.8	30.8	0.0	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=35)	31.4	14.3	0.0	2.9	5.7	5.7	0.0	34.3	34.3	0.0	0.0

問40 問38で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。
 あなたが働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

働いていない理由は、身体障害者手帳を持つ人は「高齢のため」が56.8%と最も多く、次いで「障害や病気の状態のため」が40.5%となっています。

愛の手帳を持つ人は「障害や病気の状態のため」が63.6%と最も多く、次いで「自分に合った仕事が見つからないから」、「希望に合った求人が見つからないから」、「通勤・通所が困難だから」、「のんびり過ごしたいから」、「特に理由はない」が9.1%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「障害や病気の状態のため」が67.1%と最も多く、次いで「高齢のため」が38.0%となっています。

(単位:%)

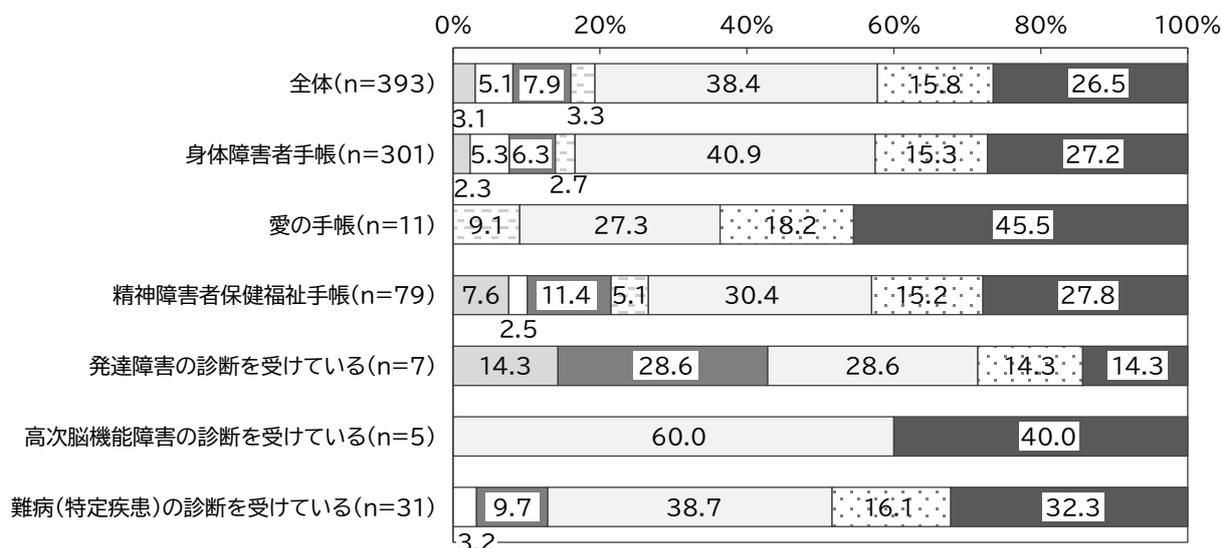
	障害や病気の状態のため	高齢のため	働く自信がないから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	通勤・通所が困難だから	利用できる日中活動の場がないから	のんびり過ごしたいから	働く必要がないから	特に理由はない	その他	無回答
全体(n=393)	46.6	52.9	12.0	6.9	7.4	7.4	3.6	9.7	9.9	3.6	1.3	7.1
身体障害者手帳(n=301)	40.5	56.8	9.6	4.7	6.6	7.3	3.3	8.3	11.0	3.7	1.3	8.0
愛の手帳(n=11)	63.6	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	18.2
精神障害者保健福祉手帳(n=79)	67.1	38.0	21.5	13.9	7.6	10.1	6.3	17.7	8.9	2.5	1.3	5.1
発達障害の診断を受けている(n=7)	71.4	0.0	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
高次脳機能障害の診断を受けている(n=5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=31)	51.6	48.4	12.9	3.2	6.5	16.1	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	6.5

問41 問38で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。
 あなたは今後の就労について主にどのように考えますか。(〇はひとつ)

今後の就労についての考えは、「無回答」「その他」を除き、身体障害者手帳を持つ人は「働きたいと思わない」が40.9%と最も多く、次いで「自宅で働きたい(自営業・内職・家業の手伝いなど)」が6.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「働きたいと思わない」が27.3%と最も多く、次いで「福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所)」が9.1%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「働きたいと思わない」が30.4%と最も多く、次いで「自宅で働きたい(自営業・内職・家業の手伝いなど)」が11.4%となっています。



問42 障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

障害者が一般就労するために必要なことは、身体障害者手帳を持つ人は「障害に対応した柔軟な勤務形態」が33.3%と最も多く、次いで「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が32.7%となっています。

愛の手帳を持つ人は「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が47.2%と最も多く、次いで「職場での良好な人間関係」が39.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「職場での良好な人間関係」が45.3%と最も多く、次いで「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が38.5%となっています。

(単位:%)

	就労のための総合的な相談支援	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	企業の障害者雇用への理解促進	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化
全体(n=824)	31.7	23.7	17.6	36.3	27.5	30.9	30.1	20.0
身体障害者手帳(n=559)	30.9	23.1	15.7	32.7	27.5	30.4	27.2	22.9
愛の手帳(n=125)	37.6	28.8	28.8	47.2	25.6	29.6	38.4	16.8
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	33.1	26.4	21.6	38.5	31.8	33.1	33.1	16.2
発達障害の診断を受けている(n=26)	50.0	26.9	34.6	61.5	38.5	46.2	53.8	15.4
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	62.5	62.5	12.5	62.5	50.0	62.5	50.0	50.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	37.5	25.0	20.0	40.0	25.0	32.5	35.0	27.5

(単位:%)

	障害に対応した柔軟な勤務形態	職場に定着するための支援(ジョブコーチなど)	通勤手段や通勤支援の確保	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ(友人等との交流や個人の趣味、余暇活動など)	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	33.9	16.7	21.0	32.0	19.2	12.9	4.0	17.7
身体障害者手帳(n=559)	33.3	13.1	21.1	26.8	17.7	13.6	3.2	19.7
愛の手帳(n=125)	35.2	30.4	24.8	39.2	27.2	12.0	3.2	16.0
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	33.8	24.3	23.6	45.3	23.6	11.5	5.4	14.9
発達障害の診断を受けている(n=26)	53.8	46.2	23.1	46.2	19.2	3.8	11.5	11.5
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	37.5	25.0	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	38.8	12.5	28.8	33.8	18.8	7.5	5.0	10.0

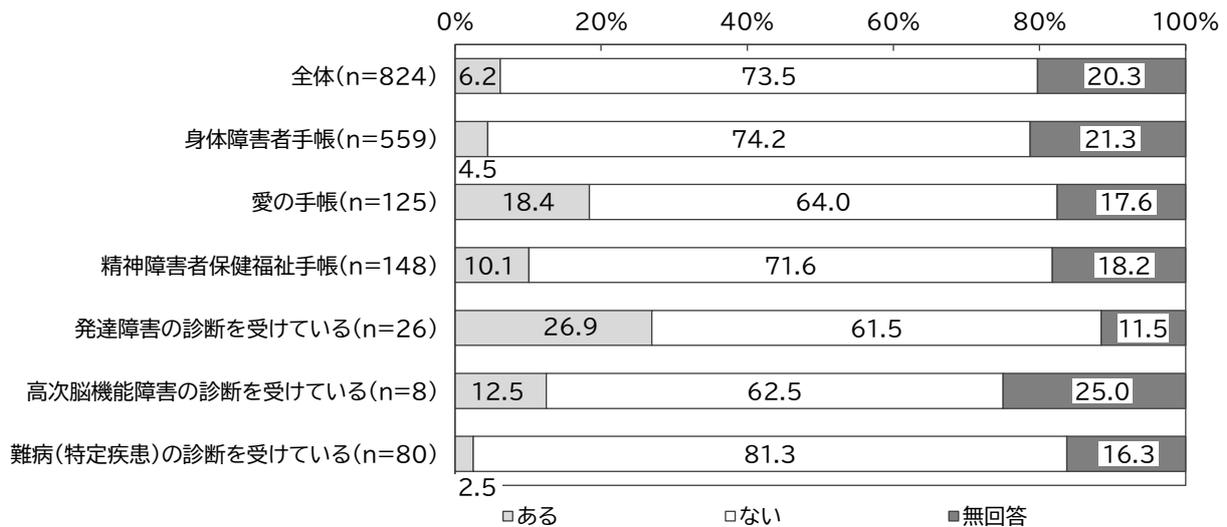
3-10 切れ目ない支援について

問43 あなたはライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことはありますか。(〇はひとつ)

ライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことがあるかは、身体障害者手帳を持つ人は「ある」が4.5%、「ない」が74.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「ある」が18.4%、「ない」が64.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ある」が10.1%、「ない」が71.6%となっています。



問44 問43で「ある」と回答した方にお聞きします。困ったのはいつですか。(〇はいくつでも)

情報が引き継がれないことで困った時期は、身体障害者手帳を持つ人は「就労するとき」が44.0%と最も多く、次いで「保育園等から小学校に入学するとき」が32.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「保育園等から小学校に入学するとき」が52.2%と最も多く、次いで「保育園等に入園するとき」が39.1%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「就労するとき」が66.7%と最も多く、次いで「保育園等から小学校に入学するとき」、「小学校から中学校へ進学するとき」が26.7%となっています。

(単位:%)

	保育園等に入園するとき	保育園等から小学校に入学するとき	小学校から中学校へ進学するとき	中学校から高等学校へ進学するとき	高等学校から大学等へ進学するとき	就労するとき	無回答
全体(n=51)	23.5	33.3	23.5	19.6	9.8	51.0	15.7
身体障害者手帳(n=25)	20.0	32.0	24.0	16.0	12.0	44.0	16.0
愛の手帳(n=23)	39.1	52.2	34.8	26.1	13.0	30.4	4.3
精神障害者保健福祉手帳(n=15)	20.0	26.7	26.7	20.0	13.3	66.7	20.0
発達障害の診断を受けている(n=7)	28.6	28.6	28.6	42.9	28.6	57.1	28.6
高次脳機能障害の診断を受けている(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

3-11 施策について

問45 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、行政に力を入れてほしい施策は、身体障害者手帳を持つ人は「年金や手当などの経済的支援の充実」が56.7%と最も多く、次いで「保健・医療の充実」が37.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「年金や手当などの経済的支援の充実」が58.4%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が50.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「年金や手当などの経済的支援の充実」が60.8%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が50.0%となっています。

(単位:%)

	障害に対する理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	移動支援の充実(通勤・通学を含む)	短期入所の充実	緊急一時保護の充実	コミュニケーション支援の充実や情報保障の確保
全体(n=824)	36.8	36.4	9.3	22.3	23.7	11.3	10.3	17.0	10.1	14.0	11.5
身体障害者手帳(n=559)	33.1	37.0	8.9	19.3	18.8	12.3	8.1	16.3	9.5	13.4	10.0
愛の手帳(n=125)	50.4	38.4	12.0	28.0	36.8	12.8	21.6	28.0	28.8	30.4	17.6
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	50.0	35.1	9.5	29.7	38.5	12.2	14.2	15.5	6.8	11.5	13.5
発達障害の診断を受けている(n=26)	73.1	46.2	23.1	46.2	57.7	23.1	42.3	26.9	38.5	42.3	26.9
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	50.0	25.0	0.0	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	31.3	50.0	11.3	23.8	22.5	10.0	13.8	25.0	5.0	13.8	2.5

(単位:%)

	福祉機器・補装具などの充実	グループホームなどの整備	入所施設の充実	障害者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実	年金や手当などの経済的支援の充実	特にない	その他	無回答
全体(n=824)	15.7	13.7	21.6	18.2	20.6	11.4	58.7	6.8	2.1	9.8
身体障害者手帳(n=559)	19.1	8.9	20.8	15.6	24.2	9.5	56.7	7.3	1.4	11.1
愛の手帳(n=125)	8.8	36.8	36.8	24.0	16.8	24.8	58.4	3.2	2.4	4.8
精神障害者保健福祉手帳(n=148)	8.8	22.3	21.6	27.7	14.2	14.2	60.8	6.1	3.4	6.8
発達障害の診断を受けている(n=26)	15.4	46.2	34.6	34.6	15.4	26.9	65.4	0.0	7.7	7.7
高次脳機能障害の診断を受けている(n=8)	50.0	50.0	50.0	50.0	62.5	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=80)	17.5	6.3	25.0	17.5	26.3	10.0	70.0	2.5	0.0	8.8

4 調査結果 (18歳未満とその保護者)

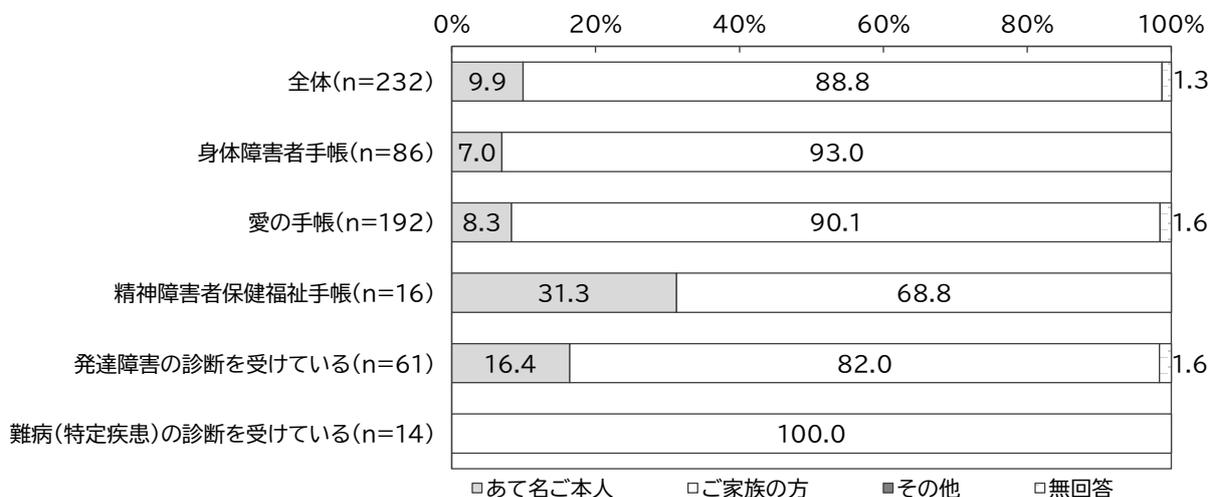
4-1 本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(〇はひとつ)

調査票の回答者は、身体障害者手帳を持つ人は「ご家族の方」が93.0%と最も多く、次いで「あて名ご本人」が7.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「ご家族の方」が90.1%と最も多く、次いで「あて名ご本人」が8.3%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ご家族の方」が68.8%と最も多く、次いで「あて名ご本人」が31.3%となっています。

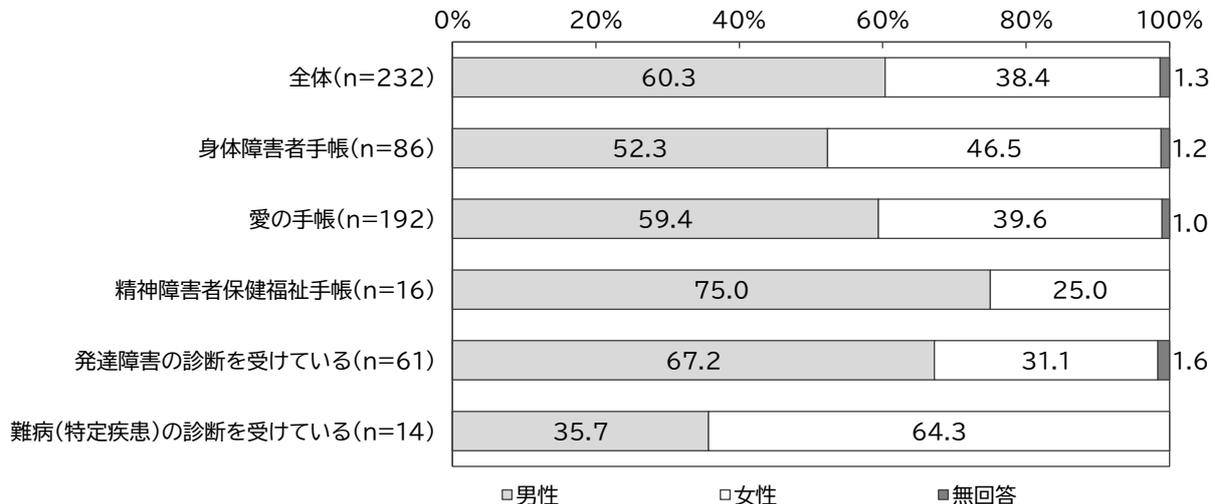


問2 あなたの性別をお聞きます。(〇はひとつ)

回答者の性別は、身体障害者手帳を持つ人は「男性」が52.3%と、「女性」の46.5%をやや上回っています。

愛の手帳を持つ人は「男性」が59.4%と、「女性」の39.6%とやや上回っています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「男性」が75.0%と、「女性」の25.0%を上回っています。

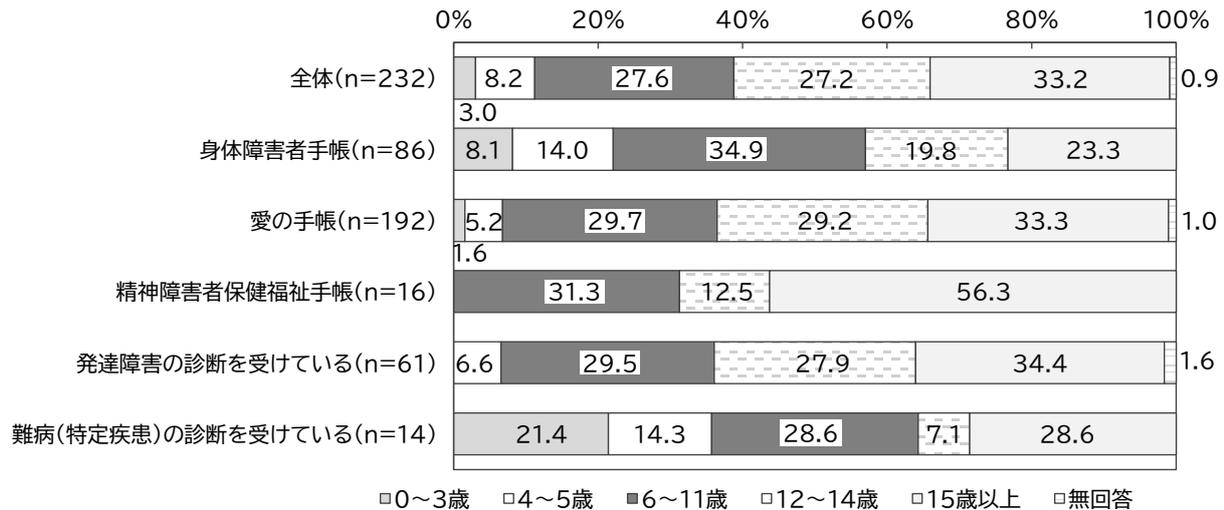


問3 あなたの年齢をお聞きます。令和2年(2020年)4月1日現在の満年齢でお答えください。
(○はひとつ)

回答者の年齢は、身体障害者手帳を持つ人は「6～11歳」が34.9%と最も多く、次いで「15歳以上」が23.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「15歳以上」が33.3%と最も多く、次いで「6～11歳」が29.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「15歳以上」が56.3%と最も多く、次いで「6～11歳」が31.3%となっています。



問4 あなたが障害(難病(特定疾患)※を含みます)を受けたのは、満何歳のころですか。(○はひとつ)

障害を受けた時期は、身体障害者手帳を持つ人は「生まれたとき」が46.5%と最も多く、次いで「0歳」が23.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「生まれたとき」が28.1%と最も多く、次いで「3歳」が22.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「3歳」、「6～11歳」が25.0%と最も多く、次いで「生まれたとき」が18.8%となっています。

(単位:%)

	生まれたとき	0歳	1歳	2歳	3歳	4~5歳	6~11歳	12歳以上	無回答
全体(n=232)	29.7	10.3	8.2	9.1	20.7	9.1	9.5	3.0	0.4
身体障害者手帳(n=86)	46.5	23.3	12.8	5.8	5.8	0.0	5.8	0.0	0.0
愛の手帳(n=192)	28.1	8.3	8.3	9.9	22.9	10.9	8.3	2.6	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	18.8	6.3	6.3	0.0	25.0	6.3	25.0	12.5	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	14.8	6.6	11.5	9.8	34.4	16.4	3.3	3.3	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	21.4	50.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 あなたが持っている手帳をお聞きます。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも○をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。(○はいくつでも)

他にお持ちの手帳や診断の有無については、身体障害者手帳を持つ人は「愛の手帳」が66.3%、「難病(特定疾患)の診断を受けている」が12.8%となっています。

愛の手帳を持つ人は「身体障害者手帳」が29.7%、「発達障害の診断を受けている」が27.1%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「愛の手帳」が31.3%、「発達障害の診断を受けている」が75.0%となっています。

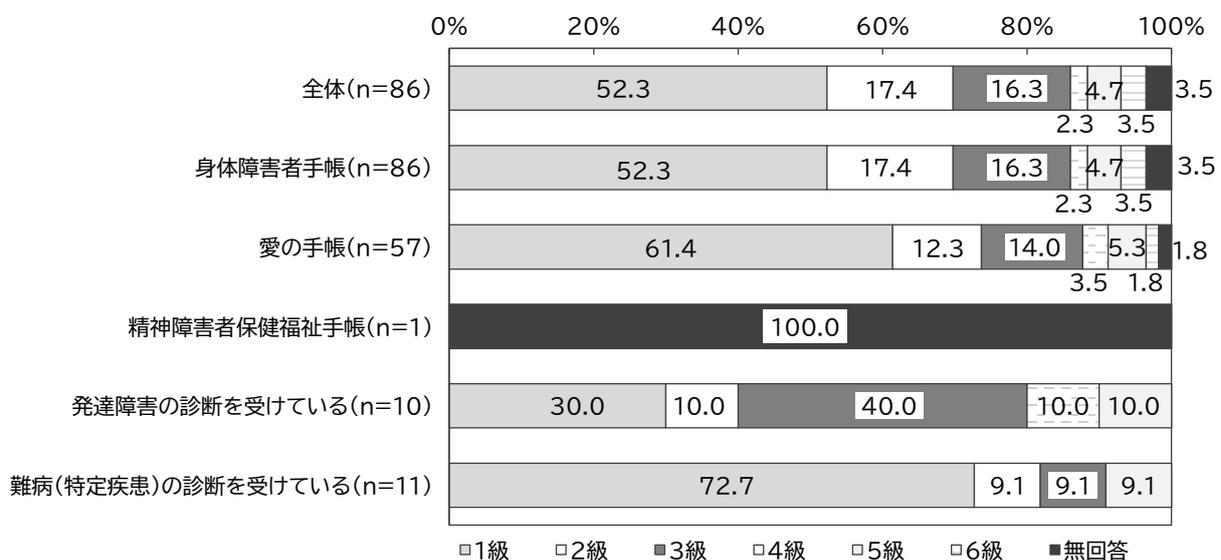
(単位:%)

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	高次脳機能障害の診断を受けている	難病(特定疾患)の診断を受けている	手帳は持っていない	無回答
全体(n=232)	37.1	82.8	6.9	26.3	0.0	6.0	0.0	0.0
身体障害者手帳(n=86)	100.0	66.3	1.2	11.6	0.0	12.8	0.0	0.0
愛の手帳(n=192)	29.7	100.0	2.6	27.1	0.0	6.3	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	6.3	31.3	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	16.4	85.2	19.7	100.0	0.0	6.6	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	78.6	85.7	0.0	28.6	0.0	100.0	0.0	0.0

① 身体障害者手帳の等級・程度

身体障害者手帳の等級は、「1級」が52.3%と最も多く、次いで「2級」が17.4%となっています。

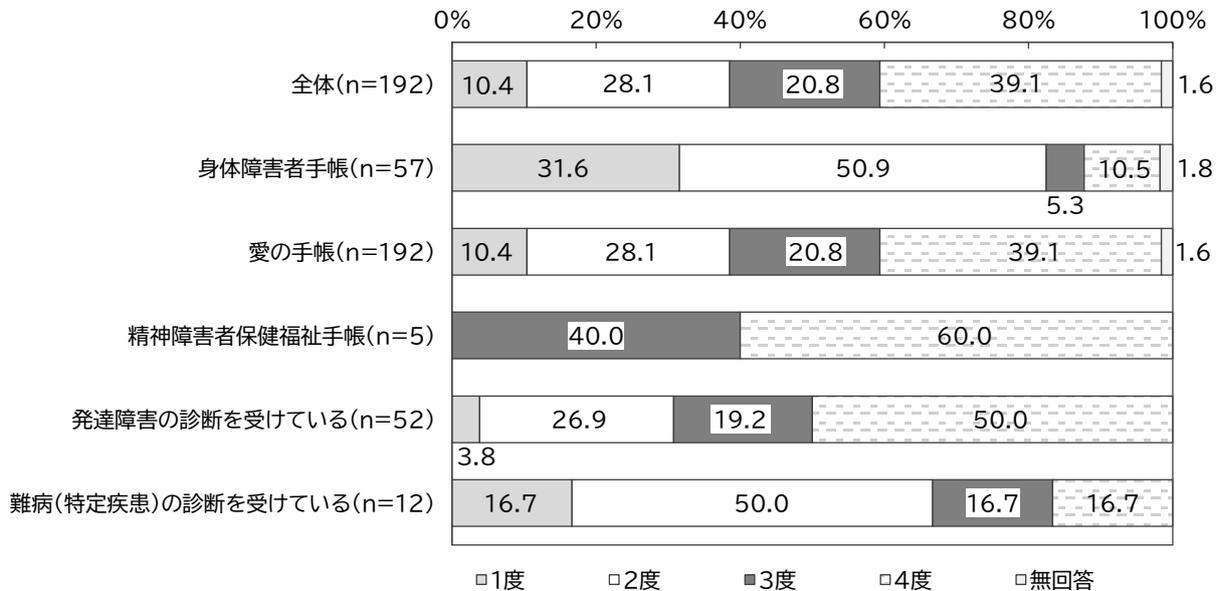
このうち、愛の手帳を持つ人では「1級」が61.4%と最も多く、次いで「3級」が14.0%となっており、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「無回答」が100%となっています。



② 愛の手帳の等級・程度

愛の手帳を持つ人の等級は、「4度」が39.1%と最も多く、次いで「2度」が28.1%となっています。

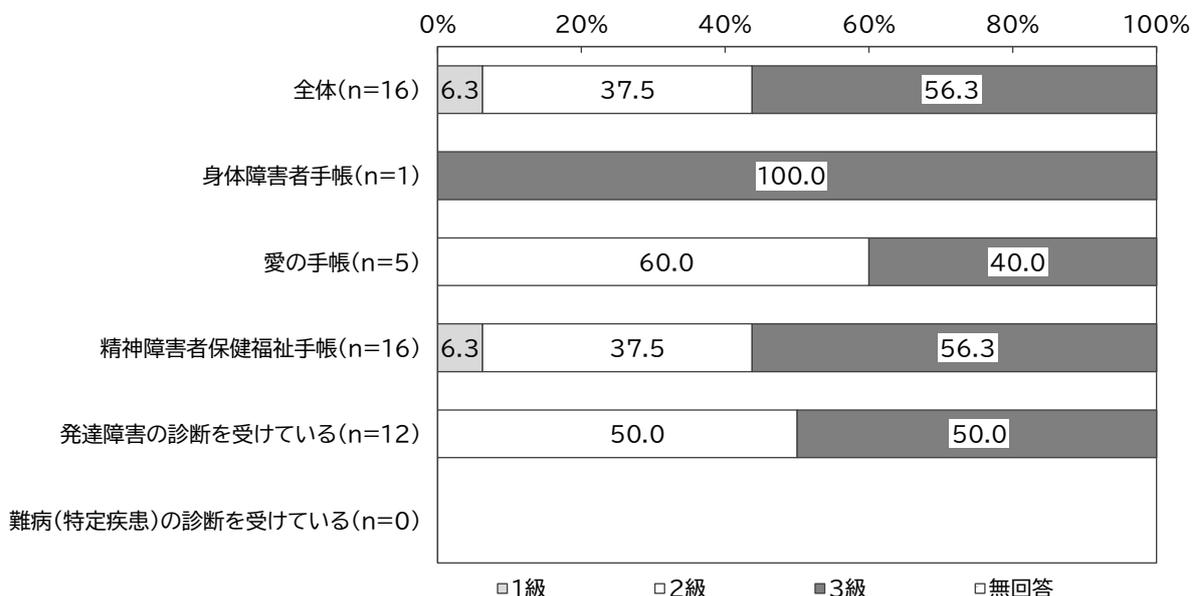
このうち、身体障害者手帳を持つ人では、「2度」が50.9%と最も多く、次いで「1度」が31.6%となっており、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では、「4度」が60.0%と最も多く、次いで「3度」が40.0%となっています。



③ 精神障害者保健福祉手帳の等級・程度

精神障害者保健福祉手帳の等級は、「3級」が56.3%と最も多く、次いで「2級」が37.5%となっています。

このうち、身体障害者手帳を持つ人では「3級」が100%となっており、愛の手帳を持つ人では、「1級」が60.0%と最も多く、次いで「3級」が40.0%となっています。



問6 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

身体障害者手帳を持つ人の身体障害者手帳の障害の種類は「肢体不自由」が74.4%と最も多く、次いで「内部障害」が22.1%となっています。

このうち、愛の手帳を重複してお持ちの方の障害の種類は、「肢体不自由」が91.2%と最も多く、次いで「内部障害」が15.8%となっています。

また、精神障害者保健福祉手帳を重複してお持ちの方の障害の種類は、「内部障害」が100%となっています。

(単位:%)

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	無回答
全体(n=86)	8.1	9.3	4.7	74.4	22.1	0.0
身体障害者手帳(n=86)	8.1	9.3	4.7	74.4	22.1	0.0
愛の手帳(n=57)	8.8	5.3	7.0	91.2	15.8	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
発達障害の診断を受けている(n=10)	10.0	0.0	0.0	80.0	10.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=11)	9.1	0.0	0.0	81.8	9.1	0.0

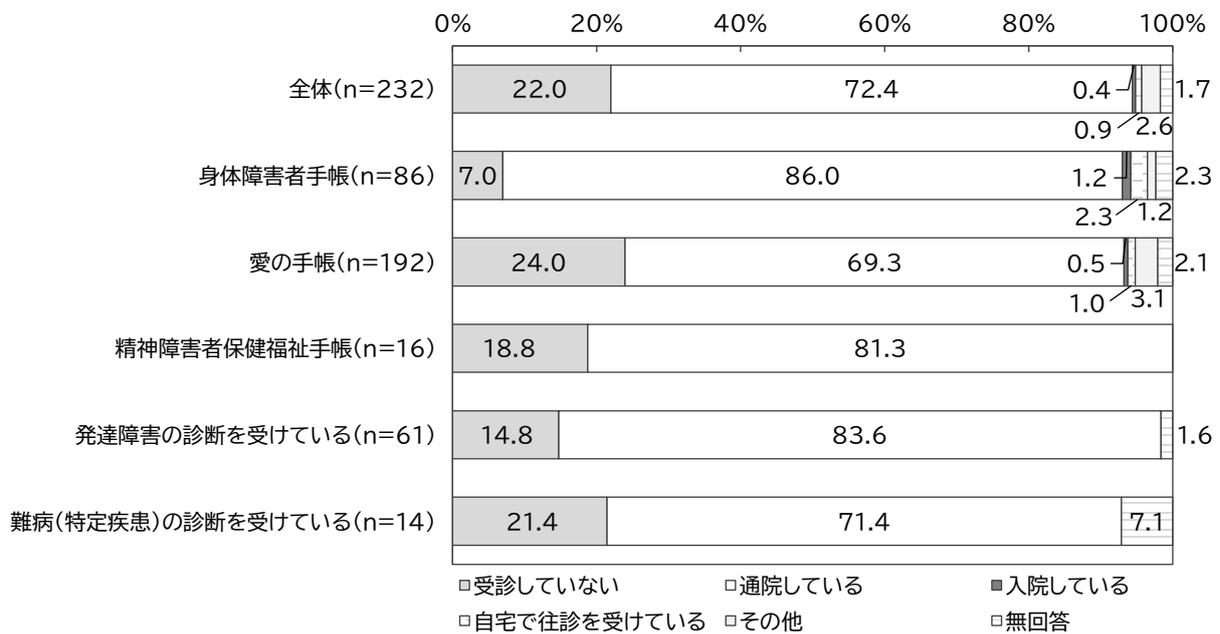
4-2 医療について

問7 あなたは現在、障害に関することで医療機関を受診していますか。(〇はひとつ)

障害に関する医療機関の受診状況は、身体障害者手帳を持つ人は「通院している」が86.0%と最も多く、次いで「受診していない」が7.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「通院している」が69.3%と最も多く、次いで「受診していない」が24.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「通院している」が81.3%と最も多く、次いで「受診していない」が18.8%となっています。



問8 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

医療に関する困りごとは、手帳の種類に関係なく「特にない」が多いものの、身体障害者手帳を持つ人は「医療機関が家の近くにない」が40.7%と最も多く、次いで「通院のための交通機関が整備されていない」が16.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「医療機関が家の近くにない」が25.5%と最も多く、次いで「気軽に相談できる場がない」が15.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「医療機関が家の近くにない」が37.5%と最も多く、次いで「気軽に相談できる場がない」、「医療費の負担が大きい」が25.0%となっています。

(単位:%)

	医療機関が家の近くにない	障害についての専門の医療機関がない	休日や夜間に対応してくれる医療機関がない	通院のための介助者が確保しにくい	通院のための交通機関が整備されていない	医療機関がバリアフリー化されていない	気軽に相談できる場がない	治療の説明が十分理解できない	医療費の負担が大きい	障害が理由で医療拒否されたことがある	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	29.3	12.9	9.1	9.9	9.5	2.2	15.9	4.7	10.8	9.9	33.6	9.5	3.9
身体障害者手帳(n=86)	40.7	14.0	11.6	14.0	16.3	5.8	14.0	4.7	10.5	9.3	27.9	9.3	2.3
愛の手帳(n=192)	25.5	12.0	9.4	10.4	9.4	2.1	15.6	5.2	10.4	10.4	34.9	10.4	3.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	37.5	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	6.3	25.0	12.5	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	23.0	6.6	1.6	6.6	3.3	0.0	21.3	3.3	4.9	13.1	31.1	14.8	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	42.9	14.3	0.0	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	0.0	28.6	14.3	0.0

【前回調査との比較】 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「医療機関が家の近くにない」が23.8%から29.3%と5.5ポイント増加し、「通院のための交通機関が整備されていない」が3.2%から9.5%と6.3ポイント増加しています。特に、「医療機関が家の近くにない」が、身体障害者手帳所持者で11.3ポイント、愛の手帳所持者で5.4ポイント増加し、「通院のための交通機関が整備されていない」が、身体障害者手帳所持者で11.6ポイント、愛の手帳所持者で6.4ポイント増加しています。

(単位:%)

		医療機関が家の近くにない	障害者専門の医療機関がない	休日や夜間に医療機関が対応してくれない	通院のための交通機関が確保しにくい	通院のための交通機関が整備されていない	医療機関がバリアフリー化されていない	気軽に相談できる場がない
全体	今回(n=232)	29.3	12.9	9.1	9.9	9.5	2.2	15.9
	前回(n=248)	23.8	13.3	13.3	9.7	3.2	2.8	17.3
	今回-前回	5.5	-0.4	-4.2	0.2	6.3	-0.6	-1.4
身体障害者手帳	今回(n=86)	40.7	14.0	11.6	14.0	16.3	5.8	14.0
	前回(n=85)	29.4	16.5	22.4	16.5	4.7	7.1	16.5
	今回-前回	11.3	-2.5	-10.8	-2.5	11.6	-1.3	-2.5
愛の手帳	今回(n=192)	25.5	12.0	9.4	10.4	9.4	2.1	15.6
	前回(n=199)	20.1	12.1	14.1	10.6	3.0	2.5	16.6
	今回-前回	5.4	-0.1	-4.7	-0.2	6.4	-0.4	-1.0
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	37.5	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0
	前回(n=17)	52.9	11.8	17.6	11.8	0.0	5.9	35.3
	今回-前回	-15.4	-5.5	-17.6	-5.5	0.0	-5.9	-10.3
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	23.0	6.6	1.6	6.6	3.3	0.0	21.3
	前回(n=68)	20.6	13.2	10.3	4.4	2.9	2.9	26.5
	今回-前回	2.4	-6.6	-8.7	2.2	-23.2	-10.3	9.5
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	42.9	14.3	0.0	7.1	14.3	7.1	14.3
	前回(n=13)	38.5	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	30.8
	今回-前回	4.4	-1.1	-15.4	-8.3	-1.1	-0.6	-16.5

(単位:%)

		十分な治療の理解が得られない	医療費の負担が大きい	障害者が拒否される	特になし	その他	無回答
全体	今回(n=232)	4.7	10.8	9.9	33.6	9.5	3.9
	前回(n=248)	5.2	8.5	8.9	40.7	10.9	4.0
	今回-前回	-0.5	2.3	1.0	-7.1	-1.4	-0.1
身体障害者手帳	今回(n=86)	4.7	10.5	9.3	27.9	9.3	2.3
	前回(n=85)	4.7	12.9	11.8	27.1	10.6	5.9
	今回-前回	0.0	-2.4	-2.5	0.8	-1.3	-3.6
愛の手帳	今回(n=192)	5.2	10.4	10.4	34.9	10.4	3.6
	前回(n=199)	5.0	9.0	9.5	40.2	11.1	3.0
	今回-前回	0.2	1.4	0.9	-5.3	-0.7	0.6
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	0.0	25.0	6.3	25.0	12.5	0.0
	前回(n=17)	5.9	11.8	11.8	29.4	11.8	17.6
	今回-前回	-5.9	13.2	-5.5	-4.4	0.7	-17.6
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	3.3	4.9	13.1	31.1	14.8	3.3
	前回(n=68)	10.3	11.8	10.3	35.3	16.2	5.9
	今回-前回	-7.0	-30.4	-3.1	-25.2	-14.8	-3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	7.1	7.1	0.0	28.6	14.3	0.0
	前回(n=13)	15.4	23.1	7.7	23.1	7.7	15.4
	今回-前回	-8.3	-16.0	-7.7	5.5	6.6	-15.4

4-3 家族・介助について

問9 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。(○はひとつ)

主な介助者は、「介助は必要としていない」や「無回答」を除き、身体障害者手帳を持つ人は「母親」が82.6%と最も多く、次いで「父親」が3.5%となっています。

愛の手帳を持つ人は「母親」が77.6%と最も多く、次いで「父親」が2.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「母親」が81.3%と最も多くなっています。

(単位:%)

	母親	父親	兄弟姉妹	親族 その他	ホームヘルパー	施設などの職員	介助は必要としていない	その他	無回答
全体(n=232)	76.3	2.2	0.0	0.0	0.0	1.3	11.2	1.3	7.8
身体障害者手帳(n=86)	82.6	3.5	0.0	0.0	0.0	2.3	3.5	2.3	5.8
愛の手帳(n=192)	77.6	2.6	0.0	0.0	0.0	1.6	10.9	1.0	6.3
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5
発達障害の診断を受けている(n=61)	82.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	0.0	11.5
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1

問10 問9で「家族が介助している(1~4)」と回答した方にお聞きします。
介助者の方はどのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

介助者が困っていることは、手帳の種類に関係なく「将来の見通しに不安がある」が最も多く、身体障害者手帳を持つ人は「緊急時の対応に不安がある」、「かわりの介助を頼める人がいない」が51.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「緊急時の対応に不安がある」が50.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「精神的な負担が大きい」が76.9%となっています。

(単位:%)

	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	かわりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	長期の旅行や外出がでない	将来の見通しに不安がある	特にない	その他	無回答
全体(n=182)	27.5	30.2	42.9	24.2	42.9	48.4	26.9	81.9	4.4	2.7	0.5
身体障害者手帳(n=74)	29.7	50.0	39.2	25.7	51.4	51.4	36.5	79.7	5.4	2.7	1.4
愛の手帳(n=154)	29.2	32.5	42.9	20.8	44.2	50.6	26.0	84.4	3.2	3.2	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=13)	30.8	15.4	76.9	38.5	38.5	46.2	7.7	84.6	0.0	7.7	0.0
発達障害の診断を受けている(n=50)	28.0	20.0	50.0	22.0	36.0	58.0	22.0	94.0	0.0	2.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=12)	25.0	41.7	41.7	0.0	41.7	75.0	41.7	83.3	0.0	8.3	0.0

問11 問9で「家族が介助している（1～4）」と回答した方にお聞きします。
 主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、どのようにしたいと思いますか。
 （〇はいくつでも）

主な介助者の介助が受けられないときの対応として、身体障害者手帳を持つ人は「同居の家族に介助してほしい」が52.7%と最も多く、次いで「ショートステイを利用したい」が51.4%となっています。
 愛の手帳を持つ人は「同居の家族に介助してほしい」が57.8%と最も多く、次いで「ショートステイを利用したい」が48.1%となっています。
 精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「同居の家族に介助してほしい」が38.5%と最も多く、次いで「別居の家族に介助してほしい」、「ショートステイを利用したい」が30.8%となっています。

(単位:%)

	同居の家族に介助してほしい	別居の親族に介助してほしい	ホームヘルパーを利用したい	ショートステイを利用したい	民間の有償介助サービスを利用したい	施設に入所したい	病院に入院したい	わからない	その他	無回答
全体(n=182)	55.5	18.1	23.1	44.5	8.8	15.9	9.3	6.6	2.7	4.9
身体障害者手帳(n=74)	52.7	16.2	20.3	51.4	5.4	13.5	21.6	4.1	2.7	6.8
愛の手帳(n=154)	57.8	16.9	26.0	48.1	9.1	18.8	9.7	5.8	2.6	2.6
精神障害者保健福祉手帳(n=13)	38.5	30.8	7.7	30.8	23.1	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7
発達障害の診断を受けている(n=50)	60.0	26.0	26.0	42.0	12.0	20.0	0.0	4.0	4.0	2.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=12)	50.0	25.0	16.7	58.3	8.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0

4-4 日常生活について

問12 あなたは普段、自由時間に何をして過ごしていますか。(〇はいくつでも)

自由時間の過ごし方は、身体障害者手帳を持つ人は「家族との団らん」が77.9%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が52.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「家族との団らん」が68.8%と最も多く、次いで「趣味活動・遊び」が58.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「家族との団らん」、「趣味活動・遊び」が75.0%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が50.0%となっています。

(単位:%)

	家族との団らん	友人・知人との交流	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	買い物	地域の活動	障害者団体などの活動	テレビ・ラジオ	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	69.8	20.7	60.3	13.4	25.9	2.2	8.6	52.2	3.4	9.9	0.4
身体障害者手帳(n=86)	77.9	23.3	45.3	7.0	29.1	2.3	7.0	52.3	3.5	14.0	0.0
愛の手帳(n=192)	68.8	17.7	58.9	14.6	25.0	2.1	10.4	52.6	3.6	8.9	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	75.0	25.0	75.0	25.0	31.3	0.0	6.3	50.0	6.3	0.0	6.3
発達障害の診断を受けている (n=61)	60.7	11.5	68.9	14.8	24.6	1.6	13.1	54.1	3.3	3.3	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=14)	78.6	21.4	35.7	0.0	42.9	0.0	7.1	42.9	0.0	7.1	0.0

問13 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

日常生活で困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「将来に不安がある」が59.3%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が57.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「将来に不安がある」が64.6%と最も多く、次いで「本人の成長や発達に不安がある」が46.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「将来に不安がある」が68.8%と最も多く、次いで「身の回りのことが十分できない」が62.5%となっています。

(単位:%)

	身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	本人の成長や発達に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	教育・療育について困っている	余暇活動や遊ぶことが十分できない
全体(n=232)	44.0	17.7	46.1	6.5	29.7	44.4	24.6	24.6
身体障害者手帳(n=86)	57.0	25.6	44.2	15.1	32.6	48.8	18.6	26.7
愛の手帳(n=192)	44.8	16.1	46.9	7.3	31.8	45.8	25.0	25.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	62.5	31.3	31.3	0.0	25.0	50.0	31.3	25.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	54.1	14.8	65.6	3.3	29.5	55.7	31.1	27.9
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	57.1	21.4	64.3	14.3	35.7	57.1	28.6	28.6

(単位:%)

	スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない	経済的に不安がある	将来に不安がある	どうしてよいかわからないことがある	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	24.6	24.6	64.2	25.9	4.3	4.7	1.7
身体障害者手帳(n=86)	32.6	25.6	59.3	19.8	3.5	4.7	2.3
愛の手帳(n=192)	20.3	25.0	64.6	27.1	4.7	4.2	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	25.0	31.3	68.8	43.8	0.0	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	21.3	23.0	67.2	34.4	1.6	3.3	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	21.4	14.3	50.0	21.4	0.0	7.1	0.0

【前回調査との比較】 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「余暇活動や遊ぶことが十分できない」が20.2%から24.6%と4.4ポイント増加し、「身の回りのことが十分できない」が40.7%から44.0%と3.3ポイント増加しています。特に、「身の回りのことが十分できない」は、発達障害の診断を受けている人で24.7ポイント、精神障害者保健福祉手帳を持つ人で21.3ポイント増加しています。

(単位:%)

		身の回りのことが十分できない	健康状態に不安がある	本人の成長や発達に不安がある	住まいについて困っている	外出について困っている	緊急時の対応に不安がある	教育・療育について困っている	余暇活動や遊ぶことが十分できない
全体	今回(n=232)	44.0	17.7	46.1	6.5	29.7	44.4	24.6	24.6
	前回(n=248)	40.7	22.6	46.4	10.1	29.8	44.0	23.8	20.2
	今回-前回	3.3	-4.9	-0.3	-3.6	-0.1	0.4	0.8	4.4
身体障害者手帳	今回(n=86)	57.0	25.6	44.2	15.1	32.6	48.8	18.6	26.7
	前回(n=85)	52.9	40.0	54.1	17.6	32.9	49.4	22.4	29.4
	今回-前回	4.1	-14.4	-9.9	-2.5	-0.3	-0.6	-3.8	-2.7
愛の手帳	今回(n=192)	44.8	16.1	46.9	7.3	31.8	45.8	25.0	25.5
	前回(n=199)	43.2	21.6	46.7	10.6	32.2	46.7	22.6	21.1
	今回-前回	1.6	-5.5	0.2	-3.3	-0.4	-0.9	2.4	4.4
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	62.5	31.3	31.3	0.0	25.0	50.0	31.3	25.0
	前回(n=17)	41.2	17.6	47.1	11.8	47.1	47.1	52.9	23.5
	今回-前回	21.3	13.7	-15.8	-11.8	-22.1	2.9	-21.6	1.5
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	54.1	14.8	65.6	3.3	29.5	55.7	31.1	27.9
	前回(n=68)	29.4	16.2	48.5	7.4	32.4	52.9	27.9	17.6
	今回-前回	24.7	-1.4	17.1	-4.1	-2.9	2.8	3.2	10.3
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	57.1	21.4	64.3	14.3	35.7	57.1	28.6	28.6
	前回(n=13)	69.2	46.2	53.8	15.4	61.5	61.5	38.5	30.8
	今回-前回	-12.1	-24.8	10.5	-1.1	-25.8	-4.4	-9.9	-2.2

(単位:%)

		スポーツ・運動レクリエーションが十分できない	経済的に不安がある	将来に不安がある	かわからないことがある	特になし	その他	無回答
全体	今回(n=232)	24.6	24.6	64.2	25.9	4.3	4.7	1.7
	前回(n=248)	22.6	29.4	61.3	23.0	9.7	1.6	2.0
	今回-前回	2.0	-4.8	2.9	2.9	-5.4	3.1	-0.3
身体障害者手帳	今回(n=86)	32.6	25.6	59.3	19.8	3.5	4.7	2.3
	前回(n=85)	28.2	30.6	58.8	23.5	7.1	1.2	3.5
	今回-前回	4.4	-5.0	0.5	-3.7	-3.6	3.5	-1.2
愛の手帳	今回(n=192)	20.3	25.0	64.6	27.1	4.7	4.2	1.6
	前回(n=199)	20.6	31.7	63.3	25.1	9.0	2.0	2.0
	今回-前回	-0.3	-6.7	1.3	2.0	-4.3	2.2	-0.4
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	25.0	31.3	68.8	43.8	0.0	6.3	0.0
	前回(n=17)	17.6	58.8	70.6	47.1	0.0	0.0	0.0
	今回-前回	7.4	-27.5	-1.8	-3.3	0.0	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	21.3	23.0	67.2	34.4	1.6	3.3	1.6
	前回(n=68)	22.1	32.4	58.8	29.4	5.9	1.5	2.9
	今回-前回	-0.8	-9.4	8.4	5.0	-4.3	1.8	-1.3
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	21.4	14.3	50.0	21.4	0.0	7.1	0.0
	前回(n=13)	38.5	46.2	76.9	53.8	15.4	0.0	0.0
	今回-前回	-17.1	-31.9	-26.9	-32.4	-15.4	7.1	0.0

問14 あなたやご家族の方は、普段困ったときに誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

困ったときの相談相手は、手帳の種類に関係なく「同居の家族」が最も多く、次いで多い相談相手は、身体障害者手帳を持つ人では「医療関係者」が55.8%、愛の手帳を持つ人では「学校・幼稚園・保育所の教職員」が58.3%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「学校・幼稚園・保育所の教職員」が68.8%となっています。

(単位:%)

	同居の家族	別居の家族・親族	友人・知人(障害者)	友人・知人(健常者)	近所の人	市のケースワーカー	ホームヘルパー	学校・幼稚園・保育所の教職員	福祉施設の職員	医療関係者
全体(n=232)	76.3	26.7	13.8	22.8	0.9	1.7	1.3	55.2	17.2	47.8
身体障害者手帳(n=86)	74.4	32.6	10.5	18.6	0.0	1.2	3.5	38.4	17.4	55.8
愛の手帳(n=192)	76.6	25.5	13.0	24.5	0.5	2.1	1.6	58.3	19.3	45.8
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	81.3	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	68.8	12.5	62.5
発達障害の診断を受けている(n=61)	78.7	29.5	16.4	26.2	1.6	1.6	0.0	60.7	21.3	45.9
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	78.6	35.7	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	21.4	21.4	71.4

(単位:%)

	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	相談支援事業所	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	0.4	1.3	12.1	1.7	0.4	3.0	1.3	5.6	0.0
身体障害者手帳(n=86)	0.0	2.3	11.6	3.5	1.2	3.5	1.2	8.1	0.0
愛の手帳(n=192)	0.5	1.0	13.5	2.1	0.0	3.1	1.0	5.7	0.0
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	0.0	3.3	14.8	0.0	0.0	6.6	0.0	4.9	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0

問15 あなたは、福祉サービスなどの情報を、主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

福祉に関する情報の入手先は、身体障害者手帳を持つ人は「友人や知人」が41.9%と最も多く、次いで「学校・幼稚園・保育所」が38.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「学校・幼稚園・保育所」が49.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が45.3%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「医療機関」、「市役所」が43.8%と最も多く、次いで「広報『はちおうじ』」、「学校・幼稚園・保育所」が25.0%となっています。

(単位：%)

	広報『はちおうじ』	東京都広報	市のパンフレットなど	市のホームページ	その他のホームページ	テレビ・ラジオ	新聞・書籍	SNS(ツイッターやフェイスブックなど)	学校・幼稚園・保育所	市役所
全体(n=232)	22.4	3.0	6.5	12.5	10.8	3.0	3.4	10.8	43.5	20.3
身体障害者手帳(n=86)	20.9	3.5	7.0	14.0	9.3	1.2	0.0	8.1	38.4	22.1
愛の手帳(n=192)	21.9	3.1	7.3	13.0	10.9	3.6	3.6	10.4	49.0	19.3
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	25.0	6.3	12.5	12.5	12.5	6.3	12.5	12.5	25.0	43.8
発達障害の診断を受けている(n=61)	26.2	3.3	6.6	16.4	14.8	3.3	8.2	13.1	44.3	23.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	21.4	7.1

(単位：%)

	医療機関	福祉施設	相談支援事業所	保健所・保健センター	難病相談・支援センター	障害者団体・患者会	友人や知人	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	28.0	9.1	10.8	3.0	0.4	4.3	40.9	9.1	3.4	0.4
身体障害者手帳(n=86)	36.0	5.8	9.3	4.7	1.2	5.8	41.9	7.0	3.5	0.0
愛の手帳(n=192)	25.0	9.4	12.0	2.6	0.0	4.7	45.3	8.3	2.6	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	43.8	12.5	18.8	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3
発達障害の診断を受けている(n=61)	34.4	11.5	13.1	1.6	0.0	8.2	44.3	8.2	1.6	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	42.9	14.3	0.0	0.0

問16 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

サービス利用に関して困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「サービスに関する情報が少ない」が43.0%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きが大変」が39.5%となっています。

愛の手帳を持つ人は「サービスに関する情報が少ない」が44.8%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きが大変」が35.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「サービスに関する情報が少ない」が43.8%と最も多く、次いで「サービス利用の手続きが大変」が25.0%となっています。

(単位:%)

	サービスに関する情報が少ない	サービス利用の手続きが大変	利用したいサービスを利用できない	利用できる回数や日数が少ない	希望に合った事業者が見つからない	サービスの質が良くない	自分に必要なサービスがない	誰に相談すればよいかわからない	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	43.1	36.6	17.7	19.0	25.0	5.6	10.3	25.4	20.7	6.0	3.0
身体障害者手帳(n=86)	43.0	39.5	19.8	27.9	24.4	7.0	9.3	24.4	23.3	5.8	1.2
愛の手帳(n=192)	44.8	35.9	18.8	20.8	28.1	6.3	10.4	26.0	20.3	5.2	2.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	43.8	25.0	18.8	6.3	12.5	0.0	12.5	18.8	25.0	18.8	6.3
発達障害の診断を受けている(n=61)	39.3	31.1	18.0	14.8	27.9	3.3	14.8	23.0	18.0	6.6	4.9
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	35.7	42.9	7.1	28.6	21.4	0.0	0.0	21.4	21.4	14.3	0.0

4-5 さいがい 災害について

問17 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。
(○はいくつでも)

災害が起きたときに不安に感じることは、身体障害者手帳を持つ人は「ひとりでは避難できない」が80.2%と最も多く、次いで「自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安」が70.9%となっています。

愛の手帳を持つ人は「ひとりでは避難できない」が81.3%と最も多く、次いで「自分では助けを呼ぶことができない」が60.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ひとりでは避難できない」、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が62.5%と最も多く、次いで「自分では助けを呼ぶことができない」や「災害についての情報を得るのが難しい」、「通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない」が50.0%となっています。

(単位:%)

	ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に助けしてくれる人がいないことが不安	自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安	災害についての情報を得るのが難しい	通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない	避難の仕方や、避難する場所がわからない	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるか不安	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	77.2	54.3	28.9	53.0	32.3	47.0	29.3	45.7	52.2	38.4	3.4	2.2	1.3
身体障害者手帳(n=86)	80.2	58.1	31.4	70.9	24.4	33.7	25.6	59.3	52.3	64.0	2.3	2.3	0.0
愛の手帳(n=192)	81.3	60.4	30.2	54.2	32.8	49.0	32.8	45.3	55.2	36.5	3.1	2.1	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	62.5	50.0	43.8	43.8	50.0	50.0	25.0	43.8	62.5	31.3	0.0	0.0	6.3
発達障害の診断を受けている(n=61)	82.0	63.9	31.1	55.7	47.5	67.2	37.7	54.1	67.2	32.8	1.6	0.0	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	100.0	64.3	42.9	85.7	28.6	42.9	35.7	64.3	57.1	78.6	0.0	0.0	0.0

【前回調査との比較】 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「ひとりでは避難できない」が69.4%から77.2%と7.8ポイント増加し、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が44.4%から52.2%と7.8ポイント増加しています。

特に、難病(特定疾患)の診断を受けている人では、「ひとりでは避難できない」が23.1ポイント、「自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安」が24.2ポイント増加しています。

(単位:%)

		ひとりでは避難できない	自分では助けを呼ぶことができない	近所に助けしてくれる人がいないことが不安	自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安	災害についての情報を得るのが難しい	通勤や通学、通所の途中で災害にあつた場合の対応がわからない	避難の仕方や、避難する場所がわからない	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるか不安	特になし	その他	無回答
全体	今回(n=232)	77.2	54.3	28.9	53.0	32.3	47.0	29.3	45.7	52.2	38.4	3.4	2.2	1.3
	前回(n=248)	69.4	56.5	31.0	51.6	30.2	49.6	31.0	44.4	44.4	37.5	6.9	3.6	0.0
	今回-前回	7.8	-2.2	-2.1	1.4	2.1	-2.6	-1.7	1.3	7.8	0.9	-3.5	-1.4	1.3
身体障害者手帳	今回(n=86)	80.2	58.1	31.4	70.9	24.4	33.7	25.6	59.3	52.3	64.0	2.3	2.3	0.0
	前回(n=85)	77.6	64.7	35.3	67.1	40.0	44.7	31.8	67.1	45.9	65.9	2.4	1.2	0.0
	今回-前回	2.6	-6.6	-3.9	3.8	-15.6	-11.0	-6.2	-7.8	6.4	-1.9	-0.1	1.1	0.0
愛の手帳	今回(n=192)	81.3	60.4	30.2	54.2	32.8	49.0	32.8	45.3	55.2	36.5	3.1	2.1	1.6
	前回(n=199)	72.9	61.8	31.7	53.8	31.7	52.3	35.2	45.2	46.7	35.7	7.0	4.5	0.0
	今回-前回	8.4	-1.4	-1.5	0.4	1.1	-3.3	-2.4	0.1	8.5	0.8	-3.9	-2.4	1.6
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	62.5	50.0	43.8	43.8	50.0	50.0	25.0	43.8	62.5	31.3	0.0	0.0	6.3
	前回(n=17)	58.8	41.2	29.4	52.9	29.4	70.6	35.3	35.3	70.6	41.2	5.9	5.9	0.0
	今回-前回	3.7	8.8	14.4	-9.1	20.6	-20.6	-10.3	8.5	-8.1	-9.9	-5.9	-5.9	6.3
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	82.0	63.9	31.1	55.7	47.5	67.2	37.7	54.1	67.2	32.8	1.6	0.0	3.3
	前回(n=68)	77.9	60.3	36.8	47.1	30.9	66.2	36.8	44.1	51.5	27.9	4.4	1.5	0.0
	今回-前回	4.1	3.6	-5.7	8.6	16.6	1.0	0.9	10.0	15.7	4.9	-2.8	-1.5	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	100.0	64.3	42.9	85.7	28.6	42.9	35.7	64.3	57.1	78.6	0.0	0.0	0.0
	前回(n=13)	76.9	53.8	38.5	61.5	38.5	53.8	46.2	53.8	46.2	76.9	7.7	0.0	0.0
	今回-前回	23.1	10.5	4.4	24.2	-9.9	-10.9	-10.5	10.5	10.9	1.7	-7.7	0.0	0.0

問18 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

災害のときに必要とする支援は、身体障害者手帳を持つ人は「薬や医療的ケアの確保」が67.4%と最も多く、次いで「障害に対応した避難所の確保」が66.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「障害に対応した避難所の確保」が65.6%と最も多く、次いで「避難のための介助や支援」が59.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「障害に対応した避難所の確保」が75.0%と最も多く、次いで「障害に応じた災害情報の伝達」、「薬や医療的ケアの確保」が50.0%となっています。

(単位:%)

	障害に応じた災害情報の伝達	見守りや安否の確認	避難のための介助や支援	自宅や避難所での介助や支援	障害に対応した避難所の確保	薬や医療的ケアの確保	特になし	その他	無回答
全体(n=232)	44.4	48.7	55.6	54.3	63.4	43.5	4.7	3.4	2.6
身体障害者手帳(n=86)	39.5	39.5	62.8	65.1	66.3	67.4	4.7	3.5	0.0
愛の手帳(n=192)	45.8	52.1	59.4	58.3	65.6	41.1	3.1	3.1	3.1
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	50.0	31.3	31.3	31.3	75.0	50.0	6.3	0.0	6.3
発達障害の診断を受けている(n=61)	52.5	57.4	59.0	62.3	78.7	42.6	3.3	3.3	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	28.6	42.9	71.4	64.3	50.0	78.6	0.0	7.1	0.0

4-6 住まいについて

問19 あなたのお住まいをお聞きします。(○はひとつ)

お住まいの状況は、手帳の種類に関係なく「持家(一戸建て)」が最も多く、次いで多い住まいは、身体障害者手帳を持つ人では「持家(集合住宅)」が17.4%、愛の手帳を持つ人では「持家(集合住宅)」が17.2%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人では「民間賃貸住宅(集合住宅)」が25.0%と多くなっています。

(単位:%)

	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	公営住宅(都営・市営)	公社・公団賃貸住宅	グループホームなど	入所施設	その他	無回答
全体(n=232)	56.0	17.2	2.6	13.4	5.6	2.6	0.0	1.3	0.9	0.4
身体障害者手帳(n=86)	57.0	17.4	2.3	9.3	7.0	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0
愛の手帳(n=192)	55.7	17.2	2.6	13.0	6.3	2.6	0.0	1.6	0.5	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	62.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	62.3	13.1	3.3	18.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	71.4	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問20 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

住宅に関して困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「階段の昇り降り」が31.4%と最も多く、次いで「玄関・出入口の段差」が29.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「階段の昇り降り」が13.0%と最も多く、次いで「玄関・出入口の段差」が12.5%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「家賃など住宅費の負担」が18.8%と最も多く、次いで「住宅を借りるのが難しい」が12.5%となっています。

なお、全体では「特になく、満足している」が50.9%で「特になく、満足している」と「無回答」を除く43.5%が何らかの困りごとがあると回答しています。

(単位:%)

	階段の昇り降り	玄関・出入口の段差	入口や廊下が狭い	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	住宅を借りるのが難しい	特になく、満足している	その他	無回答
全体(n=232)	13.8	12.5	7.8	9.1	3.9	9.1	11.2	3.9	50.9	5.6	5.6
身体障害者手帳(n=86)	31.4	29.1	18.6	22.1	9.3	11.6	14.0	3.5	34.9	4.7	1.2
愛の手帳(n=192)	13.0	12.5	7.3	9.9	3.1	8.9	10.9	3.1	51.0	5.7	5.7
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	56.3	0.0	12.5
発達障害の診断を受けている(n=61)	9.8	6.6	3.3	3.3	1.6	6.6	11.5	8.2	52.5	4.9	4.9
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	35.7	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

問21 あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。
(〇はいくつでも)

住宅に関して行政が今後どのような取り組むべきことでは、身体障害者手帳を持つ人は「住宅改修費の助成を充実する」が52.3%と最も多く、次いで「障害者向け住宅の整備を促進する」が44.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「グループホームなどの整備を促進する」が53.6%と最も多く、次いで「家賃の助成をする」が46.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「家賃の助成をする」が43.8%と最も多く、次いで「住宅改修費の助成を充実する」や「公営住宅を障害者が利用しやすくする」、「グループホームなどの整備を促進する」が31.3%となっています。

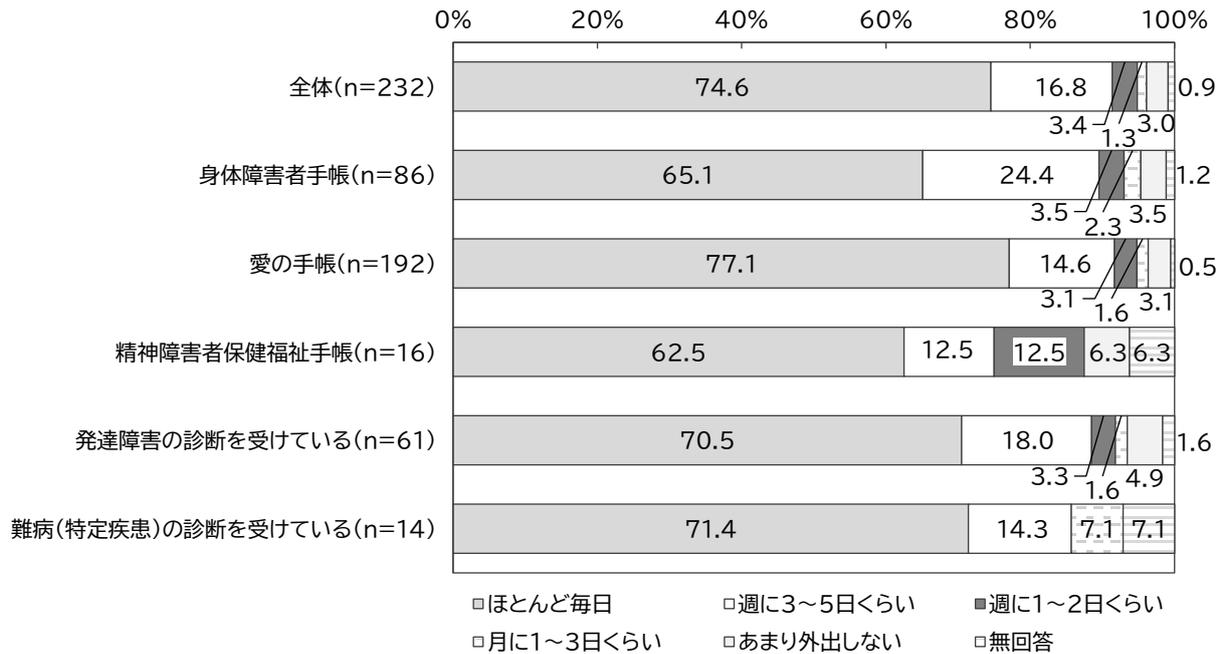
(単位:%)

	住宅改修費の助成を充実する	公営住宅を障害者が利用しやすくする	公営住宅の入居の優先枠を拡充する	障害者向け住宅の整備を促進する	単身者向け住宅の整備を促進する	グループホームなどの整備を促進する	家賃の助成をする	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	35.3	25.0	19.4	40.1	11.6	46.6	44.4	12.5	3.4	2.2
身体障害者手帳(n=86)	52.3	18.6	15.1	44.2	4.7	32.6	39.5	11.6	4.7	2.3
愛の手帳(n=192)	35.9	26.0	19.8	43.8	12.0	53.6	46.9	9.4	3.1	1.0
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	31.3	31.3	25.0	25.0	25.0	31.3	43.8	18.8	6.3	6.3
発達障害の診断を受けている(n=61)	42.6	36.1	19.7	54.1	19.7	57.4	54.1	6.6	3.3	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	64.3	7.1	7.1	50.0	0.0	50.0	21.4	0.0	0.0	0.0

4-7 外出について

問22 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

外出する頻度は、「ほとんど毎日」や「週に3～5日くらい」と回答の、身体障害者手帳を持つ人は89.5%、愛の手帳を持つ人は91.7%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は75.0%と多くなっています。一方、「あまり外出しない」は身体障害者手帳を持つ人で3.5%、愛の手帳を持つ人は3.1%、精神障害者保健福祉手帳を持つ人は6.3%となっています。



問23 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。(〇はいくつでも)

外出の目的は、手帳の種類に関係なく「通学・通園」が8割～9割と最も多くなっています。

身体障害者手帳を持つ人は「通院」が55.8%、「訓練・リハビリ」が43.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「買物」が40.1%、「通院」が35.9%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「通院」、「買物」が43.8%、「趣味活動・遊び」が31.3%となっています。

(単位:%)

	通学・通園	施設への通所	通院	訓練・リハビリ	買物	趣味活動・遊び	スポーツ・運動・レクリエーション	友だちとの交流	旅行	あまり外出しない	その他	無回答
全体(n=232)	91.8	31.5	37.1	21.1	42.2	33.2	12.1	12.9	8.6	0.4	3.9	0.4
身体障害者手帳(n=86)	84.9	32.6	55.8	43.0	41.9	24.4	7.0	14.0	7.0	1.2	7.0	1.2
愛の手帳(n=192)	92.7	33.9	35.9	21.4	40.1	32.8	13.0	9.4	9.4	0.5	2.6	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	93.8	12.5	43.8	12.5	43.8	31.3	18.8	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	91.8	37.7	34.4	13.1	42.6	37.7	14.8	8.2	13.1	0.0	0.0	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	78.6	42.9	50.0	42.9	35.7	35.7	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1

問24 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。(〇はいくつでも)

移動手段は、身体障害者手帳を持つ人は「自動車」が70.9%と最も多く、次いで「車いす」が52.3%となっています。

愛の手帳を持つ人は「徒歩」が67.7%と最も多く、次いで「自動車」が62.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「徒歩」が75.0%と最も多く、次いで「電車」が68.8%となっています。

(単位:%)

	徒歩	ベビーカー	車いす	電動車いす	自転車	オートバイ	自動車	電車	路線バス	スクールバス	一般のタクシー	リフト付きタクシー
全体(n=232)	65.5	5.2	19.8	0.0	11.2	0.0	61.6	41.4	35.8	36.6	8.6	0.9
身体障害者手帳(n=86)	38.4	14.0	52.3	0.0	4.7	0.0	70.9	27.9	24.4	34.9	11.6	2.3
愛の手帳(n=192)	67.7	2.1	19.8	0.0	11.5	0.0	62.0	39.6	35.4	42.7	7.3	1.0
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	75.0	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	43.8	68.8	43.8	12.5	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	85.2	1.6	4.9	0.0	11.5	0.0	65.6	47.5	42.6	39.3	4.9	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	35.7	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	64.3	35.7	42.9	35.7	0.0	0.0

(単位:%)

	市のリフト付き自動車(わかしま号)	あまり外出しない	その他	無回答
全体(n=232)	0.4	0.4	0.4	0.4
身体障害者手帳(n=86)	1.2	1.2	1.2	1.2
愛の手帳(n=192)	0.5	0.5	0.5	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	0.0	0.0	0.0	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	0.0	0.0	0.0	7.1

問25 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

外出時に困ることは、身体障害者手帳を持つ人は「建物の段差・階段・設備」が48.8%と最も多く、次いで「歩道や道路の段差や幅」が47.7%となっています。
 愛の手帳を持つ人は「困ったときはどうすればいいか不安」が48.4%と最も多く、次いで「駅での移動や乗り替え」が34.9%となっています。
 精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「困ったときはどうすればいいか不安」が75.0%と最も多く、次いで「発作など突然の心身の変化」が31.3%となっています。

(単位:%)

	付き添ってくれる人(移動支援するヘルパーを含む)がない	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分でない	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り替え	駅での券売機の利用	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい	公共交通機関が少ない	トイレの利用
全体(n=232)	19.8	21.1	6.0	0.9	21.1	33.6	11.2	12.9	13.8	3.9	26.3
身体障害者手帳(n=86)	19.8	47.7	9.3	2.3	48.8	39.5	5.8	20.9	4.7	2.3	41.9
愛の手帳(n=192)	21.4	20.3	4.7	0.5	19.3	34.9	12.5	12.5	13.5	4.7	27.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5
発達障害の診断を受けている(n=61)	19.7	13.1	3.3	1.6	9.8	29.5	9.8	9.8	21.3	0.0	24.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	7.1	35.7	7.1	7.1	28.6	50.0	0.0	21.4	7.1	0.0	35.7

(単位:%)

	休憩場所がない	障害者用駐車場が少ない	交通費の負担	発作など突然の心身の変化	多動やこだわりのため、安全確保等が難しい	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいいか不安	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	11.6	15.1	16.8	15.1	23.3	26.3	45.7	12.9	8.2	0.4
身体障害者手帳(n=86)	20.9	31.4	15.1	25.6	11.6	23.3	26.7	10.5	11.6	0.0
愛の手帳(n=192)	9.9	14.6	16.7	14.1	27.1	27.6	48.4	12.0	6.3	0.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	6.3	0.0	25.0	31.3	25.0	25.0	75.0	6.3	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	13.1	6.6	18.0	18.0	41.0	34.4	63.9	4.9	8.2	0.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	14.3	21.4	21.4	28.6	21.4	14.3	28.6	7.1	14.3	0.0

【前回調査との比較】 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、全体では、「駅での移動や乗り替え」が24.6%から33.6%と9.0ポイント増加し、「困ったときどうすればいいか不安」が39.1%から45.7%と6.6ポイント増加しています。特に、「駅での移動や乗り替え」は、精神障害者保健福祉手帳所持者で12.9ポイント、難病(特定疾患)の診断を受けている人で11.5ポイント増加しています。

(単位:%)

		付き添ってくれる人(移動支援するヘルパーを含む)がいな	歩道や道路の段差や幅	横断用の信号の時間が短い	音響式信号機の設置が十分でない	建物の段差・階段・設備	駅での移動や乗り替え	駅での券売機の利用	バスやタクシーの乗り降り	電車やバス内などでアナウンスがわかりにくい	公共交通機関が少ない	トイレの利用
全体	今回(n=232)	19.8	21.1	6.0	0.9	21.1	33.6	11.2	12.9	13.8	3.9	26.3
	前回(n=248)	19.0	18.1	8.1	2.0	16.1	24.6	10.9	9.7	10.5	4.4	25.0
	今回-前回	0.8	3.0	-2.1	-1.1	5.0	9.0	0.3	3.2	3.3	-0.5	1.3
身体障害者手帳	今回(n=86)	19.8	47.7	9.3	2.3	48.8	39.5	5.8	20.9	4.7	2.3	41.9
	前回(n=85)	23.5	41.2	15.3	4.7	37.6	34.1	9.4	16.5	5.9	3.5	44.7
	今回-前回	-3.7	6.5	-6.0	-2.4	11.2	5.4	-3.6	4.4	-1.2	-1.2	-2.8
愛の手帳	今回(n=192)	21.4	20.3	4.7	0.5	19.3	34.9	12.5	12.5	13.5	4.7	27.6
	前回(n=199)	22.1	17.1	8.0	1.5	15.1	25.1	12.1	10.1	12.1	4.5	26.6
	今回-前回	-0.7	3.2	-3.3	-1.0	4.2	9.8	0.4	2.4	1.4	0.2	1.0
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	12.5
	前回(n=17)	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	17.6
	今回-前回	0.7	-11.8	-5.5	0.0	0.0	12.9	6.3	6.3	19.1	0.0	-5.1
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	19.7	13.1	3.3	1.6	9.8	29.5	9.8	9.8	21.3	0.0	24.6
	前回(n=68)	13.2	13.2	5.9	1.5	5.9	23.5	13.2	2.9	11.8	2.9	19.1
	今回-前回	6.5	-0.1	-2.6	0.1	3.9	6.0	-3.4	6.9	9.5	-2.9	5.5
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	7.1	35.7	7.1	7.1	28.6	50.0	0.0	21.4	7.1	0.0	35.7
	前回(n=13)	23.1	30.8	7.7	7.7	30.8	38.5	7.7	23.1	15.4	7.7	46.2
	今回-前回	-16.0	4.9	-0.6	-0.6	-2.2	11.5	-7.7	-1.7	-8.3	-7.7	-10.5

(単位:%)

		休憩場所がない	障害者用駐車場が少ない	交通費の負担	身の変化	発作など突然の心	多動やこだわり等が難しい	周囲の目が気になる	困ったときどうすればいいか不安	特にな	その他	無回答
全体	今回(n=232)	11.6	15.1	16.8	15.1	23.3	26.3	45.7	12.9	8.2	0.4	
	前回(n=248)	11.3	16.9	14.9	10.9	24.2	22.6	39.1	19.8	5.2	1.6	
	今回-前回	0.3	-1.8	1.9	4.2	-0.9	3.7	6.6	-6.9	3.0	-1.2	
身体障害者手帳	今回(n=86)	20.9	31.4	15.1	25.6	11.6	23.3	26.7	10.5	11.6	0.0	
	前回(n=85)	23.5	35.3	17.6	22.4	16.5	21.2	25.9	-	-	-	
	今回-前回	-2.6	-3.9	-2.5	3.2	-4.9	2.1	0.8	10.5	11.6	0.0	
愛の手帳	今回(n=192)	9.9	14.6	16.7	14.1	27.1	27.6	48.4	12.0	6.3	0.5	
	前回(n=199)	10.6	17.6	16.1	9.0	26.6	23.1	42.7	-	-	-	
	今回-前回	-0.7	-3.0	0.6	5.1	0.5	4.5	5.7	12.0	6.3	0.5	
精神障害者保健福祉手帳	今回(n=16)	6.3	0.0	25.0	31.3	25.0	25.0	75.0	6.3	6.3	0.0	
	前回(n=17)	11.8	11.8	17.6	23.5	52.9	52.9	58.8	-	-	-	
	今回-前回	-5.5	-11.8	7.4	7.8	-27.9	-27.9	16.2	6.3	6.3	0.0	
発達障害の診断を受けている	今回(n=61)	13.1	6.6	18.0	18.0	41.0	34.4	63.9	4.9	8.2	0.0	
	前回(n=68)	7.4	8.8	17.6	14.7	39.7	35.3	57.4	-	-	-	
	今回-前回	5.7	-2.2	0.4	3.3	1.3	-0.9	6.5	4.9	8.2	0.0	
難病(特定疾患)の診断を受けている	今回(n=14)	14.3	21.4	21.4	28.6	21.4	14.3	28.6	7.1	14.3	0.0	
	前回(n=13)	30.8	15.4	30.8	23.1	15.4	30.8	46.2	-	-	-	
	今回-前回	-16.5	6.0	-9.4	5.5	6.0	-16.5	-17.6	7.1	14.3	0.0	

4-8 権利擁護について

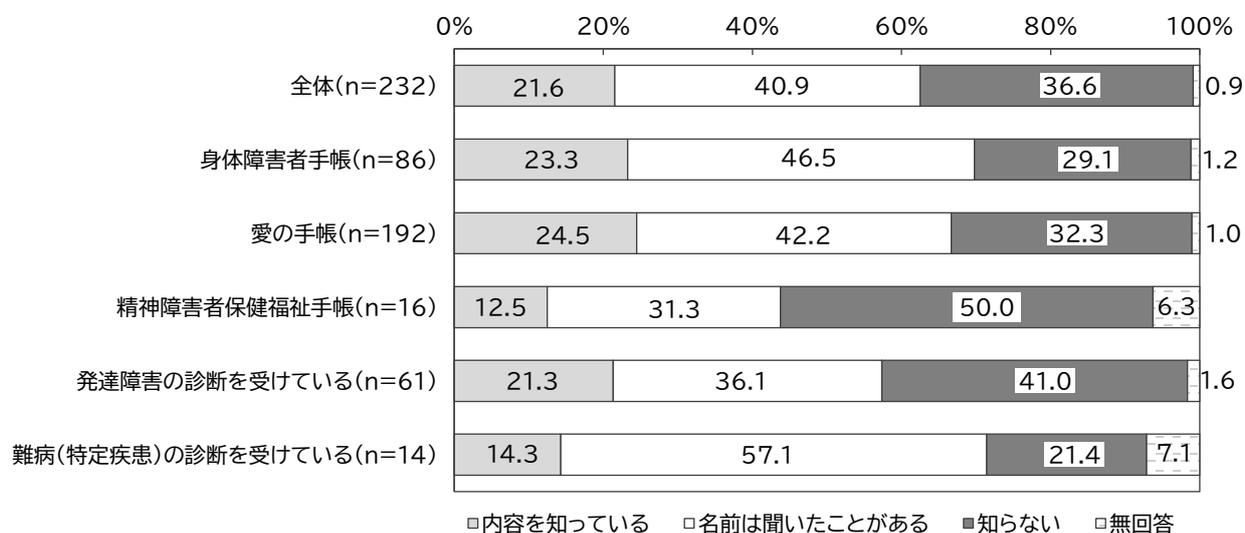
問26 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

① 成年後見制度

成年後見制度について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が23.3%、「名前は聞いたことがある」が46.5%、「知らない」が29.1%となっています。

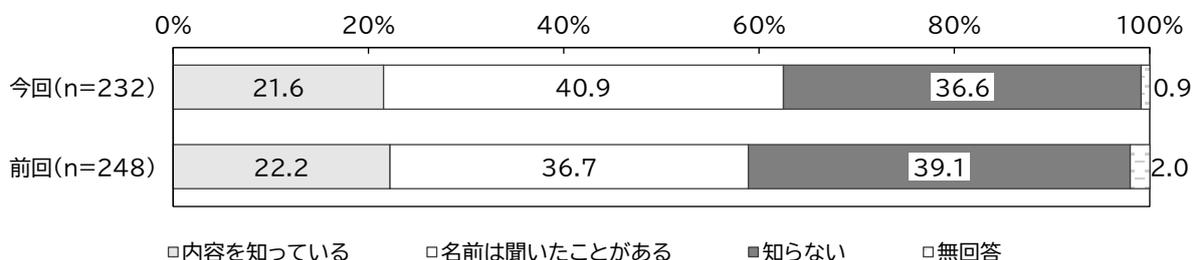
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が24.5%、「名前は聞いたことがある」が42.2%、「知らない」が32.3%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が12.5%、「名前は聞いたことがある」が31.3%、「知らない」が50.0%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人(「内容を知っている」「名前は聞いたことがある」の合計。以下、同じ。)は58.9%から62.5%と3.6ポイント増加しています。



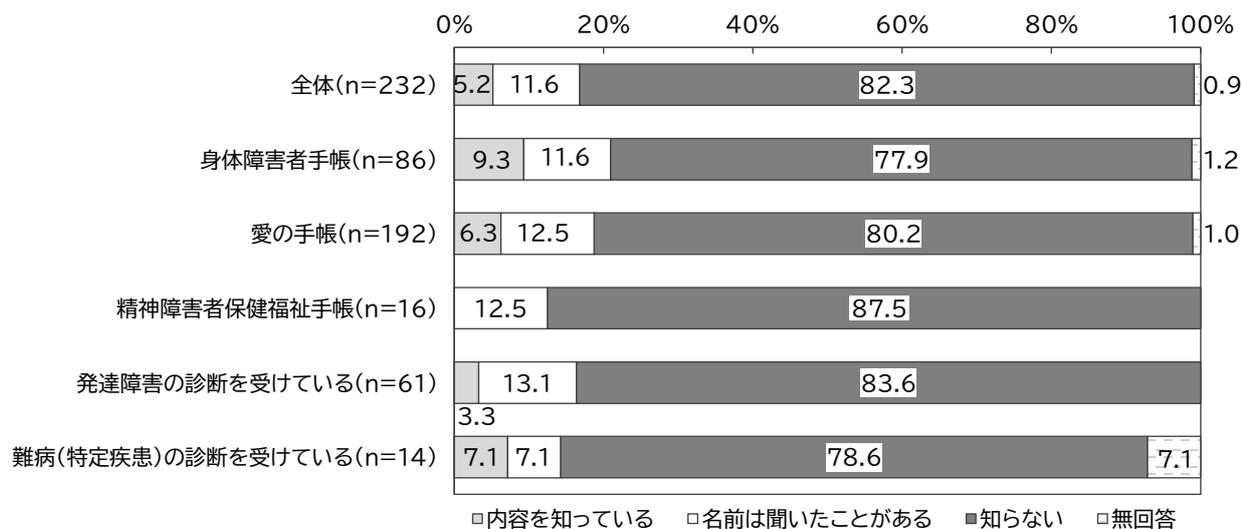
問26 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

② 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が9.3%、「名前は聞いたことがある」が11.6%、「知らない」が77.9%となっています。

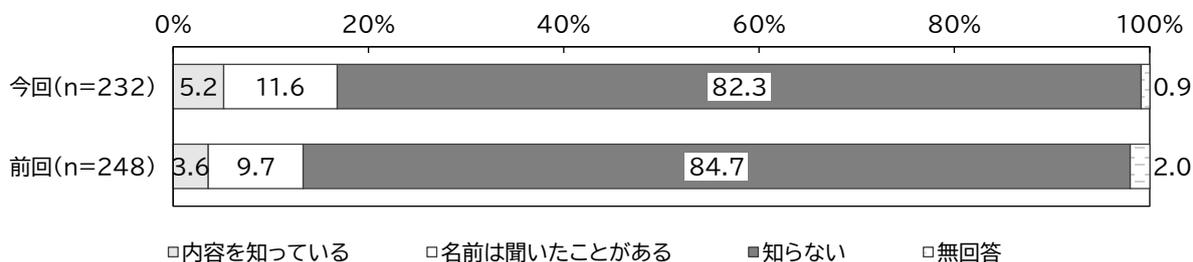
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が6.3%、「名前は聞いたことがある」が12.5%、「知らない」が80.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「名前は聞いたことがある」が12.5%、「知らない」が87.5%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は13.3%から16.8%と3.5ポイント増加しています。



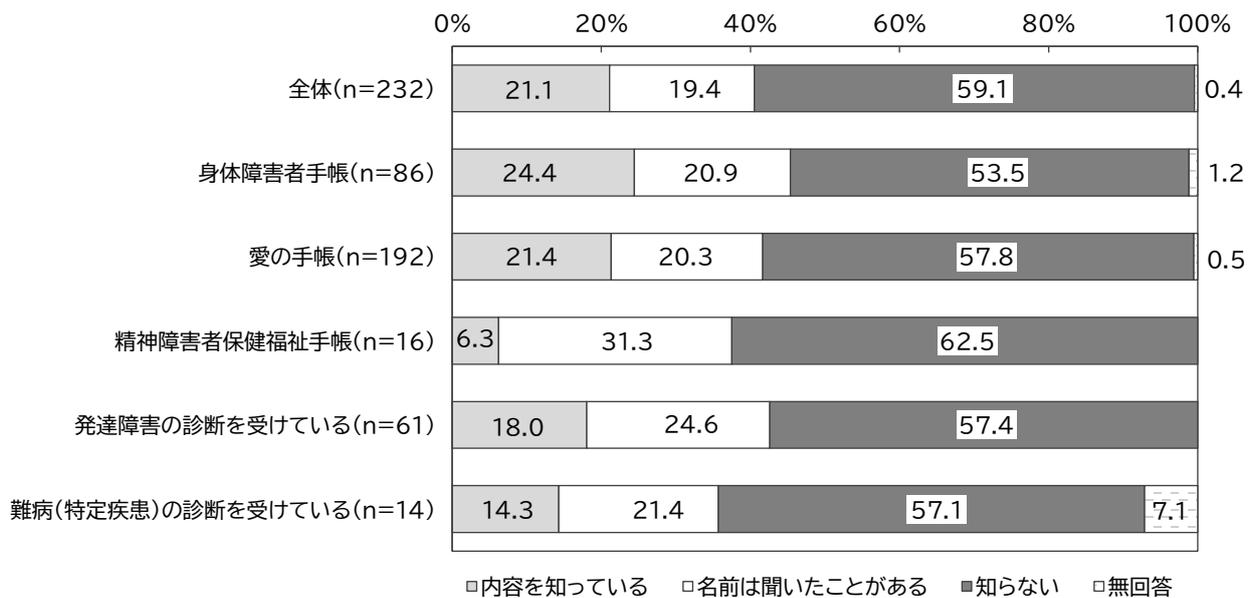
問26 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

③ 障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）

障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が24.4%、「名前は聞いたことがある」が20.9%、「知らない」が53.5%となっています。

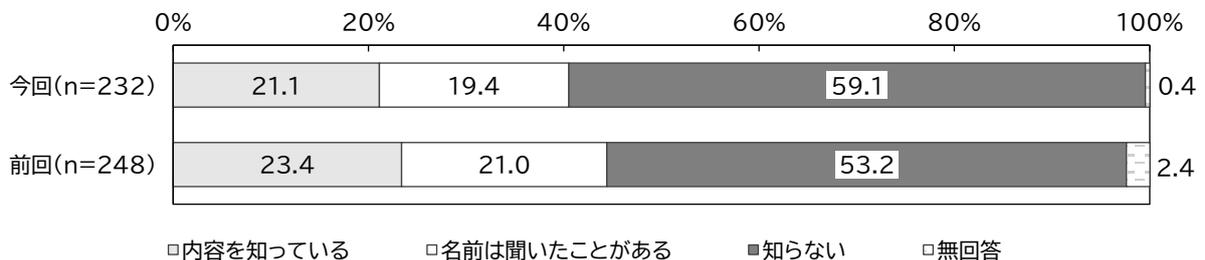
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が21.4%、「名前は聞いたことがある」が20.3%、「知らない」が57.8%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「内容を知っている」が6.3%、「名前は聞いたことがある」が31.3%、「知らない」が62.5%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は44.4%から40.5%と3.9ポイント減少しています。



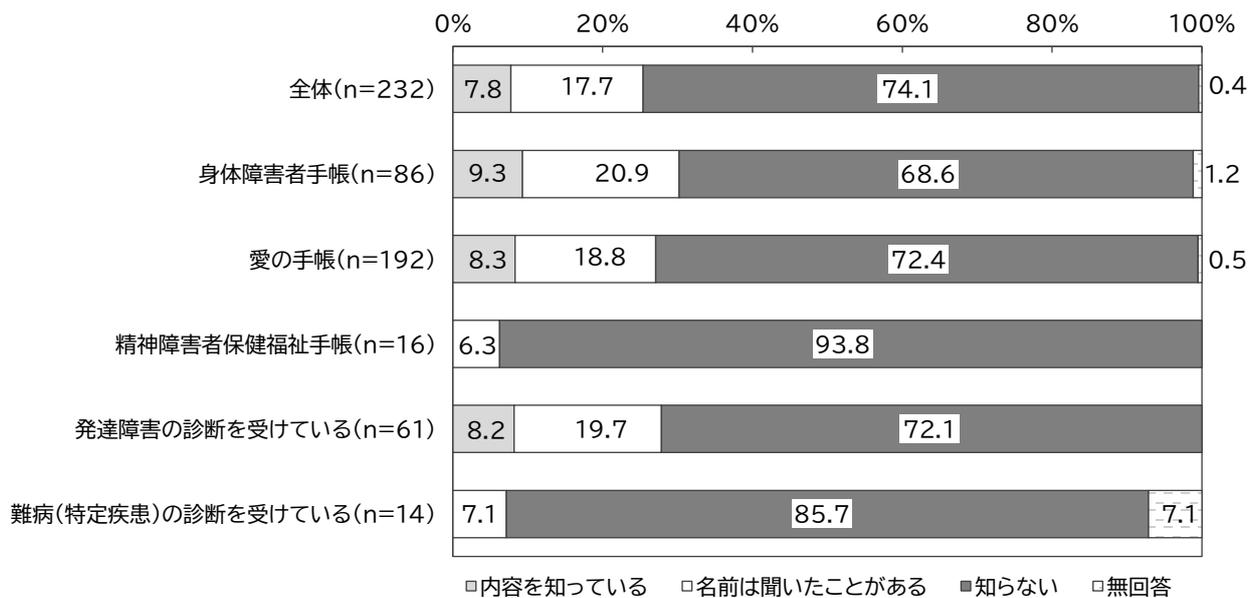
問26 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

④ 障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例（差別禁止条例）

八王子づくり条例（差別禁止条例）について、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が9.3%、「名前は聞いたことがある」が20.9%、「知らない」が68.6%となっています。

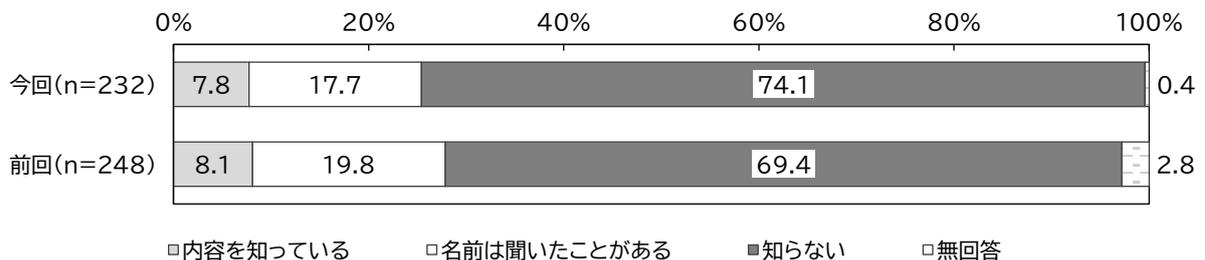
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が8.3%、「名前は聞いたことがある」が18.8%、「知らない」が72.4%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「名前は聞いたことがある」が6.3%、「知らない」が93.8%となっています。



前回調査との比較

前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は44.4%から40.5%と3.9ポイント減少しています。



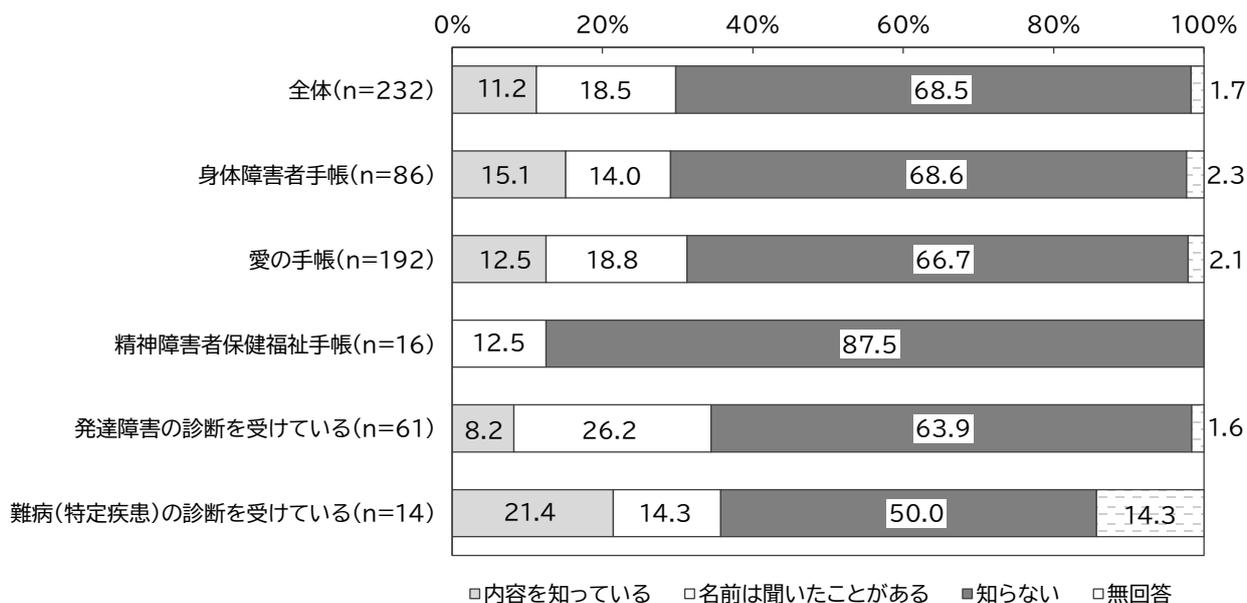
問26 あなたは次のような権利擁護の取り組みを知っていますか。(〇はひとつ)

⑤ 八王子市障害者虐待防止センター

八王子市障害者虐待防止センターについて、身体障害者手帳を持つ人は「内容を知っている」が15.1%、「名前は聞いたことがある」が14.0%、「知らない」が68.6%となっています。

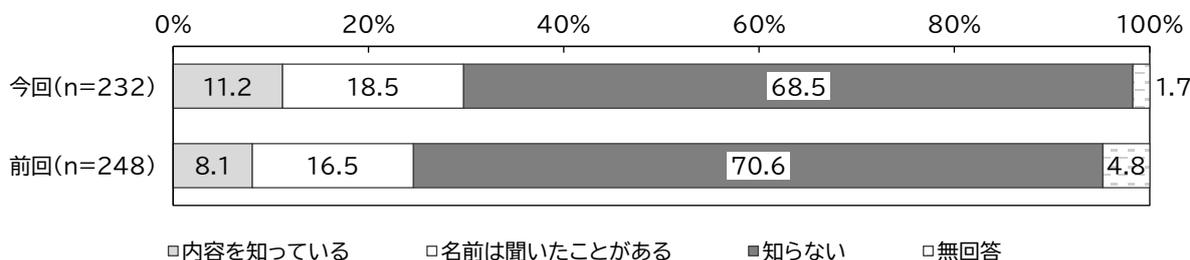
愛の手帳を持つ人は「内容を知っている」が12.5%、「名前は聞いたことがある」が18.8%、「知らない」が66.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「名前は聞いたことがある」が12.5%、「知らない」が87.5%となっています。



前回調査との比較

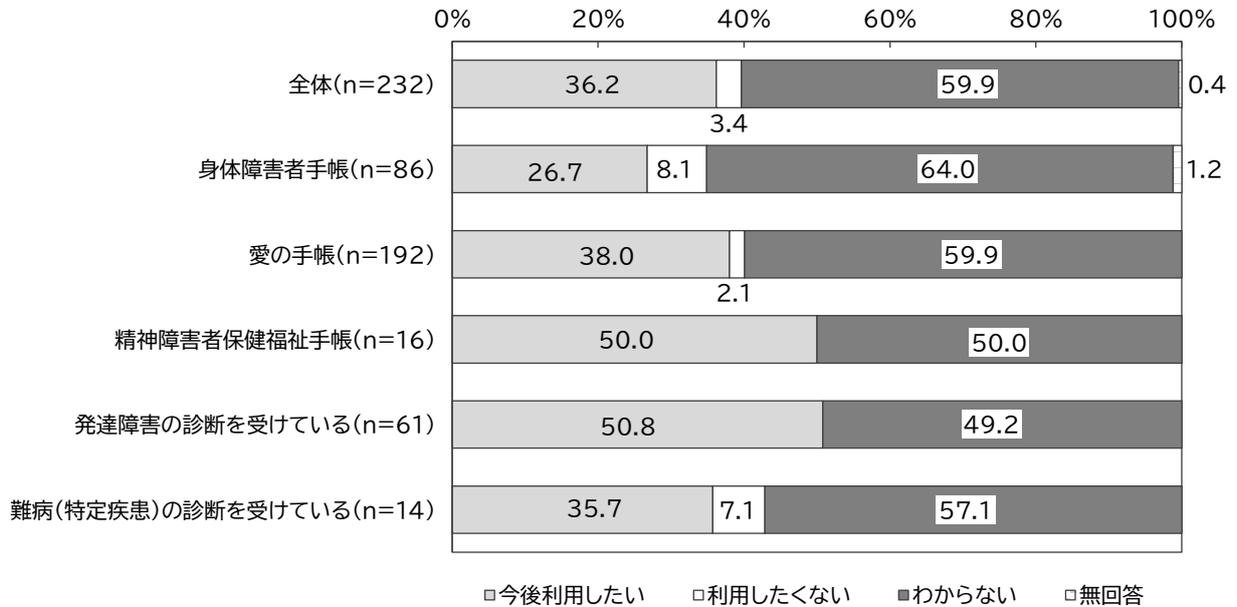
前回(平成30年3月)調査結果と比較すると、知っている人は24.6%から29.7%と5.1ポイント増加しています。



問27 あなたは今後、成年後見制度を利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

成年後見制度の利用意向について、手帳の種類に関係なく「わからない」が最も多くなっています。
 身体障害者手帳を持つ人は「今後利用したい」が26.7%、「利用したくない」が8.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「今後利用したい」が38.0%、「利用したくない」が2.1%となっています。
 精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「今後利用したい」が50.0%となっています。



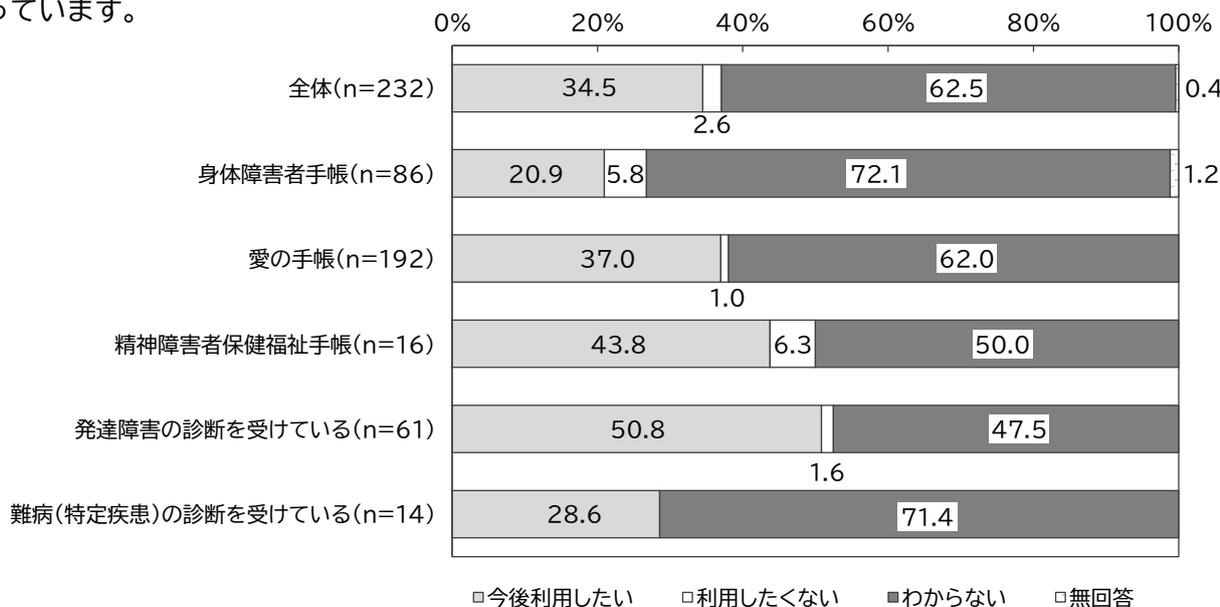
問28 あなたは今後、地域福祉権利擁護事業を利用したいと思いますか。(〇はひとつ)

地域福祉権利擁護事業を利用意向について、手帳の種類に関係なく「わからない」が最も多くなっています。

身体障害者手帳を持つ人は「今後利用したい」が20.9%、「利用したくない」が5.8%となっています。

愛の手帳を持つ人は「今後利用したい」が37.0%、「利用したくない」が1.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「今後利用したい」が43.8%、「利用したくない」が6.3%となっています。

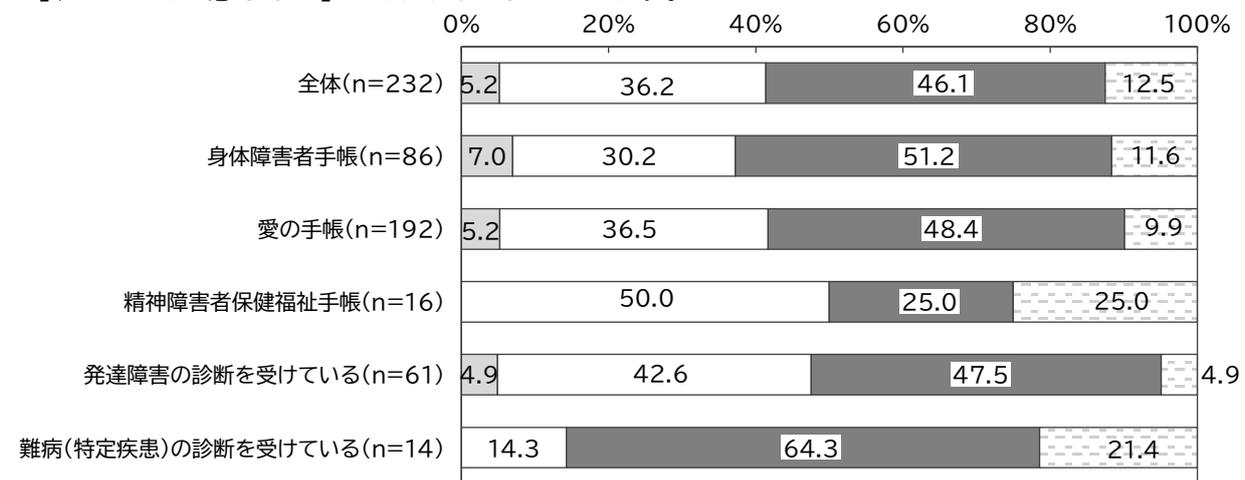


問29 あなたやご家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(〇はひとつ)

差別や人権侵害などを感じるかは、身体障害者手帳を持つ人は「あまり感じない」が51.2%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が30.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「あまり感じない」が48.4%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が36.5%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ときどき感じる」が50.0%と最も多く、次いで「あまり感じない」、「まったく感じない」が25.0%となっています。



□いつも感じる □ときどき感じる ■あまり感じない □まったく感じない □無回答

問30 問29で「1 いつも感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。
差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときですか。具体的にお書きください。

どのようなときに、差別や人権侵害を受けていると感じるかについては、80名の方から回答がありました。各意見を、内容ごとに分類した結果を以下に示します。

なお、お一人の回答者が複数のご意見を述べられた場合は、それぞれで集計したため、累計回答数は97件となり、回答者数より多くなっています。

主な意見	件数
1.仕事をする、しようとするとき	1
2.施設を利用するとき	1
3.病院で受診するとき	8
4.保険や制度を利用するとき	1
5.学校生活をするとき	26
6.公共交通機関を利用するとき	13
7.お店などを利用するとき	7
8.日常生活で他者とかがわるとき	32
9.家族・親族とかがわるとき	2
10.近隣とかがわるとき	2
11.ネットに書き込まれたとき	0
12.言いたくない(理解してもらえない)	1
99.その他	3
合計	97

問31 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなことが必要だと思いますか。
 具体的にお書きください。

障害による差別や人権侵害をなくすために必要なことについては、134名の方から回答がありました。
 各意見を、内容ごとに分類した結果を以下に示します。

なお、お一人の回答者が複数のご意見を述べられた場合は、それぞれで集計したため、累計回答数は
 147件となり、回答者数より多くなっています。

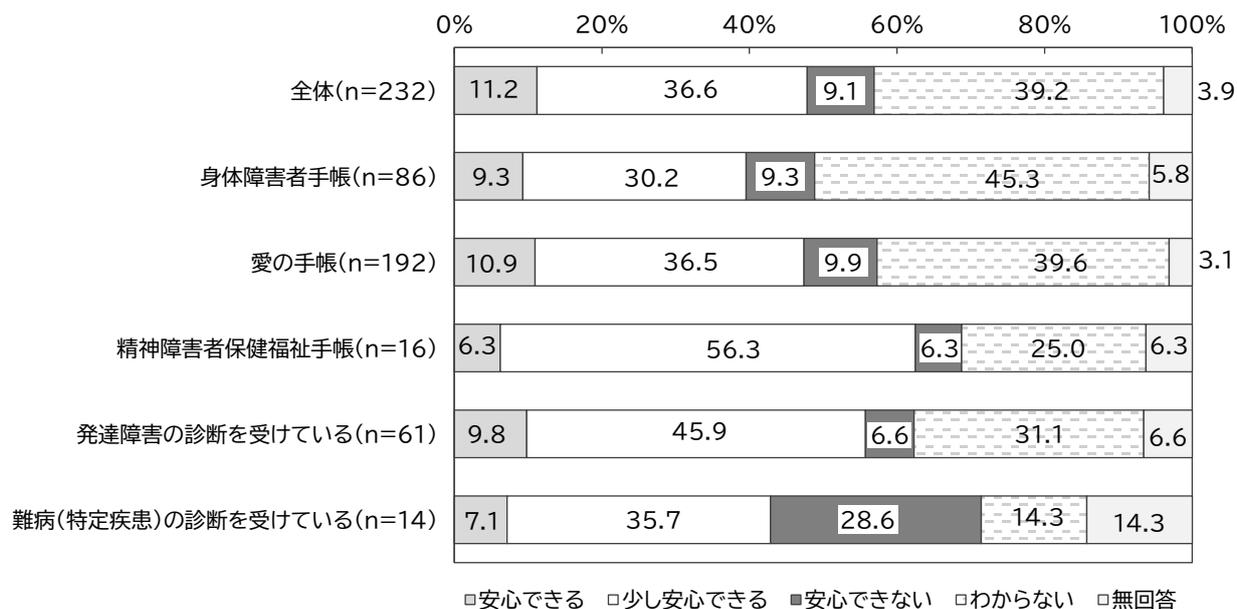
主な意見	件数
1.小さい頃からの交流と教育が必要	43
2.理解することが必要	12
3.知る、知ってもらうことが必要	11
4.交流する、交流の場をつくることが必要	11
5.思いやり・やさしさ・心のゆとりが必要	9
6.広報・啓蒙活動が必要	16
7.相談窓口や支援者が必要	3
8.法律・制度・行政・福祉サービスの改善・充実が必要	8
9.暮らしやすい街づくりが必要	0
10.自身の行動も必要	7
11.共生があたりまえになることが必要	11
12.障害という表現の改善が必要	2
13.労働環境など、社会的居場所が必要	2
14.教師の育成が必要	2
15.無理・なくならない・難しい・今のまま	8
16.よくわからない	2
99.その他	0
合計	147

問32 あなたが差別を受けたときや虐待があったときは、市や相談支援事業者に相談などをすることができます。この制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。(○はひとつ)

相談制度があることの安心感は、身体障害者手帳を持つ人は「わからない」が45.3%と最も多く、次いで「少し安心できる」が30.2%となっています。

愛の手帳を持つ人は「わからない」が39.6%と最も多く、次いで「少し安心できる」が36.5%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「少し安心できる」が56.3%と最も多く、次いで「わからない」が25.0%となっています。



4-9 教育・療育について

問33 あなたは平日の日中、どこに通っていますか。(〇はいくつでも)

平日の日中の通学状況は、身体障害者手帳を持つ人は「特別支援学校(小学部)」が30.2%と最も多く、次いで「特別支援学校(中学部)」が17.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「特別支援学校(小学部)」、「特別支援学校(中学部)」が21.4%と最も多く、次いで「特別支援学校(高等部)」が19.8%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「小学校(特別支援学級)」や「高等学校」、「特別支援学校(高等部)」が18.8%と最も多く、次いで「特別支援学級(中学部)」が12.5%となっています。

(単位:%)

	保育園	幼稚園	児童発達支援センター	療育施設	小学校(通常学級)	小学校(特別支援学級)	特別支援学校(小学部)	中学校(通常学級)	中学校(特別支援学級)	特別支援学校(中学部)	高等学校	特別支援学校(高等部)	その他の学校	どこにも通っていない	その他	無回答
全体(n=232)	3.9	2.2	3.9	8.2	3.4	11.2	18.1	2.2	9.5	18.5	3.4	18.1	0.4	0.9	3.0	0.9
身体障害者手帳(n=86)	9.3	2.3	3.5	14.0	3.5	3.5	30.2	3.5	3.5	17.4	3.5	9.3	0.0	1.2	2.3	1.2
愛の手帳(n=192)	1.6	1.6	4.2	5.7	2.6	12.0	21.4	1.0	10.4	21.4	1.0	19.8	0.0	0.5	2.6	1.0
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	18.8	6.3	0.0	12.5	6.3	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	1.6	1.6	6.6	4.9	3.3	16.4	18.0	1.6	16.4	13.1	1.6	16.4	1.6	1.6	4.9	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	7.1	0.0	7.1	35.7	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

問34 あなたは学校の放課後などは、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

放課後の過ごし方は、身体障害者手帳を持つ人は「家族・親族といる」が68.6%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」が43.0%となっています。

愛の手帳を持つ人は「家族・親族といる」が63.0%と最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用している」が62.0%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「家族・親族といる」が68.8%と最も多く、次いで「ひとりでいる」、「放課後等デイサービスを利用している」が、ともに31.3%となっています。

(単位:%)

	家族・親族といる	友人・知人といる	ひとりでいる	ヘルパーなどという	放課後等デイサービスを利用している	学童保育所を利用している	児童館を利用している	習い事や塾に行く	その他	無回答
全体(n=232)	65.5	11.2	12.9	0.0	53.0	3.9	0.4	10.8	11.2	1.3
身体障害者手帳(n=86)	68.6	9.3	5.8	0.0	43.0	1.2	0.0	8.1	15.1	2.3
愛の手帳(n=192)	63.0	7.8	10.9	0.0	62.0	4.2	0.5	9.4	10.4	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	68.8	25.0	31.3	0.0	31.3	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	59.0	6.6	16.4	0.0	55.7	8.2	0.0	4.9	11.5	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	71.4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0

問35 あなたには、療育や訓練について、現在困っていることや以前に困っていたことがありますか。
(〇はいくつでも)

療育や訓練について、困っている(いた)ことは、身体障害者手帳を持つ人は「通園・通所(送り迎え)が大変である」が37.2%と最も多く、次いで「療育・訓練を受けられる回数が少ない」が29.1%となっています。

愛の手帳を持つ人は「療育・訓練に関する情報が少ない」が31.8%と最も多く、次いで「通園・通所(送り迎え)が大変である」が29.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「療育・訓練に関する情報が少ない」、「通園・通所(送り迎え)が大変である」が31.3%と最も多く、次いで「療育・訓練を受けられる施設が見つからない」や「療育・訓練を受けられる回数が少ない」、「療育・訓練のための費用負担が大きい」が25.0%となっています。

(単位:%)

	療育・訓練に関する情報が少ない	療育・訓練を受けられる施設が見つからない	療育・訓練を受けられる回数が少ない	療育・訓練の内容が不十分である	療育・訓練のための費用負担が大きい	通園・通所(送り迎え)が大変である	特になし	その他	無回答
全体(n=232)	31.0	22.0	25.9	6.5	15.1	30.2	30.2	4.7	3.4
身体障害者手帳(n=86)	20.9	12.8	29.1	5.8	3.5	37.2	34.9	4.7	4.7
愛の手帳(n=192)	31.8	22.9	26.6	6.3	16.7	29.7	28.6	4.7	3.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	31.3	25.0	25.0	12.5	25.0	31.3	25.0	12.5	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	41.0	31.1	34.4	8.2	21.3	29.5	21.3	4.9	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	35.7	28.6	42.9	21.4	7.1	50.0	14.3	14.3	0.0

問36 あなたには、学校や教育について、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

学校や教育について、困っていることは、身体障害者手帳を持つ人は「学校卒業後の進路に不安がある」が52.3%と最も多く、次いで「通園・通所(送り迎え)が大変である」が27.9%となっています。

愛の手帳を持つ人は「学校卒業後の進路に不安がある」が70.3%と最も多く、次いで「通園・通所(送り迎え)が大変である」が27.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「学校卒業後の進路に不安がある」が68.8%と最も多く、次いで「今後の学校選択で迷っている」、「通園・通所(送り迎え)が大変である」が31.3%となっています。

(単位:%)

	教育に関する情報が少ない	教職員の指導の仕方が心配	学校のカリキュラムが本人に合わない	友だちとの関係づくりに問題がある	今後の学校選択で迷っている	学校卒業後の進路に不安がある	通学(送り迎え)が大変である	親などの介助者が必要	学校等のバリアフリーが十分でない	特になし	その他	無回答
全体(n=232)	13.8	19.0	8.6	11.2	19.4	65.1	28.0	17.2	3.4	13.4	6.5	1.7
身体障害者手帳(n=86)	14.0	10.5	4.7	7.0	15.1	52.3	27.9	19.8	8.1	17.4	7.0	3.5
愛の手帳(n=192)	11.5	18.2	8.9	10.4	16.7	70.3	27.6	17.2	2.6	14.1	5.7	1.6
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	12.5	25.0	18.8	12.5	31.3	68.8	31.3	18.8	0.0	6.3	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	14.8	27.9	14.8	14.8	26.2	75.4	29.5	16.4	3.3	11.5	8.2	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	7.1	7.1	0.0	7.1	14.3	28.6	28.6	21.4	7.1	35.7	0.0	7.1

問37 学校卒業後は、どのような進路を希望していますか。(〇はいくつでも)

学校卒業後の進路希望は、「わからない」を除き、身体障害者手帳を持つ人は「福祉的就労以外の通所施設に通いたい」が20.9%と最も多く、次いで「福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所)」が17.4%となっています。

愛の手帳を持つ人は「福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所)」が35.9%と最も多く、次いで「正職員として働きたい」が17.2%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所)」が31.3%と最も多く、次いで「大学・短大などに進学したい」や「専門学校などに進学したい」、「正職員として働きたい」が18.8%となっています。

(単位:%)

	大学・短大などに進学したい	専門学校などに進学したい	職業訓練学校などに進学したい	正職員として働きたい	パート・アルバイトなどで働きたい	福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))	福祉的就労以外の通所施設に通いたい	わからない	その他	無回答
全体(n=232)	10.3	10.3	11.6	17.2	4.7	31.0	14.7	29.7	3.4	1.7
身体障害者手帳(n=86)	14.0	11.6	5.8	5.8	1.2	17.4	20.9	40.7	3.5	2.3
愛の手帳(n=192)	5.7	7.3	12.5	17.2	5.2	35.9	16.7	27.1	3.6	2.1
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	18.8	18.8	12.5	18.8	0.0	31.3	12.5	37.5	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	6.6	8.2	19.7	21.3	6.6	37.7	11.5	24.6	3.3	3.3
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	35.7	7.1	42.9	7.1	7.1

問38 障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

一般就労するために必要だと思うことは、身体障害者手帳を持つ人は「職場の障害理解の促進」が72.1%と最も多く、次いで「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が62.8%となっています。

愛の手帳を持つ人は「障害特性に合った職業・雇用の拡大」が76.0%と最も多く、次いで「職場の障害理解の促進」が68.8%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「障害に対応した柔軟な勤務形態」、「職場での良好な人間関係」がともに75.0%と最も多く、次いで「職場の障害理解の促進」が68.8%となっています。

(単位:%)

	就労のための総合的な相談支援	働く能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就業体験	障害特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	企業の障害者雇用への理解促進	職場の障害理解の促進	職場環境のバリアフリー化	障害に対応した柔軟な勤務形態	職場に定着するための支援(ジョブコーチなど)
全体(n=232)	56.5	57.8	50.9	74.1	52.2	60.3	70.7	32.8	61.6	45.7
身体障害者手帳(n=86)	55.8	52.3	47.7	62.8	44.2	59.3	72.1	51.2	52.3	34.9
愛の手帳(n=192)	57.3	58.3	50.5	76.0	50.0	61.5	68.8	32.3	60.4	48.4
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	43.8	56.3	56.3	62.5	56.3	50.0	68.8	25.0	75.0	25.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	65.6	63.9	60.7	88.5	67.2	73.8	82.0	32.8	73.8	60.7
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	50.0	64.3	42.9	71.4	35.7	71.4	71.4	42.9	50.0	50.0

(単位:%)

	通勤手段や通勤支援の確保	職場での良好な人間関係	働く時間以外の楽しみ(友人等との交流や個人の趣味、余暇活動など)	特にない	その他	無回答
全体(n=232)	52.2	65.1	43.1	1.7	5.6	2.2
身体障害者手帳(n=86)	48.8	57.0	32.6	2.3	4.7	4.7
愛の手帳(n=192)	52.6	65.1	43.2	1.6	6.3	2.1
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	31.3	75.0	31.3	0.0	6.3	0.0
発達障害の診断を受けている(n=61)	50.8	77.0	50.8	0.0	8.2	1.6
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	50.0	64.3	14.3	0.0	14.3	0.0

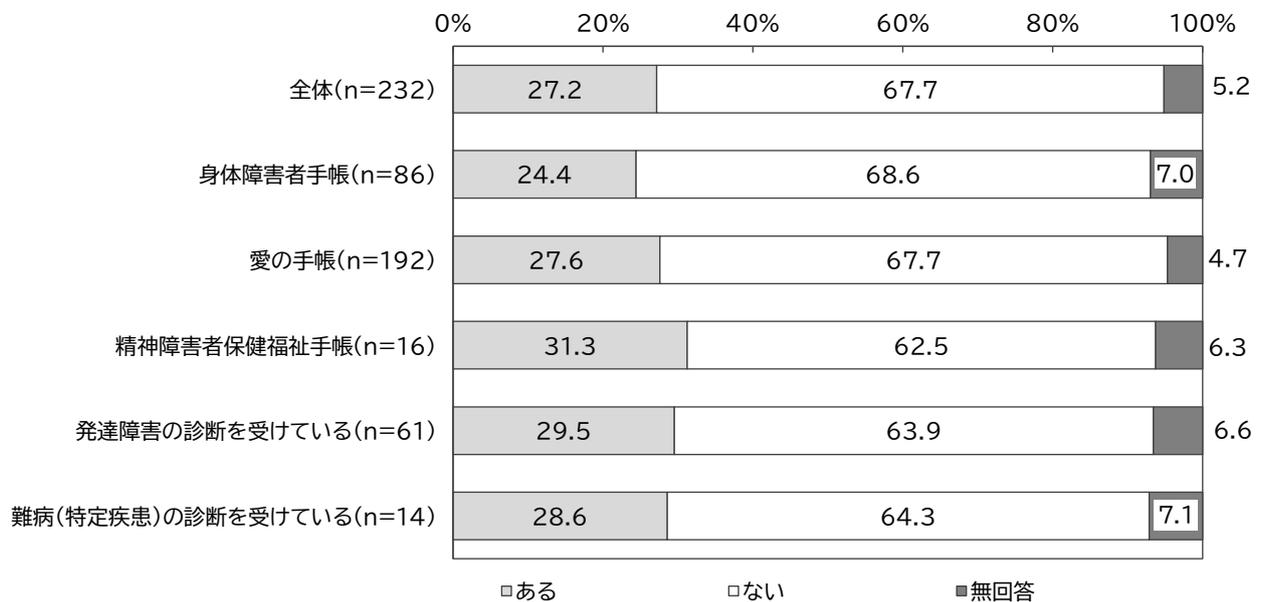
4-10 切れ目ない支援について

問39 八王子市では、乳幼児期から就学、進学、就労などライフステージの節目で困ることのないよう、子どもの成長や発達を記録・保存する「マイ・ファイル」を作成し、活用していきます。あなたはライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことはありますか。(○はひとつ)

ライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことがあるかは、身体障害者手帳を持つ人は「ある」が24.4%、「ない」が68.6%となっています。

愛の手帳を持つ人は「ある」が27.6%、「ない」が67.7%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「ある」が31.3%、「ない」が62.5%となっています。



問40 問39で「ある」と回答した方にお聞きします。
 困ったのはいつですか。(〇はいくつでも)

情報が引き継がれないことで困った時期は、身体障害者手帳を持つ人は「保育園等に入園するとき」、「保育園等から小学校に入学するとき」が42.9%と最も多く、次いで「小学校から中学校へ進学するとき」が23.8%となっています。

愛の手帳を持つ人は「保育園等から小学校に入学するとき」が45.3%と最も多く、次いで「小学校から中学校へ進学するとき」が39.6%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は「保育園等に入園するとき」、「保育園等から小学校に入学するとき」が60.0%と最も多く、「小学校から中学校へ進学するとき」が40.0%となっています。

(単位:%)

	保育園等に入園するとき	保育園等から小学校に入学するとき	小学校から中学校へ進学するとき	中学校から高等学校へ進学するとき	高等学校から大学等へ進学するとき	就労するとき	無回答
全体(n=63)	30.2	44.4	36.5	14.3	1.6	4.8	11.1
身体障害者手帳(n=21)	42.9	42.9	23.8	14.3	0.0	0.0	19.0
愛の手帳(n=53)	28.3	45.3	39.6	15.1	1.9	3.8	11.3
精神障害者保健福祉手帳(n=5)	60.0	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
発達障害の診断を受けている (n=18)	33.3	66.7	44.4	11.1	0.0	5.6	5.6
難病(特定疾患)の診断を受けている (n=4)	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0

4-11 施策について

問41 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、行政に力を入れてほしい施策は身体障害者手帳を持つ人は「障害に対する理解の促進」が59.3%と最も多く、次いで「短期入所の充実」が53.5%となっています。

愛の手帳を持つ人は「年金や手当などの経済的支援の充実」が68.2%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」が64.1%となっています。

精神障害者保健福祉手帳を持つ人は、「雇用・就労支援の充実」、「年金や手当などの経済的支援の充実」がともに68.8%と最も多く、次いで「障害に対する理解の促進」、「教育・育成の充実」がともに62.5%となっています。

(単位:%)

	障害に対する理解の促進	保健・医療の充実	教育・育成の充実	雇用・就労支援の充実	相談支援体制の充実	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの充実	放課後等デイサービスの拡充	児童発達支援センターの拡充	児童発達支援事業所の拡充	移動支援の充実(通勤・通学を含む)	短期入所の充実
全体(n=232)	63.8	43.1	44.0	60.8	40.9	17.7	21.1	39.7	22.0	17.7	50.0	34.5
身体障害者手帳(n=86)	59.3	51.2	38.4	43.0	33.7	25.6	19.8	41.9	17.4	15.1	50.0	53.5
愛の手帳(n=192)	64.1	42.7	40.1	61.5	42.7	18.2	24.0	41.1	23.4	18.2	52.1	38.5
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	62.5	31.3	62.5	68.8	50.0	12.5	12.5	37.5	6.3	6.3	25.0	12.5
発達障害の診断を受けている(n=61)	80.3	44.3	62.3	72.1	49.2	21.3	23.0	37.7	29.5	21.3	49.2	23.0
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	42.9	28.6	21.4	50.0	35.7	28.6	7.1	28.6	28.6	21.4	50.0	57.1

(単位:%)

	緊急一時保護の充実	福祉機器・補装具などの充実	実や情報保障の確保	コミュニケーション支援の充実	グループホームなどの整備	入所施設の充実	障害者向けの住まいの確保	建物・道路などのバリアフリー化	趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実	年金や手当など経済的支援の充実	特になし	その他	無回答
全体(n=232)	33.6	17.2	25.4	38.8	33.2	37.9	21.1	20.3	64.7	0.4	5.6	2.6	
身体障害者手帳(n=86)	45.3	34.9	14.0	27.9	40.7	30.2	41.9	12.8	48.8	1.2	10.5	3.5	
愛の手帳(n=192)	37.5	16.1	25.5	45.3	38.0	41.1	20.8	20.3	68.2	0.0	5.7	2.6	
精神障害者保健福祉手帳(n=16)	12.5	6.3	37.5	18.8	12.5	25.0	12.5	25.0	68.8	0.0	12.5	0.0	
発達障害の診断を受けている(n=61)	34.4	14.8	34.4	47.5	29.5	47.5	18.0	26.2	73.8	0.0	4.9	3.3	
難病(特定疾患)の診断を受けている(n=14)	64.3	21.4	14.3	42.9	35.7	50.0	28.6	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0	

5 自由意見のまとめ

市の障害者施策に関するご意見やご要望、回答者ご自身の将来に対する不安などについて、自由に記載していただきました。

主な回答は以下のとおりです。(内容は要約・省略しています。)

5-1 18歳以上向けの障害者アンケート(問46)より

①福祉サービス

回答	年齢・性別・ 障害の種類
各障害に合った「相談支援体制」が必要。特に65歳前の支援体制は不足している。専門知識を持った人が市の福祉の部署にいて、色々相談できると良いと思う。	30～39歳・男性 身体障害
短期入所と緊急一時保護の充実をお願いしたい。緊急時に利用できる、本来の意味での緊急一時保護を願っている。	40～49歳・女性 身体障害
介護人の質、量を高める取組が必要。人員が不足するため、サービス中止等の制限を取らざるを得なくなる場合が出てきている。	30～39歳・女性 知的障害
一人暮らしが困難になってきた時、入所できる施設を増やしてほしい。	60～69歳・女性 難病
障害者手帳を提示するサービスで、難病の受給者証だと利用できない施設が多いため、使えるようにしてほしい。	40～49歳・女性 難病
バスの無料やタクシーの割引など、障害の度合いにより支援してもらえて大変助かっている。	70～79歳・女性 身体障害
個々の特性に応じた支援を目指して努力してほしい。	50～59歳・女性 身体障害
将来、地域で生活を続けられるようグループホームを充実させてほしい。	20～29歳・男性 知的障害

② 経済事情・経済的支援

回答	年齢・性別・ 障害の種類
もし主人が先に亡くなったら、どのように生活すればよいか不安。必要な家 や生活費を保障してほしい。	50～59歳・女性 精神障害
若くない世代の就職、収入等、生活に必要な金銭的な支援が必要である。 健康、金銭的にも負担が大きいので外出が難しい。	40～49歳・男性 身体障害
将来の経済的な不安を解消する施策を充実させてほしい。	60～69歳・男性 精神障害
今は普通に生活できているが、難病の進行により今後の生活や子ども達へ の教育費等、お金の心配がある。	40～49歳・女性 難病
将来の事より現状が生きる事で精一杯である。内部障害（ストマ）に関し ては、援助を受けられて経済的に助かっている。	80歳以上・男性 身体障害

③ 就労・社会参加

回答	年齢・性別・ 障害の種類
障害者の就職がスムーズにできるよう、支援してもらいたい。	50～59歳・男性 精神障害
就労相談など自宅近くの事務所で相談できたら良いと思う。	50～59歳・女性 身体障害
地域によって歩道の幅や道路の段差や傾斜等があり、車椅子で通行するのは かなり神経を使うため、解消に向けた施策を進めてほしい。	70～79歳・男性 身体障害
障害者雇用の枠の仕事だとどうしても給与が安いので、先に対する不安を 持って仕事をしなくてはならない。	50～59歳・男性 身体障害
不安な事があるどころか、むしろ障害に甘えずに自分のやりたい事をたく さんできる施策がほしい。市外の方との交流する場を設ける等の施策を 希望している。	20～29歳・男性 知的障害

④ 行政の対応・手続き・情報提供

回答	年齢・性別・ 障害の種類
市からの経済的補助の色々な書類等の手続きが負担になるので、毎年ではなく、もっと長いスパンでの手続きが望ましい。	50～59歳・女性 難病
福祉全般の申請などを全ての事務所でできるようにお願いしたい。インターネット申請や、詳細な情報、申請用紙などを市HPで行ってほしい。	40～49歳・女性 身体障害
市役所の障害者福祉課にも機械の番号カードを取り入れてほしい。市で作っているヘルプカードもカバンに吊り下げられるようにしてほしい。	70～79歳・女性 精神障害
色々な情報を自分から取らないと得られないため、市の方からも進んで情報を提供してもらいたい。	20～29歳・男性 知的障害
手帳の交付場所について、手帳の交付が本庁でしかされないことに不便を感じている。2年に1度のこととはいえ、本庁は自宅から遠いので、取りに行くのが大変。せめて手帳の申請を受け付ける窓口でも交付してもらえるとありがたい。	30～39歳・女性 精神障害

⑤ 心身の状態

回答	年齢・性別・ 障害の種類
老いを重ねる毎、病気も重なってくると思う。配偶者も体調が悪いので行く末が不安。八王子市のきめ細かいサポートを期待する。	60～69歳・女性 精神障害
現在、仕事ができている状態で収入もあるが、症状が悪化すれば収入はなくなる。とにかく、今を維持したいと願うばかりである。	50～59歳・女性 難病
人に助けてとは言えない自分に困っている。	40～49歳・男性 身体障害
今は親と一緒に生活しているが、将来一人になった時、どの様にしていくか心配である。	30～39歳・男性 知的障害
介護者が障害者であったり、老老介護というケースもあり、先々の不安はいっぱいある。	70～79歳・女性 身体障害

⑥医療・保健

回答	年齢・性別・ 障害の種類
内部障害がある者だが専門のかかりつけ医を探すのが大変だった。専門ごとの医療機関がまとめられているものがあつたらと思う。	60～69歳・女性 身体障害
障害者歯科を受診したいと思い問い合わせたが、混んでいた。受診できる曜日や時間をもっと増やしていただけるとありがたい。	30～39歳・男性 知的障害
人工透析をしているが、将来、通院ができなくなった時に、長期入院のできる透析もある病院や施設が少ないと思う。	60～69歳・女性 身体障害
薬代が高いので、八王子市や東京都に医療費を助成していただき、本当に助かっている。	20～29歳・男性 難病

⑦障害理解

回答	年齢・性別・ 障害の種類
難病は病態によって生活に色々不都合があるが、一般にはなかなか理解されない。難病、障害者の生活、立場の問題について、幅広く理解していただけるよう施策、広報をお願いする。	70～79歳・男性 難病
権利擁護についてパンフレットなどで知らせてほしい。	40～49歳・男性 知的障害
障害に対する理解の促進によって、一般の人々の意識が高まり、誰もが住みやすい社会となるように願っている。	80歳以上・女性 身体障害
障害者に暮らしやすい町は全ての人にとって安心な場所になる。かけがえない命をみんなが大切にする社会であってほしい。	70～79歳・女性 身体障害

⑧ 災害

回答	年齢・性別・ 障害の種類
大きな災害があった時には健康者以上に大きな不安があるので、その対策に力を入れてほしい。	70～79歳・男性 身体障害
災害時の避難所に、簡単なベッドの用意をしてほしい。	70～79歳・女性 身体障害
災害時、人工呼吸器を使ってるので、電源の確保が不安。(蓄電器がほしい)	50～59歳・女性 身体障害
最近、災害が多いのでとても不安に思う。設備のある障害者の避難先がわかっていると安心だと思う。体育館などはトイレが和式と聞いているので自分は避難できないと思う。	50～59歳・女性 身体障害

⑨ その他

回答	年齢・性別・ 障害の種類
総合的に、どんな事でも、どのような問題でも気軽に相談のできる部署があれば良いと思う。	70～79歳・男性 精神障害
手帳のカード化をお願いしたい。	70～79歳・男性 身体障害
障害は自分に与えられた試練だと思い、前向きに生活して行きたいと思う。	60～69歳・男性 身体障害
市の障害者施策は充実、進化しているとは思いますが、さらに進めてほしい。	70～79歳・女性 難病
現状は、まだまだ不安だらけだが、八王子が障害者も健康者も安心して暮らせる町のモデルになってくれたら幸せである。	20～29歳・男性 知的障害

5-2 18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート（問42）より

①福祉サービス

回答	年齢・性別・ 障害の種類
医療的ケアがある通所施設を増やしてほしい。ショートステイもなかなか入れない。	12～14歳・不明 難病
重度の知的障害者を受け入れてくれる施設が少なく、職員の人数が不足している。グループホームや入所施設が少なく将来が心配である。	15歳以上・男性 知的障害
高等部卒業後は、医ケアを必要とする重心の生活介護事業所が少なく、日中を在宅で過ごさざるをえない状況だが、社会とのつながりを減らすことなく色々な刺激を受けて成長できるよう、生活介護事業所（重心・医ケア）の開設、拡充を望む。	12～14歳・女性 身体障害
幼児期の療育がとても大事だと思うが、選択肢がほとんどなく、相談できる先も少なく、不安である。色々なスタイルを選択できるようにしてほしい。	4～5歳・男性 知的障害
就労について、自分に何が向いているのかわからない。職業訓練の機会を皆に与えて能力を身につけさせてほしい。	15歳以上・男性 知的障害
親なき後に子ども達が安心して暮らせる環境を作してほしい。	12～14歳・女性 知的障害

②経済的事情・経済的支援

回答	年齢・性別・ 障害の種類
数年前に特別児童扶養手当を収入の上限を越えたため受けられなくなった。障害のある子が小さく共働きに出られない家庭への手当を打ち切らないよう、特別児童扶養手当の収入の上限をもっと上げることを検討してほしい。	6～11歳・男性 身体障害
都営のバス電車などは、無料の措置があるが、八王子だとあまりサービスを受けられない。京王、西東京などの公共交通機関も優遇措置をしてほしい。	15歳以上・男性 身体障害
将来、作業所等に就労し、その賃金と障害者年金だけで自活できるか不安。	6～11歳・女性 知的障害
障害のある人達に優しい市であってほしい。生活費など心配なく暮らせる市であってほしい。	15歳以上・男性 知的障害

③ 教育・療育

回答	年齢・性別・ 障害の種類
<p>支援級の担任は特別支援に理解のある方になってほしい。経験の少ない方には研修の機会を増やしてほしい。また、そのために多忙化しない様、サポート体制等を整えてほしい。</p>	<p>6～11歳・女性 知的障害</p>
<p>勉強についていけない事で学校に行きたくない事が多いです。学校に行っても勉強が楽しいと思える環境作りをして欲しいです。</p>	<p>12～14歳・男性 知的障害</p>
<p>インクルーシブ教育に積極的に取り組んでほしい。地域の友だちと一緒に同じ教室で、必要な支援を受けながら学べる環境が整ってほしいと強く願っている。</p>	<p>6～11歳・男性 知的障害</p>
<p>知的障害はないが通常級では難しい子たちの教育や進路の選択に不安を感じている。情緒障害・自閉症の特別支援学級の開設など考えてもらえるとありがたい。</p>	<p>6～11歳・男性 精神障害</p>
<p>幼稚園、保育園を自分で探すというのは労力的にも精神的にもとても大変だった。進学についても今から不安。</p>	<p>4～5歳・男性 身体障害</p>
<p>保育園から小学校への就学相談は広報などで知ることができ、教育センター等で相談できたが、今後の進路相談（中学への進学、その後、高校などへの進学）の窓口が良くわからない。相談支援事業（放課後デイ利用や進路、就労なども含む）をもっと充実させてほしい。</p>	<p>6～11歳・女性 知的障害</p>

④ 行政の対応・手続き・情報提供

回答	年齢・性別・ 障害の種類
障害の手当等の書類がたくさん届き、申請しているが、1回にまとめてほしい。	6～11歳・男性 身体障害
手続など市役所まで行かないといけないので、近くの出張所や保健センターなどでもできるようにしてほしい。	4～5歳・男性 知的障害
高齢者が地域で相談センターがあるように、障害者（児）も地域で気楽に相談に行ける場所があると良い	15歳以上・女性 身体障害
自分が利用できるサービスで、何のサービスがあるのか、把握するのが難しい。障害の度合、年齢などを入力すると、利用可能サービス一覧がパツと出てくると良いと思う。	6～11歳・男性 身体障害
中学校までは学校での支援等があるが、卒業後にどういった支援が受けられるのか、どこで情報が得られるかがわからないので不安がある。	12～14歳・女性 身体障害
障害に合わせた支援を市から定期的に確認として、郵送などでお知らせしてほしい。市が今後どう障害者に対しての支援施策をしていくのかというビジョンを教えてください。	4～5歳・女性 身体障害
全ての申請において1箇所で済むようにしてほしい。	12～14歳・男性 知的障害

⑤ 介護者

回答	年齢・性別・ 障害の種類
子どもの身体が成長するほど外出が困難になり、家の中に閉じこめられることになるのが大変不安。親も持病があり、家で介護したいが、いずれ入所させないとならないのかと思うとつらい。	15歳以上・男性 身体障害
まだ小さいので今は負担が少ないが、体が大きくなってきた際の介助を家族だけでどれだけできるかが心配。両親がいなくなった際の、安心できる施設の探し方、本当に入れるのかを考えると不安がつる。	0～3歳・女性 身体障害
介助者である親亡き後のことがとても不安。多目的トイレ内に、大人用ベッド（ユニバーサルシート）が設置されていない事が多く、介護する側もされる側も、神経をすり減らすため、全国的にユニバーサルシート（ベルト付き）の普及を望む。	4～5歳・男性 身体障害
障害児のサポートもたくさんしてほしいが、その家族のサポートもほしい。余裕がなく家事もできない時がある。	6～11歳・男性 知的障害

⑥ 障害理解

回答	年齢・性別・ 障害の種類
エレベーターに乗る時、順を抜かされたり、わりこんで入ってきて先に乗り、こちらが入れないので先をゆずることが最近多い。	12～14歳・女性 身体障害
ヘルプマークをもっといろんな人に知ってほしい。	6～11歳・男性 精神障害
インクルーシブ教育に積極的に取り組んでほしい。地域の友達と一緒に同じ教室で、必要な支援を受けながら学べる環境が整ってほしい。そのことが、将来障害者、健常者互いの理解へとつながり、社会全体が自然と色々な人々（障害者、外国人等）を受け入れ、豊かになっていくことに繋がると思う。	6～11歳・男性 知的障害
学校、家庭、社会において、子どもも大人も多様な価値感を育む場、教育、思想が未来を変えていくと思う。	15歳以上・男性 身体障害
障害児ママと健常児ママとの間には大きな壁（差別）があり、困ってる際の支援が得にくい。介助をされていて惨めな気持ちになる世の中が、変わればいいのにと常に思っている。	4～5歳・男性 身体障害

⑦ 災害

回答	年齢・性別・ 障害の種類
高校は、交通機関を使って行く学校しかない。交通機関が自然災害や、人身事故などで止ったとき、全く判断ができない。ここに行ったら判断ができるという場所がわかれば良いと思う。	12～14歳・女性 知的障害
避難行動が必要となる場合に備えたルールや環境の整備、自宅での備えに関する情報提供等、一般的なものだけではなく特性に応じていくつかのバージョンがあるとありがたい。互いにストレス少なく過ごせる環境やルール作りと周知をお願いする。	15歳以上・男性 知的障害
停電時の予備電源の貸出をしてほしい。人工呼吸を使っているわけではないが、吸引をしているので停電になると困る。	4～5歳・男性 身体障害
避難所は体育館や学校が多いと思うが、可能なら、教室をいくつか開放して個室を作るなど特別な配慮がほしい。何か障害者に特別な配慮する対応があるなら、平時に告知しておき、災害時には安心して避難できるようにしてほしい。	12～14歳・男性 知的障害

⑧その他

回答	年齢・性別・ 障害の種類
<p>J R高尾駅にエレベーター、スロープ（南口改札前）設置してほしい。内部障害のため、喫煙所を撤去もしくはパーテーションではなく箱にしてい きたい。西八王子駅もエレベーター前に喫煙所があるのはどうかと思う。</p>	<p>0～3歳・女性 身体障害</p>
<p>多目的トイレ内に、大人用ベッド（ユニバーサルシート）が設置されていな い事が多いです。全国的に、ユニバーサルシート（ベルト付き）の普及を切 に望みます。</p>	<p>4～5歳・男性 身体障害</p>
<p>てんかん発作があるため、電車など移動に不安がある。ホームドアを少しで も早くつけてほしい。</p>	<p>15歳以上・男性 精神障害</p>

6 アンケート調査票

6-1 「18歳以上向けの障害者アンケート」調査票

18歳以上の方

八王子市 障害者アンケート調査
～ 調査へのご協力をお願いします ～

皆様より、市政にご理解とご協力をお願いいたします。八王子市では、令和2年度(2020年度)に「八王子市障害者計画」「八王子市障害福祉計画」及び「八王子市障害児福祉計画」を策定するにあたって、障害のある方の生活実態やニーズなどを把握するために、アンケート調査を実施することになりました。つきましては、調査へのご協力をお願いいたします。

この調査は無記名郵送方式で実施し、調査結果は統計的に処理されますので、調査した方が特定されたり、回答内容が明らかになることはありません。調査結果は、市の障害者福祉の充実のための資料としてのみ使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。

この調査は、障害のある方の甲から、無作為で選ばせていただいた方にお送りしています。皆さまの貴重なご意見を、ぜひ積極的に反映したいと望みますので、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年(2020年)2月 八王子市 福祉部 障害福祉課

ご回答にあたって

- ① 封筒のあて名をご本人についてご回答ください。(この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人のことです)
- ② ご本人が障害や病気などの理由で回答できない場合は、ご家族や介護者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- ③ 回答は、あてはまる選択肢の番号に直接○印をつけてお返してください。「その他」に回答する場合は、その内容を()内にお書きください。回答を記入していただく返總もありますので、返總の指示にしたがってご返入ください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かなくてください。記入した調査票は、封筒の「返總用封筒」に入れて、切手を貼らずに、**令和2年(2020年)2月21日(金)までに**、ポストに投函してください。

お問い合わせ 八王子市 福祉部 障害福祉課
電話 042-620-7245
FAX 042-623-2444

1 ご本人について

問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。(○はひとつ)

- 1 あて名ご本人 (ご本人の意思を他の方が代筆する場合はご返入できません)
- 2 ご家族の方
- 3 その他()

※ この調査票で「あて名」とあるのは、あて名ご本人のことです。

問2 あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

1 男性 2 女性

問3 あなたの年齢をお聞きます。令和2年(2020年)4月1日現在の誕生日でお返えください。(○はひとつ)

1 19歳以下	5 50～59歳
2 20～29歳	6 60～69歳
3 30～39歳	7 70～79歳
4 40～49歳	8 80歳以上

問4 あなたが障害（難病（特定疾患）*を営みます）を受けたのは、質問歳のころですか。（〇はひとつ）
 ※難病（特定疾患）とは、難病リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない深刻な他の特殊の疾病をいいます。以下、「障害」という場合には難病（特定疾患）を営むものとし、

- 1 0～5歳
- 2 6～11歳
- 3 12～17歳
- 4 18～39歳
- 5 40～64歳
- 6 65歳以上
- 7 算えない

問5 あなたが持っている手帳をお聞かせします。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも〇をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2 愛の手帳（1度 2度 3度 4度）
- 3 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4 発達障害*の診断を受けている
- 5 高度認知症（認知症）の診断を受けている
- 6 難病（特定疾患）の診断を受けている
- 7 手帳は持っていない

*発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問6 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞かせします。障害の種類は問ですか。（〇はいくつでも）

- 1 視覚障害
- 2 聴覚・立音機能障害
- 3 音声・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由
- 5 内臓障害

3

2 医療について

問7 あなたは病状、障害に関することで医療機関を受診していますか。（〇はひとつ）

- 1 受診していない
- 2 通院している
- 3 入院している
- 4 自宅で往診を受けている
- 5 その他（ ）

問8 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

- 1 医療機関が家の近くにない
- 2 障害についての専門の医療施設がない
- 3 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない
- 4 通院のための介護者が確保しにくい
- 5 通院のための交通機関が整備されていない
- 6 医療機関がバリアフリー化されていない
- 7 支障に相談できる場がない
- 8 治療の効果が十分理解できない
- 9 医療費の負担が大きい
- 10 障害が理由で医療拒否されたことがある
- 11 待たない
- 12 その他（ ）

3 家族・介助について

問9 あなたは親状、どのように暮らしていますか。（〇はひとつ）

- 1 家族と同居している
- 2 ひとり暮らしをしている
- 3 グループホームなどに入居している
- 4 施設に入所している
- 5 その他（ ）

4

問10-1 あなたの世帯の一番多い収入は何ですか。(○はひとつ)
 ※世帯とは、あなたと同じ家で暮らし、同じ収入で生活している方々のことです。

- 1 あなたの自身の給与・賞金・工賃
- 2 ご家族の給与・賞金・工賃
- 3 事業収入(自営業など)
- 4 年金・手当
- 5 生活保護
- 6 その他()

問10-2 あなたの世帯では問10-1以外にどのような収入がありますか。(○はいくつでも)

- 1 あなたの自身の給与・賞金・工賃
- 2 ご家族の給与・賞金・工賃
- 3 事業収入(自営業など)
- 4 年金・手当
- 5 生活保護
- 6 その他()
- 7 特にない

問11 あなたは次のような日常生活に、介助を必要としていますか。(○はいくつでも)

- 1 食事をする
- 2 排せつをする
- 3 着がえをする
- 4 入浴をする
- 5 掃除をする
- 6 洗濯をする
- 7 食事を調べる
- 8 家の中で移動する
- 9 外出する
- 10 コミュニケーションをとる(読み書き・電話など)
- 11 薬を飲んだり管理する
- 12 お金を管理する
- 13 日常生活に必要なことを判断したり、決めたりする
- 14 介助は必要としていない
- 15 その他()

問12 あなたを介助しているのは、主にどなたですか。(○はひとつ)

- 1 母親
- 2 父親
- 3 配偶者
- 4 兄弟姉妹
- 5 子ども
- 6 その他親族
- 7 ホームヘルパー
- 8 施設などの職員
- 9 介助は必要としていない
- 10 その他()

問13 問12で「家族が介助している(1~6)」と回答した方にお聞きします。介助者の方はどのようなことで困っていますか。(○はいくつでも)

- 1 介助者自身の健康に不安がある
- 2 身体的な負担が大きい
- 3 精神的な負担が大きい
- 4 経済的な負担が大きい
- 5 かわりの介助を頼める人がいない
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 算額の旅行や外出ができない
- 8 将来の負担に不安がある
- 9 特にない
- 10 その他()

問14 問12で「家族が介助している(1~6)」と回答した方にお聞きします。主な介助者の方が何かの理由で介助できない場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 同居の家族に介助してほしい
- 2 別居の家族に介助してほしい
- 3 ホームヘルパーを利用したい
- 4 ショートステイを利用したい
- 5 民間の有償介助サービスを利用したい
- 6 グループホームなどに入居したい
- 7 施設に入所したい
- 8 病院に入院したい
- 9 わからない
- 10 その他()

4 日常生活について

問15 あなたは高校、自由時間に何をしておこなっていますか。
(○はいくつでも)

- 1 家族との暮らし
- 2 友人・知人との交流
- 3 趣味活動・遊び
- 4 スポーツ・運動・レクリエーション
- 5 買い物
- 6 地域の活動
- 7 読書者団体などの活動
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 特になし
- 10 その他 ()

問16 あなたは高校、近所の入とどの程度のおつきあいをしていますか。
(○はひとつ)

- 1 ほとんどあっていない
- 2 たまに世間話をする程度
- 3 ときどきあそびをする程度
- 4 ほとんどつきあいはない

問17 あなたは、日常生活で困っていることはありますか。
(○はいくつでも)

- 1 身の回りのことが十分できない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 住まいについて困っている
- 4 外出について困っている
- 5 緊急時の対応に不安がある
- 6 就労について困っている
- 7 利用できる日中活動の場がない
- 8 赤藓活動や遊びが十分できない
- 9 スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない
- 10 経済的に不安がある
- 11 将来に不安がある
- 12 どうしてもわからない
- 13 特になし
- 14 その他 ()

問18 あなたは高校、選ったときに誰に相談していますか。(○はいくつでも)

- 1 同級生の家族
- 2 別居の家族・親族
- 3 友人・知人 (同業者)
- 4 友人・知人 (他業者)
- 5 近所の人
- 6 市のケースワーカー
- 7 ホームヘルパー
- 8 福祉施設の職員
- 9 医療関係者
- 10 民生委員・児童委員
- 11 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 12 相談支援事業所
- 13 保健所・保健センター
- 14 難病相談・支援センター
- 15 障害者団体・障害会
- 16 特になし
- 17 その他 ()

問19 あなたは、福祉サービスなどの情報を、聖にどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- 1 広報「はちおうじ」
- 2 東京都広報
- 3 市のパンフレットなど
- 4 市のホームページ
- 5 その他のホームページ
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 新聞・書籍
- 8 SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) (ツイッターやフェイスブックなど)
- 9 市役所
- 10 医療機関
- 11 福祉施設
- 12 相談支援事業所
- 13 保健所・保健センター
- 14 難病相談・支援センター
- 15 障害者団体・障害会
- 16 友人や知人
- 17 特になし
- 18 その他 ()

問20 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 サービス利用の手続きが大変
- 3 利用したいサービスを利用できない
- 4 利用できる回数や日数が少ない
- 5 希望に合った事業者が見つからない
- 6 サービスの質が良くない
- 7 自分に必要なサービスがない
- 8 履に相談すればよいかわからない
- 9 持にない
- 10 その他 ()

5 災害について

問21 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- 1 Dどりでは避難できない
- 2 自分では助けを呼ぶことができな
- 3 近所に助けてくれる人がいないことが不安
- 4 自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられるか不安
- 5 災害についての情報を得るのが難しい
- 6 通勤や通学、通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
- 7 避難の仕方や、避難する場所がわからない
- 8 避難所の設備が標準に对应しているか不安
- 9 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 10 家や避難用ケアを確保できるか不安
- 11 持にない
- 12 その他 ()

9

問22 あなたは、災害のときどのような支援が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

- 1 障害に耐じた災害情報の伝達
- 2 障害に耐じた災害情報の伝達
- 3 見守りや安否の確認
- 4 避難のための介助や支援
- 5 自宅や避難所での介助や支援
- 6 避難に耐じた災害情報の伝達
- 7 家や避難用ケアの確保
- 8 持にない
- 9 その他 ()

6 住まいについて

問23 あなたのお住まいをお聞きます。(〇はひとつ)

- 1 持ち家 (戸建て)
- 2 持ち家 (集合住宅)
- 3 民間賃貸住宅 (戸建て)
- 4 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- 5 公営住宅 (都営・市営)
- 6 公団・公営賃貸住宅
- 7 グループホームなど
- 8 入所施設
- 9 その他 ()

問24 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。
(〇はいくつでも)

- 1 階段の昇り降り
- 2 玄関・出入口の段差
- 3 入り口や廊下が狭い
- 4 風呂が使いにくい
- 5 トイレが使いにくい
- 6 障子の着脱
- 7 家財など住宅内の整理
- 8 住宅を借りるのが難しい
- 9 持にない、満足している
- 10 その他 ()

10

問25 あなたは、住宅に関して行政が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。(Oはいくつでも)

- 1 住宅設備の増設を充実する
- 2 公営住宅を障害者が利用しやすくする
- 3 公営住宅の入居の優先枠を拡充する
- 4 障害者向け住宅の整備を促進する
- 5 単身者向け住宅の整備を促進する
- 6 グループホームなどの設備を促進する
- 7 家賃の助成をする
- 8 特になし
- 9 その他()

7 外出について

問26 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(Oはひとつ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～5回くらい
- 3 週に1～2回くらい
- 4 月に1～3回くらい
- 5 あまり外出しない

問27 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。(Oはいくつでも)

- 1 通勤
- 2 通学
- 3 施設への通所
- 4 通院
- 5 訓練・リハビリ
- 6 買い物
- 7 趣味活動・遊び
- 8 スポーツ・運動・レクリエーション
- 9 人との交流(人づきあい)
- 10 旅行
- 11 あまり外出しない
- 12 その他()

問28 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。(Oはいくつでも)

- 1 徒歩
- 2 車いす
- 3 電動車いす
- 4 自転車
- 5 オートバイ
- 6 自動車(自分で運転)
- 7 自動車(自分以外が運転)
- 8 電車
- 9 路線バス
- 10 一輪のタクシー
- 11 リフト付きタクシー
- 12 市のリフト付き自動車(わかこば乗)
- 13 あまり外出しない
- 14 その他()

問29 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。(Oはいくつでも)

- 1 付き添ってくれる人(移動支援するヘルパーを含む)がいない
- 2 歩道や道路の段差や幅
- 3 施設内の番号の時間が短い
- 4 簡易式(低床)の段差が十分でない
- 5 建物の段差・階段・段差
- 6 駅での移動や乗り換え
- 7 駅での券売機の利用
- 8 バスやタクシーの乗り降り
- 9 電車やバス内などでのアナウンスがわかりにくい
- 10 公共交通機関が少ない
- 11 トイレの利用
- 12 休憩場所がない
- 13 障害者用駐車券が少ない
- 14 交通費の負担
- 15 発作など実際の心身の変化
- 16 多動やこだわりのため、安全確保等が難しい
- 17 周囲の目が気になる
- 18 困ったときどうすればいいかわからない
- 19 不安
- 20 その他()

8 権利保護について

問30 あなたは次のような権利保護の取り組みを知っていますか。
(○はひとつ)

名称と内容	回答はこちらに ↓
①成年後見制度 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人などが契約や手続きなどを代行したり、本人が驚いて勝手に契約を取り消したりします。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
②地域福祉権利保護事業 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用などを支援する制度(福祉サービスの利用援助、日常的な支援管理サービス、書類の簡かりサービスなど)です。利用契約を結び、支援計画に沿って支援を行います。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
③障害を理由とする差別の解消に関する法律(差別解消法) 障害のある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会を目指して、平成28年4月1日にスタートした法律です。障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することの禁止や、合理的配慮を提供することを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
④障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例(差別禁止条例) 市民が障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、市民が障害に対して理解を深めること、差別を禁止すること、差別があったときに相談できる仕組みなどを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない

13

⑤八王子市障害者虐待防止センター 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律により、あなたが養護者や福祉施設の従事者、養社の使用者から、前かれたり、施設にされたりするなどの虐待があったときに相談などをすることができるとする虐待防止センターを設けています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
--	---------------------------------------

問31 あなたは成年後見制度を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思えますか。(○はひとつ)

- 1 利用している
- 2 今後利用したい
- 3 利用したくない
- 4 わからない

問32 あなたは地域福祉権利保護事業を利用していますか。また、利用していない場合は、今後利用したいと思えますか。(○はひとつ)

- 1 利用している
- 2 今後利用したい
- 3 利用したくない
- 4 わからない

問33 あなたはこれまでに、障害があるためにあきらめたり、できなかったりしたことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 進学
- 2 就職
- 3 恋愛
- 4 結婚
- 5 出産・育児
- 6 入居()
- 7 旅行や外出
- 8 おしゃべり
- 9 趣味活動・遊び
- 10 スポーツ・運動・レクリエーション
- 11 特になし
- 12 その他()

14

問34 あなたや家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(Oはひとつ)

- 1 いつも感じる
- 2 ときどき感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない

問35 問34で「1」いつも感じる、「2」ときどき感じる」と回答した方にお聞きします。差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときですか。具体的に書きください。

問36 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなことが必要だと聞きますか。具体的に書きください。

問37 あなたが差別を受けたときや虐待があったときは、市や相談支援事業者に相談などをすることが出来ます。この制度があることで、あなたは安心して暮らすことができますか。(Oはひとつ)

※相談支援事業者とは、障害者生活支援センター「ひあ・らいら」、相談支援センター「サポート南多摩」、相談支援センター「(生)生活支援センター高尾」、地域活動支援センター「あくせす」、相談支援センター「特専」の5つを指します。

- 1 安心できる
- 2 少し安心できる
- 3 安心できない
- 4 わがらない

9 就労について

問38 あなたは平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(Oはひとつ)

- 1 一般就労をしている(正職員)
- 2 一般就労をしている(パート・アルバイト)
- 3 福祉的就労をしている(就労移行・就労継続支援事業所・作業所)
- 4 自宅で働いている(収入のある仕事)
- 5 福祉的就労以外の通所施設(日中活動の場)に通っている
- 6 学校・大学に通っている
- 7 職業訓練中
- 8 就労活動中
- 9 就労や通所などはしていない
- 10 その他()

問39 問38で「働いている(1~4)」と回答した方にお聞きします。あなたが仕事を辞める上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 身体的な負担が大きい
- 2 精神的な負担が大きい
- 3 仕事で自分には合わない
- 4 雇用の待遇理解が不十分
- 5 雇用の人間関係
- 6 雇用の給金が働管に対応していない
- 7 雇用の情報保障(手帳・高卒など)が不十分
- 8 給与・工賃などが少ない
- 9 持にない
- 10 その他()

問40 問38で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。あなたが働いていない理由は何か。(〇はいくつでも)

- 1 雇管や雇先の状態のため
- 2 高卒のため
- 3 働く自信がないから
- 4 自分に合った仕事がないから
- 5 わからないから
- 6 通所・通所が困難だから
- 7 利用できる日中活動の場がないから
- 8 のんびり過ごしたいから
- 9 働く必要がないから
- 10 他に理由はない
- 11 その他()

問41 問38で「9 就労や通所などはしていない」と回答した方にお聞きします。あなたは今後の就労について主にどのように考えますか。(〇はひとつ)

- 1 一般就労をしたい(正職員)
- 2 一般就労をしたい(パート・アルバイト)
- 3 自宅で働きたい(自営業・内請・雇用の手伝いなど)
- 4 福祉的就労をしたい(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))
- 5 働きたいと思わない
- 6 その他()

問42 障害者が一般就労するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 就労のための総合的な相談支援
- 2 働く能力を身につけるための職業訓練
- 3 雇管を理解するための就労体験
- 4 障害特性に合った職業・雇用の拡大
- 5 障害者向けの求人情報の提供
- 6 企業と障害者雇用への理解促進
- 7 雇管の雇管理解の促進
- 8 雇管環境のバリアフリー化
- 9 雇管に対応した柔軟な勤務形態
- 10 雇管に定着するための支援(ジョブコーチなど)
- 11 通勤手段や通勤支援の確保
- 12 雇管での良好な人間関係
- 13 働く時間以外の楽しみ(友人等との交流や雇人の趣味、余暇活動など)
- 14 持にない
- 15 その他()

10 切れ目ない支援について

問43 八王子市では、就労前段階から就労、進学、就労などライフステージの節目で困ることのないよう、子どもの成長や発達を助長・保持する「マイ・ファイル」を作成し、活用していきます。あなたはライフステージの節目において、あなた自身の情報が引き継がれないことで困ったことはありますか。(〇はひとつ)

- 1 ある
- 2 ない

例44 例43で「ある」と回答した方にお尋ねします。困ったのはいつですか。
(〇はいくつでも)

- 1 保育園等に入園するとき
- 2 保育園等から小学校に入學するとき
- 3 小学校から中学校へ進学するとき
- 4 中学校から高等学校へ進学するとき
- 5 高等学校から大学等へ進学するとき
- 6 就労するとき

11 施策について

例45 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 障害に対する理解の促進 | 12 福祉施設・職員などの充実 |
| 2 保健・医療の充実 | 13 グループホームなどの整備 |
| 3 教育・育成の充実 | 14 入所施設の充実 |
| 4 雇用・就労支援の充実 | 15 障害者向けの住まいの確保 |
| 5 相談支援体制の充実 | 16 健脚・通話などのバリアフリー化 |
| 6 防犯サービス等の充実 | 17 趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実 |
| 7 日中活動サービス等の充実 | 18 年益や手当などの経済的支援の充実 |
| 8 移動支援の充実 | 19 その他() |
| 9 (通勤・通学を含む)短期入所の充実 | 20 その他() |
| 10 緊急一時保護の充実 | |
| 11 コミュニケーション支援の充実や情報保障の確保 | |

12 自由意見

例46 市の障害者施策に関する意見や要望、あるいはあなたご自身の将来に対する不安など、ご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、令和2年(2020年)2月21日(金)までに、ポストに投函してください。

6-2 「18歳未満とその保護者向けの障害者アンケート」調査票

はちおうじし しょうがいしゃ ちょうそ ちゅうそ
八王子市 障害者アンケート調査
 ～調査へのご協力をお願いします～

白紙より、市役にご送付とご協力をお願いいたします。
 八王子市では、令和2年度(2020年度)に「八王子市障害者計画」「八王子市障害福祉計画」及び「八王子市障害児福祉計画」を策定するにあたって、障害のある方の生活実態やニーズなどを把握するために、アンケート調査を実施することになりました。つきましては、調査へのご協力をお願いいたします。
 この調査は無記名郵送方式で実施し、調査結果は統計的に処理されますので、回答した方が特定されたり、回答内容が明らかになることはありません。調査結果は、市の障害者福祉の充実のための資料としてのみ使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。
 この調査は、障害のある方の甲から、無作為で選ばせていただいた方にお送りしています。皆さまの貴重なご意見を、ぜひ計画に反映したいと願っています。この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年(2020年)2月 八王子市 福祉部 障害者福祉課

ご回答にあたって

- ① 封筒をあててご本人についてご返してください。(この調査票で「あなた」とあるのは、あててご本人(お子さん)のことです)
- ② ご本人が障害や年齢などの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご返してください。
- ③ 調査は、あてはまる選択枝の番号に回答○印をつけてお返してください。「その他」で回答する場合は、その内容を()内にお書きください。回答を記入していただく際にもありますので、封筒の指示にしたがってご返してください。
- ④ この調査票には、名前や住所、電話番号などは書かないでください。記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、**令和2年(2020年)2月21日(金)まで**に、ポストに投函してください。

お問い合わせ 八王子市 福祉部 障害者福祉課
 電話 042-620-7245
 FAX 042-623-2444

1 ご本人について

問1 この調査票にご返されたのはどなたですが、(○はひとつ)

- 1 あててご本人(ご本人の障害を他の方が代筆する場合は含みません)
- 2 ご家族の方
- 3 その他()

※ この調査票で「あなた」とあるのは、あててご本人(お子さん)のことです。

問2 あなたの性別をお書きします。(○はひとつ)

- 1 男性
- 2 女性

問3 あなたの年齢をお書きします。令和2年(2020年)4月1日現在の満年齢でお返ください。(○はひとつ)

- 1 0～3歳
- 2 4～5歳
- 3 6～11歳
- 4 12～14歳
- 5 15歳以上

問4 あなたが障害（重篤特定疾患）を営みます。障害の程度は、障害の程度ですか。（○はひとつ）

※障害（特定疾患）とは、関節リウマチやエラン・パレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。以下、「障害」という語には障害（特定疾患）を含むものとします。

- 1 うまれたとき
- 2 0歳
- 3 1歳
- 4 2歳
- 5 3歳
- 6 4～5歳
- 7 6～11歳
- 8 12歳以上

問5 あなたが持っている手術をお聞かせします。手術をお持ちの方は、カッコ内の等級・程度にも○をつけてください。また、発達障害等の診断を受けているかどうかもお答えください。（○はいくつでも）

- 1 身体障害者手帳（1級 2級 3級 4級 5級 6級）
- 2 聴覚の手帳（1度 2度 3度 4度）
- 3 精神障害者保健福祉手帳（1級 2級 3級）
- 4 発達障害の診断を受けている
- 5 高次脳機能障害の診断を受けている
- 6 難病（特定疾患）の診断を受けている
- 7 手術は持っていない

※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

問6 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞かせします。障害の種類は向ですか。（○はいくつでも）

- 1 視覚障害
- 2 聴覚・平衡機能障害
- 3 言語・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由
- 5 内臓障害

3

2 医療について

問7 あなたは現在、障害に関することで医療機関を受診していますか。（○はひとつ）

- 1 受診していない
- 2 通院している
- 3 入院している
- 4 自宅で受診を受けている
- 5 その他（ ）

問8 あなたには、医療に関して困っていることがありますか。（○はいくつでも）

- 1 医療機関が家の近くにない
- 2 障害についての専門の医療機関がない
- 3 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない
- 4 通院のための交通費が確保しにくい
- 5 通院のための交通機関が整備されていない
- 6 医療機関がバリアフリー化されていない
- 7 気軽に相談できる場がない
- 8 治療の説明が十分理解できない
- 9 医療費の負担が大きい
- 10 障害が理由で医療拒否されたことがある
- 11 特になし
- 12 その他（ ）

3 家族・介助について

問9 あなたを介助しているのは、誰にわたりますか。（○はひとつ）

- 1 母親
- 2 父親
- 3 兄弟姉妹
- 4 その他（ ）
- 5 ホームヘルパー
- 6 施設などの職員
- 7 介助は必要としていない
- 8 その他（ ）

4

問10 問9で「家族が介助している(1~4)」と回答した方にお聞きします。介助者の方はどのようなことで困っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 介助者自身の健康に不安がある
- 2 身体的な負担が大きい
- 3 精神的な負担が大きい
- 4 経済的な負担が大きい
- 5 かわりの介助を頼める人がいない
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 長距離の旅行や外出ができない
- 8 荷物の見直しに不安がある
- 9 特にない
- 10 その他()

問11 問9で「家族が介助している(1~4)」と回答した方にお聞きします。主な介助者の方が何らかの理由で介助できない場合、どのようにしたいと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 同様の家族に介助してほしい
- 2 別居の親族に介助してほしい
- 3 ホームヘルパーを利用したい
- 4 ショートステイを利用したい
- 5 民間の有偿介助サービスを利用したい
- 6 施設に入所したい
- 7 病院に入院したい
- 8 わからない
- 9 その他()

4 日常生活について

問12 あなたは普段、自由時間に何をしておこなっていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家族との面らん
- 2 友人・知人との交流
- 3 趣味活動・遊び
- 4 スポーツ・運動・レクリエーション
- 5 買い物
- 6 地域の活動
- 7 障害者団体などの活動
- 8 テレビ・ラジオ
- 9 特にない
- 10 その他()

問13 あなたには、日常生活で困っていることはありませんか。(〇はいくつでも)

- 1 身の回りのことが十分できない
- 2 健康状態に不安がある
- 3 本人の成長や発達に不安がある
- 4 ほまいについて困っている
- 5 外出について困っている
- 6 緊急時の対応に不安がある
- 7 教育・療育について困っている
- 8 余暇活動や遊ぶことが十分できない
- 9 スポーツ・運動・レクリエーションが十分できない
- 10 経済的に不安がある
- 11 娯楽に不安がある
- 12 どうしてよいかわからない
- 13 特にない
- 14 その他()

問14 あなたやご家族の方は、普段通ったときに難に相談していますか。(〇はいくつでも)

- 1 同様の家族
- 2 別居の家族・親族
- 3 友人・知人(障害者)
- 4 友人・知人(障害者)
- 5 近所の人
- 6 市のケースワーカー
- 7 ホームヘルパー
- 8 学校・幼稚園・保育園の教職員
- 9 福祉施設の利用
- 10 医療関係者
- 11 民生委員・児童委員
- 12 身体障害者相談員・知的障害者相談員
- 13 相談支援事業所
- 14 保健所・保健センター
- 15 障害相談・支援センター
- 16 障害者団体・連帯会
- 17 特にない
- 18 その他()

問15 あなたは、福祉サービスなどの福祉を、至どこから入手していますか。(Oはいくつでも)

- 1 広報「はらおうじ」
- 2 東京福祉報
- 3 市のパンフレットなど
- 4 市のホームページ
- 5 その他のホームページ
- 6 テレビ・ラジオ
- 7 新聞・書籍
- 8 SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) (ツイッターやフェイスブックなど)
- 9 学校・幼稚園・保育園
- 10 市役所
- 11 区役所
- 12 福祉施設
- 13 相談支援事業所
- 14 保健所・保健センター
- 15 福祉相談・支援センター
- 16 障害者団体・委員会
- 17 友人や知人
- 18 特になし
- 19 その他()

問16 あなたには、サービス利用に関して困っていることがありますか。(Oはいくつでも)

- 1 サービスに関する情報が少ない
- 2 サービス利用の手続きが大変
- 3 利用したいサービスを利用できない
- 4 利用できる回数や日数が少ない
- 5 希望に合った事業者が見つからない
- 6 サービスの質が良くない
- 7 自分に最適なサービスがない
- 8 役に相談すればよいかわからない
- 9 特になし
- 10 その他()

7

5 災害について

問17 あなたは地震などの災害が起きたときのことについて、どのようなことに不安を感じていますか。(Oはいくつでも)

- 1 ひとりでは避難できない
- 2 自分では助けを呼ぶことができない
- 3 近所に向けてくれる人がいないことが不安
- 4 自宅や避難所で必要な介助や支援を受けられないか不安
- 5 災害についての情報を得るのが難しい
- 6 通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない
- 7 避難の仕方や、避難する場所がわからない
- 8 避難所の設備が障害に対応しているか不安
- 9 避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい
- 10 薬や医療的ケアを確保できるか不安
- 11 特になし
- 12 その他()

問18 あなたは、災害のときにどのような支援が必要だと感じますか。(Oはいくつでも)

- 1 障害に前じた災害情報の伝達
- 2 見守りや安否の確認
- 3 避難のための介助や支援
- 4 自宅や避難所での介助や支援
- 5 障害に前じた避難した避難所の確保
- 6 薬や医療的ケアの確保
- 7 特になし
- 8 その他()

8

6 住まいについて

問19 あなたの所住まいをお聞かせします。(〇はひとつ)

- 1 持ち家(一戸建て)
- 2 持ち家(集合住宅)
- 3 民間賃貸住宅(一戸建て)
- 4 民間賃貸住宅(集合住宅)
- 5 公営住宅(都営・市営)
- 6 公社・公営賃貸住宅
- 7 グループホームなど
- 8 入所施設
- 9 その他()

問20 あなたには、住宅に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 借金の返済済み
- 2 玄関・出入口の段差
- 3 入口や廊下が狭い
- 4 風呂が使いにくい
- 5 トイレが使いにくい
- 6 建物の老朽化
- 7 家賃など住居費の高止
- 8 住居を借りるのが難しい
- 9 借になく、満足している
- 10 その他()

問21 あなたは、住宅に関して行先が今後どのような取り組みをする必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 住宅改修費の助成を充実する
- 2 公営住宅を賃貸者が利用しやすくする
- 3 公営住宅の入居の優待を拡充する
- 4 賃貸者向け住宅の整備を促進する
- 5 事業者向け住宅の整備を促進する
- 6 グループホームなどの整備を促進する
- 7 家賃の助成をする
- 8 特になし
- 9 その他()

7 外出について

問22 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に3～5回くらい
- 3 週に1～2回くらい
- 4 月に1～3回くらい
- 5 あまり外出しない

問23 あなたは普段、どのような目的で外出していますか。(〇はいくつでも)

- 1 通学・通勤
- 2 施設への通所
- 3 通院
- 4 通商・リハビリ
- 5 買い物
- 6 趣味活動・遊び
- 7 スポーツ・運動・レクリエーション
- 8 友だちとの交遊
- 9 旅行
- 10 あまり外出しない
- 11 その他()

問24 あなたは普段、どのような移動手段を利用していますか。(〇はいくつでも)

- 1 徒歩
- 2 ハビーカー
- 3 車いす
- 4 電動車いす
- 5 自転車
- 6 オートバイ
- 7 自動車
- 8 徒歩
- 9 路線バス
- 10 スクールバス
- 11 一般のタクシー
- 12 リフト付きタクシー
- 13 市のリフト付き自動車(わかこま車)
- 14 あまり外出しない
- 15 その他()

問25 あなたは、外出するとき、どのようなことで困っていますか。
(〇はいくつも)

- 1 付き添ってくれる人
- 11 トイレの利用
- 2 歩道や道路の設置や幅
- 12 休憩場所がない
- 3 視覚用の道の幅が短い
- 13 障害者用駐車スペースが少ない
- 4 商業施設や店舗の設置が十分でない
- 14 交通費の負担
- 5 店舗の設置・施設・設備
- 15 新作など突然の心持の変化
- 6 駅での移動や車の誘え
- 16 多動やこだわりのため、安全確保等が難しい
- 7 駅での券売機の利用
- 17 周囲の目が気になる
- 8 バスやタクシーの乗り降り
- 18 困ったときどうすればいいかわからない
- 9 電車やバス内などのアナウンスがわかりにくい
- 19 様にならない
- 10 公共交通機関が少ない
- 20 その他()

8 権利保護について
問26 あなたは次のような権利保護の取り組みを知っていますか。
(〇はいくつ)

名称と内容	回答はこちらに ↓
①成年後見制度 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の権利を守る制度です。成年後見人などが契約や手続きなどを代行したり、本人が属して認めた契約を取り消したりします。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
②地域福祉権利保護事業 高齢者や障害者など、判断能力が十分ではない方の福祉サービスの利用などを支援する制度(福祉サービスの利用補助、日常的な金融管理サービス、書類等の届かりサービスなど)です。利用契約を届け、支援計画に沿って支援を行います。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
③障害を理由とする差別の解消に関する法律(差別解消法) 障害のある人もない人も、互いにその入らしさを認め合いながら共に生きる社会を目指すとして、平成28年4月1日にスタートした法律です。障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することの禁止や、合理的配慮を提供することを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない
④障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例(差別禁止条例) 市民が障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に安心して暮らすことができる社会の実現に寄与することを目的として、市民が障害に対して理解を深めること、差別を禁止すること、差別があったときに相談できる仕組みなどを規定しています。	1 内容を知っている 2 名前は聞いたことがある 3 知らない

⑤八王子市被害者権者防止センター
 被害者権者の防止、被害者の権者に対する
 支援等に関する法律により、あなたが権者や権者
 施設の従事者、会社の従業員から、面かれたり、脅迫
 にされたりするなどの連絡があったときに相談など
 を受けることができる被害者防止センターを設置してい
 ます。

- 1 内容を知っている
- 2 名前を知っている
- 3 知らない

問27 あなたは今後、成年後援制度を利用したいと思えますか。(〇はひとつ)

- 1 今後利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

問28 あなたは今後、地域福祉権利保護センターを利用したいと思えますか。(〇はひとつ)

- 1 今後利用したい
- 2 利用したくない
- 3 わからない

問29 あなたやご家族の方は、あなたの障害のことで差別や人権侵害を受けていると感じることはありませんか。(〇はひとつ)

- 1 いつも感じる
- 2 ときどき感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない

問30 問29で「1 いつも感じる」、「2 ときどき感じる」と回答した方に
 お聞きします。差別や人権侵害を受けていると感じるのはどのようなときで
 ずか、具体的に教えてください。

問31 あなたは、障害による差別や人権侵害をなくすために、どのようなこ
 とが必要だと思いますか、具体的に教えてください。

問32 あなたが差別を受けたときや虐待を受けたときは、市や相談支援事
 業センターに相談などをするができます。この制度があることで、あなたは
 安心して暮らすことができますか。(〇はひとつ)
 ※相談支援事業とは、障害者生活支援センター「ひまわり」、相談支援
 センター「サポート・多摩」、相談支援センター「八王子地域生活支援
 高尾」、地域活動支援センター「あくせす」、相談支援センター「南郷」の
 5つを指します。

- 1 安心できる
- 2 少し安心できる
- 3 安心できない
- 4 わからない

9 教育・療育について

問33 あなたは平日の白天、どこに通っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 保育園
- 2 幼稚園
- 3 児童発達支援センター※1
- 4 療育施設※2
- 5 小学校(通常学級)
- 6 小学校(特別支援学級)
- 7 特別支援学校(小学部)
- 8 中学校(通常学級)
- 9 中学校(特別支援学級)
- 10 特別支援学校(中学部)
- 11 高等学校
- 12 特別支援学校(高等部)
- 13 その他の学校
- 14 どこにも通っていない
- 15 その他()

※1 八王子市内では、さまざまな養育施設及びさまざまな養育施設を併設する児童発達支援センター以外の児童発達支援事業を行う施設

※2 3の児童発達支援センター以外の児童発達支援事業を行う施設

問34 あなたは学校の施設などは、どのように通っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 家族・親族がいる
- 2 友人・友人がいる
- 3 ひとりである
- 4 ヘルパーなどという
- 5 放課後等デイサービスを利用している
- 6 学習支援施設を利用している
- 7 児童館を利用している
- 8 習い事や塾に行く
- 9 その他()

問35 あなたには、療育や訓練について、満足していることや以前に通っていたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 療育・訓練に関する情報が少ない
- 2 療育・訓練を受けられる施設が見つからない
- 3 療育・訓練を受けられる量が少ない
- 4 療育・訓練の内容が水不足である
- 5 療育・訓練のための費用負担が大きい
- 6 通園・通所(送迎サービス)が大変である
- 7 特になし
- 8 その他()

問36 あなたには、学校や教育について、満足していることはありませんか。(〇はいくつでも)

- 1 教育に関する情報が少ない
- 2 教員等の指導の仕方が心配
- 3 学校のカリキュラムが本人に合わない
- 4 友だちとの関係づくりに問題がある
- 5 今後の学校選択で迷っている
- 6 学校卒業後の進路に不安がある
- 7 通学(送迎サービス)が大変である
- 8 職などの介助者が必要
- 9 学校等のバリアフリーが十分でない
- 10 特になし
- 11 その他()

問37 学校卒業後は、どのような進路を希望していますか。(〇はいくつでも)

- 1 大学・短大などに進学したい
- 2 専門学校などに進学したい
- 3 職業訓練学校などに進学したい
- 4 正社員として働きたい
- 5 パート・アルバイトなどで働きたい
- 6 福祉的就業をしたい
(就労移行・就労継続支援事業所(作業所))
- 7 福祉的就労以外の通所施設に通いたい
- 8 わからない
- 9 その他()

11 施策について

問41 あなたは今後、行政にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 障害に対する理解の促進 | 13 緊急一時保護の充実 |
| 2 保健・医療の充実 | 14 福祉施設・福祉員などの充実 |
| 3 教育・育成の充実 | 15 コミュニケーション支援の充実 |
| 4 雇用・就労支援の充実 | 16 や情報保障の確保 |
| 5 相談支援体制の充実 | 17 グループホームなどの整備 |
| 6 訪問系サービスの充実 | 18 入所施設の充実 |
| 7 日中活動系サービスの充実 | 19 障害者向けの住まいの確保 |
| 8 放課後等デイサービスの拡充 | 20 趣味・通話などのバリアフリー化 |
| 9 児童発達支援センターの拡充 | 21 趣味やスポーツ・レクリエーション活動の充実 |
| 10 児童発達支援専門所の拡充 | 22 年金や手当など経済的支援の充実 |
| 11 移動支援の充実
(通勤・通学を含む) | 23 その他() |
| 12 短期入所の充実 | |

12 自由意見

問42 市の障害者施策に関するご意見やご要望、あるいはあなたご自身の結果に対する不安など、ご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。

記入した調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて、切手を貼らずに、令和2年(2020年)2月21日(金)までに、ポストに投函してください。

はちおうじししょうがいしゃ ちようさけっかほうこくしよ
八王子市障害者アンケート調査結果報告書

れいわ ねん 3年 (2021年) ねん 3月 がつ

はちおうじし ふくし ぶ しょうがいしゃ ふくしか
八王子市福祉部障害者福祉課

とうきよとはちおうじしもとほんごうちょうさんちようめ ばん ごう
〒192-8501 東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号

TEL : 042-620-7245 (ちよくつう 直通) FAX : 042-623-2444

E-mail : b440600@city.hachioji.tokyo.jp

あなたのみちも、**八王子**
あるけるまち。

八王子市障害者アンケート調査結果報告書

令和3年（2021年）3月

八王子市